

桑折町男女共同参画に関する町民意識調査

調査報告書

令和 4 年 9 月

桑折町

< 目 次 >

第1章 調査概要	3
I. 調査目的	3
II. 調査概要	3
III. 調査項目	3
IV. 留意事項	3
第2章 調査の分析	7
I. 調査結果の要約	7
(1) 回答者の属性	7
(2) 男女平等について	7
(3) 結婚と家庭生活について	7
(4) 男性の家事・育児の参加について	8
(5) 子育てについて	8
(6) 介護について	8
(7) 就労について	9
(8) ワーク・ライフ・バランスについて	9
(9) 社会参加について	10
(10) セクシャル・ハラスメント、DVについて	10
(11) 性的マイノリティについて	11
(12) 防災・災害復興について	11
(13) SDGs (エス・ディー・ジーズ) について	11
(14) 行政の役割について	12
II. 調査結果の詳細	13
1. 回答者の属性	13
(1) 性別（自認する性）	13
(2) 年齢	13
(3) 職業	14
(4) 婚姻の状況	14
(5) 共働きの状況	15
(6) 同居の状況	15
(7) 世帯の収入	16
(8) 現在の居住地	16
2. 男女平等について	17
(1) 男女平等について	17
3. 結婚と家庭生活について	22
(1) 結婚と家庭生活について	22
(2) 家庭での仕事の分担	27

4. 男性の家事・育児の参加について	33
(1) 男性の育児休業取得	33
(2) 女性と男性がともに仕事、家庭、育児、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと	34
5. 子育てについて	36
(1) 教育方針	36
(2) 人権や男女平等意識の育成を重視した教育に必要なこと	37
6. 介護について	39
(1) 介護を主として女性が担うことについて	39
(2) 援助や介護が必要になったら	40
(3) 誰に介護してもらいたいか	41
(4) 男性の介護休業取得	42
7. 就労について	43
(1) 望ましい女性の就労	43
(2) 職場での女性の地位向上に必要なこと	44
(3) 女性が働きつづけるために必要なこと	45
(4) 仕事の内容や接遇面においての男女差	47
(5) 具体的な事例	48
(6) 新型コロナウイルス感染症の拡大による、働き方や仕事内容の変化	49
(7) 働き方や仕事内容に変化があった理由	50
8. ワーク・ライフ・バランスについて	52
(1) 男女の望ましい生き方	52
(2) 仕事と生活について	54
(3) 日常生活の中で満足する時間がとれているか	56
9. 社会参加について	60
(1) 現在、関心のある活動	60
(2) 活動に参加しようとするときの障害	61
10. セクシャル・ハラスメント、DVについて	62
(1) 身近なところのセクシャル・ハラスメント	62
(2) セクシャル・ハラスメントを受けた場	63
(3) セクシャル・ハラスメントの内容	63
(4) 身近なところのDV	64
(5) DVの内容	65
(6) DVを受けたことについての相談先	66
(7) 相談しなかった、出来なかった理由	66
(8) DVについて相談できる窓口の認知度	67

11. 性的マイノリティについて	68
(1) 性的マイノリティ（またはLGBT等）という言葉の認知度	68
(2) 自分の体の性、心の性または性的指向に悩んだことがあるか	69
(3) 性的マイノリティ（またはLGBT等）にとって生活しづらい社会か	70
(4) 性的マイノリティ（またはLGBT等）が生活しやすくなるための対策	71
12. 防災・災害復興について	73
(1) 震災後、生活において強く意識していること	73
(2) 災害が発生して避難が必要になった時に心配なこと	74
(3) 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要か	75
(4) 性別に配慮した対応が必要なこと	76
13. SDGs（エス・ディー・ジーズ）について	78
(1) SDGs（持続可能な開発目標）の認知度	78
(2) SDGsの取り組みに参加したいか	79
(3) 「桑折町SDGs推進町民会議」の認知度	80
(4) 桑折町SDGs推進町民会議の取り組みについて	81
14. 行政の役割について	83
(1) 男女共同参画社会実現のため行政に望むこと	83
III. 自由記述	85
第3章 資料（調査票）	91

第1章 調査概要

第1章 調査概要

I. 調査目的

本調査は、本町の「第3次男女共同参画プラン」の策定にあたり、町民意向とニーズを的確に捉えて施策の基本的方向性・実施目標などを定めるために実施しました。

II. 調査概要

- 調査実施期間：令和4年7月13日～令和4年7月29日
※集計処理にあたっては、8月12日回収分まで含めて集計しております。
- 調査対象：15才以上の町民から800名を無作為に抽出
- 調査方法：無記名式調査票の郵送配付・郵送、WEB回答
- 総回収数・率：297件(37.1%)
- 有効回答件数・率：297件(37.1%)

III. 調査項目

- 回答者の属性
- 男女平等について
- 結婚と家庭生活について
- 男性の家事・育児の参加について
- 子育てについて
- 介護について
- 就労について
- ワーク・ライフ・バランスについて
- 社会参加について
- セクシャル・ハラスメント、DVについて
- 性的マイノリティについて
- 防災・災害復興について
- SDGs(エス・ディー・ジーズ)について
- 行政の役割について

IV. 留意事項

- ・グラフ・表中の調査数「n」(Number of cases)は、アンケートの有効回収数を示しています。
- ・調査数が少ない項目については、分析対象から除外している場合があります。
- ・回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため、各項目の値の合計が総数と一致しない場合があります。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の設問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合があります。
- ・調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合があります。

第2章 調査の分析

第2章 調査の分析

I. 調査結果の要約

(1) 回答者の属性

- 性別については、「男性」が46.1%、「女性」が52.5%となっています。
- 年齢については、「40代」が20.9%と最も多く、以下、「30代」(18.9%)、「70代以上」(15.8%)となっています。
- 主たる職業については、「会社員(正社員)」が33.0%と最も多く、以下、「無職」(12.8%)、「パート・アルバイト」(10.1%)となっています。
- 婚姻の状況については、「既婚(配偶者あり)」が56.9%と最も多く、以下、「未婚」(33.7%)、「離婚・死別」(8.1%)となっています。
- 共働きの状況については、「共働き」が63.9%と最も多く、以下、「一方が家事専念」(24.3%)、「共に無職」(10.7%)となっています。
- 同居の状況については、「親と子の世帯」が56.6%と最も多く、以下、「夫婦だけの世帯」(15.8%)、「親と子と孫の世帯」(14.1%)となっています。
- 世帯の収入については、「100～300万円未満」と「300～500万円未満」が25.3%と最も多く、以下、「500～700万円未満」(16.2%)、「700～900万円未満」(10.4%)となっています。
- 現在の居住地については、「桑折地域」が51.9%と最も多く、以下、「半田地区」(21.5%)、「睦合地区」(14.1%)、「伊達崎地区」(11.1%)となっています。

(2) 男女平等について

- 各分野での男女平等の意識について、「男性が優遇されている」又は「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した割合を比べると、〈⑤社会通念・しきたり上で〉が69.3%と最も多く、以下、〈③政治の場で〉が67.7%となっています。また、〈⑦地域社会で〉は47.8%、〈⑥法律や制度上で〉は46.5%、〈②職場の中で〉は42.8%と、いずれも4割を超えており、一方、「平等になっている」と回答した割合を比べると、〈④学校の中で〉が47.5%と最も多く、以下、〈①家庭の中で〉が44.8%となっています。

(3) 結婚と家庭生活について

- 〈①一人で暮らしていければあえて結婚する必要はない〉という考え方では、49.1%が「どちらかといえばそうは思わない」又は「そう思わない」と回答しています。
- 〈②結婚したい場合でも、経済的な事情等で実際には結婚が難しい側面もある〉という考え方では、74.7%が「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答しています。
- 〈③特定の人と一緒に暮らしていく場合でも、結婚という形式に拘る必要はない〉という考え方では、65.0%が「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答しています。
- 〈④結婚しても、必ずしも子供をもたなくてもよい〉という考え方では、65.0%が「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

- 〈⑤選択的夫婦別姓の結婚が認められてもよい〉という考え方では、65.0%が「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答しています。
- 〈⑥男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ〉という考え方では、86.2%が「どちらかといえばそうは思わない」又は「そう思わない」と回答しています。
- 〈⑦男性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担して担うべきだ〉という考え方では、86.8%が「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答しています。
- 家庭での仕事の分担について、「主として妻」が最も多くなっているのは、〈②掃除〉〈③洗濯〉〈④食事のしたく〉〈⑤食事の片づけ〉〈⑥家計の管理〉〈⑦育児・教育〉となっており、いずれも4割を超えてています。
一方、〈①生活費を得る〉では、「主として夫」が56.8%と最も多く、〈⑨地域活動（PTAや町内会等）〉では「夫婦同程度」が31.4%と最も多くなっています。〈⑧高齢者の世話・介護〉では、「該当なし」を除くと、「夫婦同程度」が22.5%と最も多くなっています。

（4）男性の家事・育児の参加について

- 男性が育児休業を取得することについては、「賛成」が57.2%と最も多く、以下、「どちらかといえば賛成」(26.3%)、「どちらかといえば反対」(6.4%)となっています。
- 女性と男性がともに仕事、家庭、育児、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なことについては、「労働時間短縮や男女ともに取得しやすい育児、介護、ボランティア等の休暇、休業制度を普及させること」が34.7%と最も多く、以下、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどを改めること」(34.0%)、「男女ともに家事などができるような能力を身につけること」(29.0%)となっています。

（5）子育てについて

- お子さんの教育方針については、「性別にとらわれることなく、男女のわけへだてなく育てた（育てたい）」が77.1%と最も多く、以下、「男も家事ができるよう、女も経済的に自立できるよう育てた（育てたい）」(52.9%)、「男は仕事ができ、女は家庭を守るよう育てた（育てたい）」(3.7%)となっています。
- 人権や男女平等意識の育成を重視した教育に必要なことについては、「学校における、進路指導や職業教育について、男女を問わず、生徒個人の希望や能力を重視する」が62.6%と最も多く、以下、「学校における特別活動や、クラブ活動等の役割分担について、男女を問わず、生徒個人の希望と能力を重視する」(61.3%)、「学校において、人権や男女平等に関する授業を行う」(38.0%)となっています。

（6）介護について

- 介護を主として女性が担うことについては、「女性が主として介護することは、好ましくはないので、男性も介護するべきだ」が48.8%と最も多く、以下、「女性が主として介護することは、好ましくはないが、やむを得ない」(25.3%)、「介護される側のことを考えると、女性が介護する方が好ましい」(14.1%)となっています。
- 援助や介護が必要になったら、どうしたいと思うかについては、「介護サービスを受けながら自宅で暮らす」が48.5%と最も多く、以下、「介護の施設に入所する」(37.7%)、「家族に介護してもらって自宅で暮らす」(6.4%)となっています。

- 家族、親族のどなたに介護してもらいたいかについては、「配偶者」が 68.4%と最も多く、以下、「娘」(21.1%)、「息子」(5.3%) となっています。
- 男性が介護休業を取得することについては、「賛成」が 59.9%と最も多く、以下、「どちらかといえば賛成」(24.9%)、「どちらかといえば反対」(3.4%) となっています。

(7) 就労について

- 望ましい女性の就労については、「生涯を通じて仕事を持ち、結婚後、出産後も家庭と両立させる」が 54.5%と最も多く、以下、「出産後いったん退職し、子どもがある程度大きくなったら、再び仕事を持つ」(35.4%)、「出産を機に退職し、家庭のことに専念する」「女性は仕事を持たない方がよい」(ともに 1.3%) となっています。
- 職場での女性の地位向上のために必要なことについては、「男女ともに育児休業や介護休業がとりやすい制度の整備・充実を行うこと」が 57.9%と最も多く、以下、「職場において、配置や研修で性別による差をつけないこと」(43.8%)、「男女平等意識の向上のために管理職や従業員を対象とした教育や啓発を実施すること」(23.2%) となっています。
- 女性が働きつづけるために必要なことについては、「労働時間の短縮や休日の増加、就業時間に柔軟性を持たせるなど働きやすい労働条件とする」が 44.4%と最も多く、以下、「賃金、仕事内容など、労働条件面での男女差をなくす」(38.0%)、「育児・介護のための休業制度、諸手当を充実する」(26.9%) となっています。
- 仕事の内容や接遇面においての男女差については、「男女に差はない」が 36.4%と最も多く、以下、「男性が優遇されていると思う」(20.5%)、「女性が優遇されていると思う」(5.1%) となっています。
- 仕事の内容や接遇面においての具体的な事例については、「業務内容に差がある」が 53.9%と最も多く、以下、「賃金に差がある」「昇進、昇格に差がある」(ともに 39.5%) となっています。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大による、働き方や仕事内容の変化については、「特に変化はなかった」が 43.8%、「何かしらの変化があった」が 40.7% となっています。
- 働き方や仕事内容に変化があった理由については、「業績が悪化したから」が 26.4%と最も多く、以下、「経営・運営状況（営業時間等）が変化したから」(24.8%)、「コロナを機に仕事のニーズが高まり忙しくなったから」(17.4%) となっています。

(8) ワーク・ライフ・バランスについて

- 女性及び男性の望ましいと思う生き方については、「家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる」が、〈①男性の生き方〉、〈②女性の生き方〉ともに最も多くなっていますが、2番目に多いものは、〈①男性の生き方〉では、「家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまでも仕事を優先させる」(30.0%) で、〈②女性の生き方〉では、「仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる」(21.9%) となっています。
- 仕事と生活について、最も近い考え方については、〈①考え方（理想）〉では、「「仕事」と「家庭生活」をともに両立」が、37.7%と最も多く、以下、「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をすべてバランスよく行う」(33.3%)、「「家庭生活」を優先」(6.7%) となっています。
- 〈②現実（現状）〉では、「「仕事」を優先」が 39.7%と最も多く、以下「「仕事」と「家庭生活」をともに両立」が 25.9%、「「家庭生活」を優先」が 14.1% となっています。

■日常生活の中で満足する時間が取れているかについて、「十分取れている」又は「まあまあ取れている」と回答した割合は、〈①仕事のための時間〉が 80.5%と最も多い、以下、〈③家族・恋人・友人と過ごす時間〉(62.3%)、〈⑥休養〉(61.3%) となっており、6割を超えてます。一方、「あまり取れていない」又は「まったく取れていない」と回答した割合は、〈⑤地域活動に参加する時間〉が 61.7%と最も多い、以下、〈④個人の時間 (学習・趣味・スポーツなど)〉(40.7%)、〈⑥休養〉が 33.3%となっています。

(9) 社会参加について

- 現在、関心のある活動については、「芸術・文化・スポーツなど趣味のグループ活動」が 33.0%と最も多い、以下、「町内会・自治会などの地域活動」(18.5%)、「高齢者・障がい者等のためのボランティア活動」(10.8%) となっています。
- 活動に参加しようとするときの障害については、「仕事が忙しい」が 34.7%と最も多い、以下、「経済的余裕がない」(21.2%)、「情報が少ない」(20.2%) となっています。

(10) セクシャル・ハラスメント、DV について

- 身近なところ（職場・地域・学校）のセクシャル・ハラスメントについては、「見たり聞いたりしたことがある」が 27.9%と最も多い、以下、「自分自身が受けたことがある」(11.8%)、「自分自身がしたことがある」(1.7%) となっています。
- セクシャル・ハラスメントを受けた場については、「職場で」が 88.6%と最も多い、以下、「学校で」(17.1%)、「地域で」「家庭で」(ともに 8.6%) となっています。
- 受けたことがあるセクシャル・ハラスメントの内容については、「容姿や服装についてあれこれ言われた」が 37.1%と最も多い、以下、「性的な冗談や冷やかしを言われた」(34.3%)、「肩や尻など身体に触られた」(31.4%) となっています。
- 身近なところのDVについては、「暴力について見たり聞いたりしたことがある」が 17.2%と最も多い、以下、「自分自身が暴力を受けたことがある」(5.7%)、「自分自身が暴力をふるったことがある」(1.3%) となっています。
- DVの内容については、「大声でどなられたりおどされた」が 76.5%と最も多い、以下、「医師の治療を必要としないくらいの暴力を受けた」(35.3%)、「だれのおかげで生活できるんだ」などと言われた「何を言っても無視された」(ともに 29.4%) となっています。
- DVを受けたことについての相談先については、「友人・知人に相談した」が 52.9%と最も多い、以下、「家族や親せきに相談した」「どこ（だれ）にも相談しなかった」(ともに 29.4%) となっています。
- 相談しなかった、出来なかった理由については、「相談しても無駄だと思ったから」が 60.0%と最も多い、以下、「相談するほどのことではないと思ったから」「どこ（だれ）に相談してよいかわからなかつたから」「自分にも悪いところがあると思ったから」(ともに 40.0%) となっています。
- DVについて相談できる窓口の認知度については、「警察」が 72.4%と最も多い、以下、「女性のための相談支援センター、男女共生センター」(37.4%)、「保健福祉事務所、女性相談員」(20.2%) となっています。

(11) 性的マイノリティについて

- 性的マイノリティ（または LGBT 等）という言葉を知っているかについては、「はい」が 70.0%、「いいえ」が 27.6% となっています。
- 自分の体の性、心の性または性的指向に悩んだことがあるかについては、「はい」が 3.4%、「いいえ」が 93.9% となっています。
- 性的マイノリティ（または LGBT 等）にとって生活しづらい社会かについては、「どちらかといえばそう思う」が 36.0% と最も多く、以下、「そう思う」(24.2%)、「どちらかといえばそう思わない」(5.4%) となっています。
- 性的マイノリティ（または LGBT 等）が生活しやすくなるための対策については、「気持ちや情報を共有できる居場所づくり」が 43.0% と最も多く、以下、「法令の制定や制度の見直し」(38.5%)、「幼少期からの教育の充実」(35.8%) となっています。

(12) 防災・災害復興について

- 震災後、生活において強く意識していることについては、「非常時に備え、防災グッズや水・食料などの準備」が 63.0% と最も多く、以下、「家具の転倒防止など、家の中の安全対策」(62.0%)、「避難所や避難経路の確認」(39.4%) となっています。
- 災害が発生して避難が必要になった時に心配なことについては、「災害についての的確な情報が得られるか」が 67.0% と最も多く、以下、「家族との連絡がとれなくなるのではないか」(56.2%)、「避難所が安心か」(42.8%) となっています。
- 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要かについては、「必要がある」が 53.5% と最も多く、以下、「どちらかといえば必要がある」(30.6%)、「必要ない」(1.7%) となっています。
- 防災・災害復興対策で、性別に配慮した対応が必要だと思うことについては、「避難所の設備（男女別のトイレ、更衣室、洗濯干し場等）」が 86.0% と最も多く、以下、「災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦へのサポート体制）」(47.6%)、「避難所運営の責任者に男女が共に配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」(46.8%) となっています。

(13) SDGs（エス・ディー・ジーズ）について

- SDGs（持続可能な開発目標）の認知度については、「言葉は聞いたことはあるが、意味（内容）は知らない」が 51.2% と最も多く、以下、「意味（内容）まで知っている」(34.7%)、「知らなかった」(13.1%) となっています。
- SDGs の取り組みに参加したいかについては、「機会があれば参加したい」が 48.6% と最も多く、以下、「参加したい（すでに参加している）」(18.4%)、「参加したくない」(6.7%) となっています。
- 「桑折町 SDGs 推進町民会議」の認知度については、「知らなかった」が 61.3% と最も多く、以下、「言葉は聞いたことはあるが、意味（内容）は知らない」(26.9%)、「意味（内容）まで知っている」(11.1%) となっています。

■桑折町 SDGs 推進町民会議の取り組みについて、〈①町全体として重点的に取り組むべき〉については、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」が 76.8%となっています。一方、「どちらかといえばそうは思わない」又は「そう思わない」は 6.1%となっています。

また、〈②あなた自身が取り組みに参加したい〉については、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」が 56.9%となっています。一方、「どちらかといえばそうは思わない」又は「そう思わない」は 16.5%となっています。

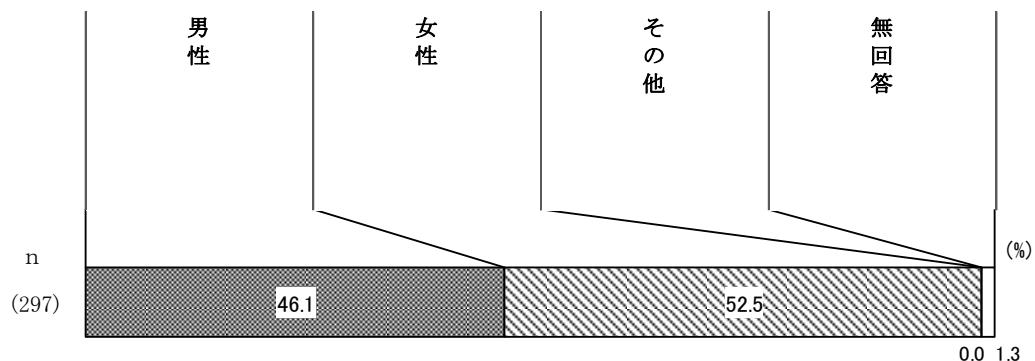
(14) 行政の役割について

■男女共同参画社会実現のため行政に望むことについては、「育児のため職場を離れても、同じ職場へ復帰できるような雇用面の対策を考える」が 55.6%と最も多く、以下、「子育て支援の施策を充実する」(48.5%)、「企業主など雇う側が女性差別をしないよう働きかけをする」(28.3%) となっています。

II. 調査結果の詳細

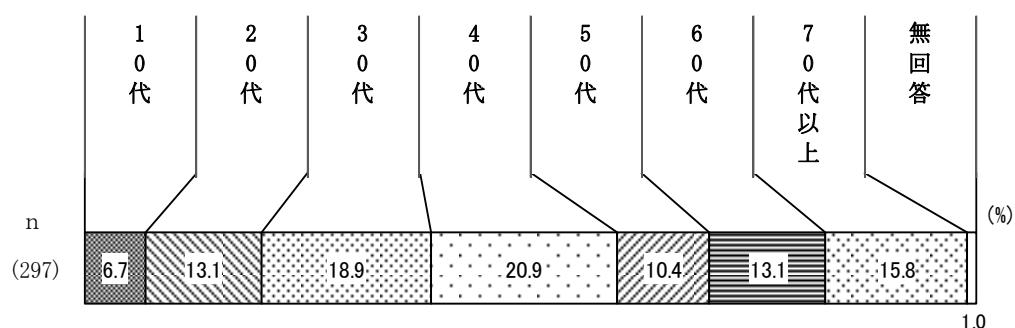
1. 回答者の属性

(1) 性別（自認する性）



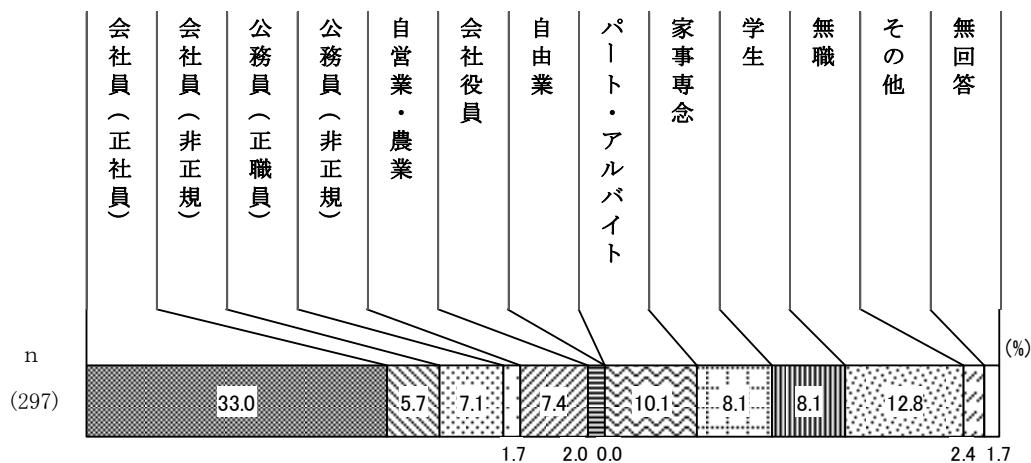
性別については、「男性」が 46.1%、「女性」が 52.5%となっています。

(2) 年齢



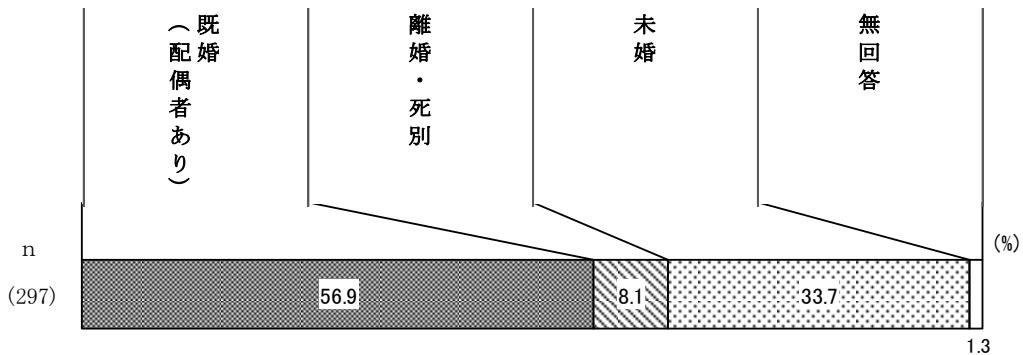
年齢については、「40代」が 20.9%と最も多く、以下、「30代」(18.9%)、「70代以上」(15.8%)となっています。

(3) 職業



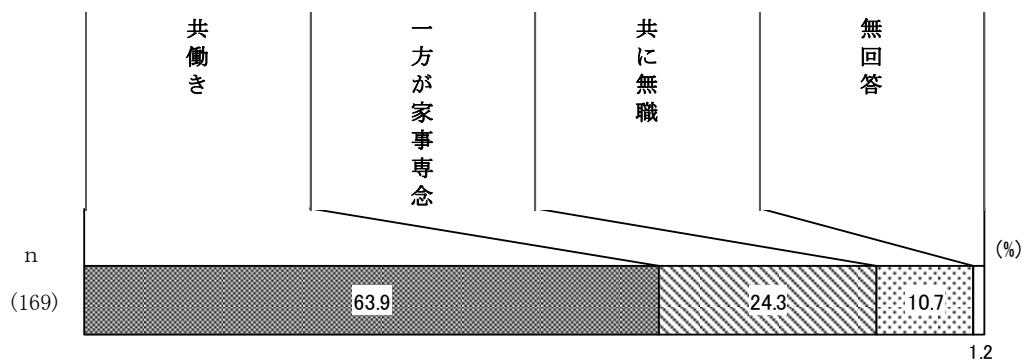
主たる職業については、「会社員（正社員）」が33.0%と最も多く、以下、「無職」(12.8%)、「パート・アルバイト」(10.1%)となっています。

(4) 婚姻の状況



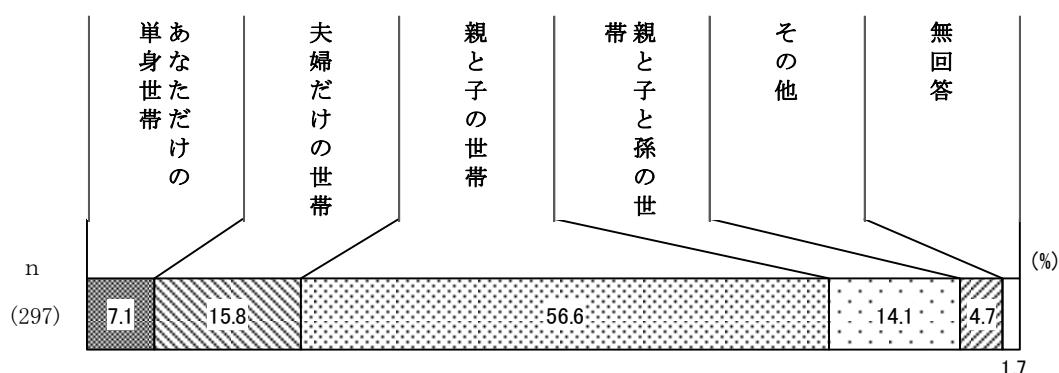
婚姻の状況については、「既婚（配偶者あり）」が56.9%と最も多く、以下、「未婚」(33.7%)、「離婚・死別」(8.1%)となっています。

(5) 共働きの状況



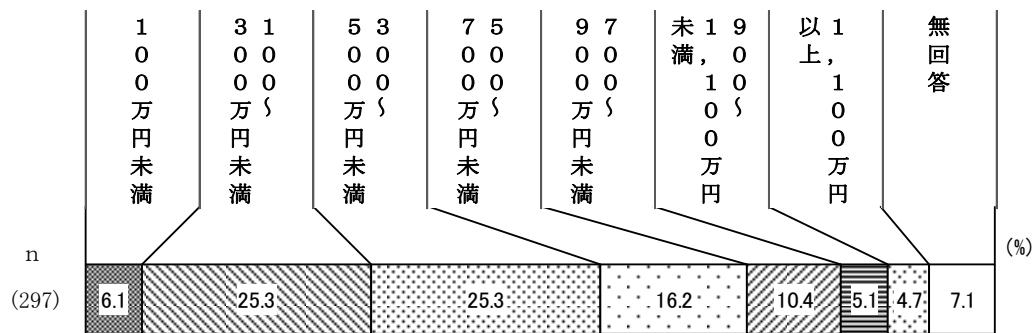
共働きの状況については、「共働き」が 63.9% と最も多く、以下、「一方が家事専念」(24.3%)、「共に無職」(10.7%) となっています。

(6) 同居の状況



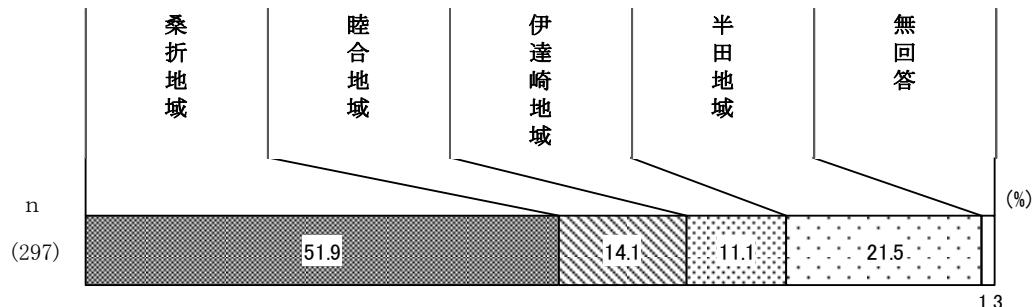
同居の状況については、「親と子の世帯」が 56.6% と最も多く、以下、「夫婦だけの世帯」(15.8%)、「親と子と孫の世帯」(14.1%) となっています。

(7) 世帯の収入



世帯の収入については、「100～300万円未満」と「300～500万円未満」がともに25.3%と最も多く、以下、「500～700万円未満」(16.2%)、「700～900万円未満」(10.4%)となっています。

(8) 現在の居住地



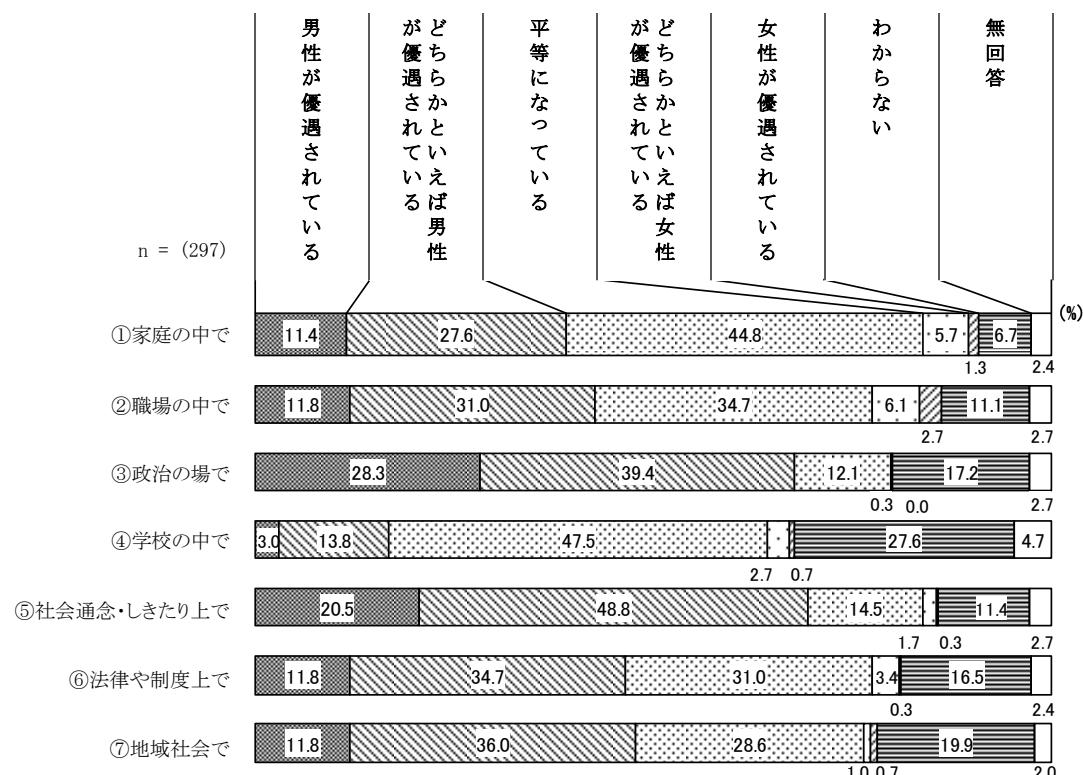
現在の居住地については、「桑折地域」が51.9%と最も多く、以下、「半田地区」(21.5%)、「睦合地区」(14.1%)、「伊達崎地区」(11.1%)となっています。

2. 男女平等について

(1) 男女平等について

問2 次の各分野で男女が平等になっていると思いますか。

それぞれの項目で1~6の中から1つだけ選んで○をしてください。



各分野での男女平等の意識について、「男性が優遇されている」又は「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した割合を比べると、〈⑤社会通念・しきたり上で〉が69.3%と最も多く、以下、〈③政治の場で〉が67.7%となっています。また、〈⑦地域社会で〉は47.8%、〈⑥法律や制度上で〉は46.5%、〈②職場の中で〉は42.8%と、いずれも4割を超えています。一方、「平等になっている」と回答した割合を比べると、〈④学校の中で〉が47.5%と最も多く、以下、〈①家庭の中で〉が44.8%となっています。

《問2 ①家庭の中で》

〈①家庭の中で〉について男女別にみると、『女性』では「男性が優遇されている」又は「どちらかといえば男性が優遇されている」が46.2%と、『男性』に比べ多く、「平等になっている」(40.4%)よりも多くなっています。

年代別でみると、「平等になっている」は、年代が下がるにつれ多くなっています。

【①家庭の中で/男女別/年代別】

		調査数	る男性が優遇されてい	性どがち優ら遇かされいてえいばる男	平等になつていてる	性どがち優ら遇かされいてえいばる女	る女性が優遇されてい	わからぬい	無回答
全 体		297 100.0	34 11.4	82 27.6	133 44.8	17 5.7	4 1.3	20 6.7	7 2.4
男女別	男性	137 100.0	13 9.5	31 22.6	68 49.6	10 7.3	2 1.5	9 6.6	4 2.9
	女性	156 100.0	21 13.5	51 32.7	63 40.4	7 4.5	2 1.3	11 7.1	1 0.6
年代別	20代以下	59 100.0	2 3.4	14 23.7	35 59.3	3 5.1	2 3.4	3 5.1	0 0.0
	30～50代	149 100.0	21 14.1	39 26.2	67 45.0	11 7.4	2 1.3	8 5.4	1 0.7
	60代以上	86 100.0	11 12.8	29 33.7	30 34.9	3 3.5	0 0.0	9 10.5	4 4.7

上段：件数、下段：%

《問2 ②職場の中で》

〈②職場の中で〉について男女別にみると、男女ともに「男性が優遇されている」又は「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した割合が、「平等になっている」と比べ多くなっています。

年代別でみると、「平等になっている」は、年代が下がるにつれ多くなっています。

【②職場の中で/男女別/年代別】

		調査数	る男性が優遇されてい	性どがち優ら遇かされいてえいばる男	平等になつていてる	性どがち優ら遇かされいてえいばる女	る女性が優遇されてい	わからぬい	無回答
全 体		297 100.0	35 11.8	92 31.0	103 34.7	18 6.1	8 2.7	33 11.1	8 2.7
男女別	男性	137 100.0	15 10.9	38 27.7	51 37.2	10 7.3	6 4.4	13 9.5	4 2.9
	女性	156 100.0	19 12.2	53 34.0	52 33.3	8 5.1	2 1.3	20 12.8	2 1.3
年代別	20代以下	59 100.0	3 5.1	12 20.3	31 52.5	2 3.4	1 1.7	9 15.3	1 1.7
	30～50代	149 100.0	19 12.8	50 33.6	51 34.2	15 10.1	7 4.7	7 4.7	0 0.0
	60代以上	86 100.0	13 15.1	29 33.7	21 24.4	1 1.2	0 0.0	17 19.8	5 5.8

上段：件数、下段：%

《問2 ③政治の中で》

〈③政治の中で〉について男女別にみると、男女ともに「男性が優遇されている」又は「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した割合が、「平等になっている」と比べ多くなっています。

年代別でみると、「平等になっている」は、年代が下がるにつれ多くなっています。

【③政治の中で/男女別/年代別】

		調査数	る男性が優遇されていればいる男	性どがち優遇かされいてえいばる	平等になつている	性どがち優遇かされいてえいばる女	る女性が優遇されてい	わからぬ	無回答
全 体		297 100.0	84 28.3	117 39.4	36 12.1	1 0.3	0 0.0	51 17.2	8 2.7
男女別	男性	137 100.0	31 22.6	58 42.3	22 16.1	1 0.7	0 0.0	21 15.3	4 2.9
	女性	156 100.0	52 33.3	58 37.2	14 9.0	0 0.0	0 0.0	30 19.2	2 1.3
年代別	20代以下	59 100.0	16 27.1	22 37.3	9 15.3	0 0.0	0 0.0	11 18.6	1 1.7
	30～50代	149 100.0	49 32.9	58 38.9	19 12.8	0 0.0	0 0.0	23 15.4	0 0.0
	60代以上	86 100.0	19 22.1	36 41.9	8 9.3	1 1.2	0 0.0	17 19.8	5 5.8

上段：件数、下段：%

《問2 ④学校の中で》

〈④学校の中で〉について男女別にみると、男女ともに「平等になっている」と回答した割合が「男性が優遇されている」又は「どちらかといえば男性が優遇されている」と比べ多くなっています。

年代別でみると、「平等になっている」は、年代が下がるにつれ多くなっています。

【④学校の中で/男女別/年代別】

		調査数	る男性が優遇されていればいる男	性どがち優遇かされいてえいばる	平等になつている	性どがち優遇かされいてえいばる女	る女性が優遇されてい	わからぬ	無回答
全 体		297 100.0	9 3.0	41 13.8	141 47.5	8 2.7	2 0.7	82 27.6	14 4.7
男女別	男性	137 100.0	3 2.2	14 10.2	71 51.8	5 3.6	2 1.5	36 26.3	6 4.4
	女性	156 100.0	5 3.2	27 17.3	69 44.2	3 1.9	0 0.0	46 29.5	6 3.8
年代別	20代以下	59 100.0	1 1.7	7 11.9	37 62.7	3 5.1	1 1.7	9 15.3	1 1.7
	30～50代	149 100.0	4 2.7	21 14.1	73 49.0	4 2.7	1 0.7	44 29.5	2 1.3
	60代以上	86 100.0	4 4.7	13 15.1	30 34.9	1 1.2	0 0.0	29 33.7	9 10.5

上段：件数、下段：%

《問2 ⑤社会通念・しきたり上で》

〈⑤社会通念・しきたり上で〉について男女別にみると、男女ともに「男性が優遇されている」又は「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した割合が、「平等になっている」と比べ多くなっています。

年代別でみると、『60代以上』では「平等になっている」が5.8%と、他の年代に比べ少なくなっています。

【⑤社会通念・しきたり上で/男女別/年代別】

		調査数	る男性が優遇されてい	性どがち優遇かされいてえいばる男	平等になつていてる	性どがち優遇かされいてえいばる女	る女性が優遇されてい	わからぬ	無回答
全 体		297 100.0	61 20.5	145 48.8	43 14.5	5 1.7	1 0.3	34 11.4	8 2.7
男女別	男性	137 100.0	22 16.1	70 51.1	20 14.6	5 3.6	1 0.7	15 10.9	4 2.9
	女性	156 100.0	38 24.4	74 47.4	23 14.7	0 0.0	0 0.0	19 12.2	2 1.3
年代別	20代以下	59 100.0	10 16.9	27 45.8	16 27.1	2 3.4	0 0.0	3 5.1	1 1.7
	30～50代	149 100.0	37 24.8	68 45.6	22 14.8	2 1.3	1 0.7	19 12.8	0 0.0
	60代以上	86 100.0	14 16.3	49 57.0	5 5.8	1 1.2	0 0.0	12 14.0	5 5.8

上段：件数、下段：%

《問2 ⑥法律や制度上で》

〈⑥法律や制度上で〉について男女別にみると、『女性』では「男性が優遇されている」又は「どちらかといえば男性が優遇されている」が55.8%と、『男性』と比べ多く、「平等になっている」(21.8%)よりも多くなっています。

年代別でみると、「平等になっている」は、年代が下がるにつれ多くなっています。

【⑥法律や制度上で/男女別/年代別】

		調査数	る男性が優遇されてい	性どがち優遇かされいてえいばる男	平等になつていてる	性どがち優遇かされいてえいばる女	る女性が優遇されてい	わからぬ	無回答
全 体		297 100.0	35 11.8	103 34.7	92 31.0	10 3.4	1 0.3	49 16.5	7 2.4
男女別	男性	137 100.0	8 5.8	42 30.7	57 41.6	7 5.1	1 0.7	19 13.9	3 2.2
	女性	156 100.0	26 16.7	61 39.1	34 21.8	3 1.9	0 0.0	30 19.2	2 1.3
年代別	20代以下	59 100.0	5 8.5	21 35.6	23 39.0	2 3.4	0 0.0	7 11.9	1 1.7
	30～50代	149 100.0	17 11.4	54 36.2	44 29.5	6 4.0	1 0.7	27 18.1	0 0.0
	60代以上	86 100.0	13 15.1	28 32.6	24 27.9	2 2.3	0 0.0	15 17.4	4 4.7

上段：件数、下段：%

《問2 ⑦地域社会で》

〈⑦地域社会で〉について男女別にみると、『女性』では「男性が優遇されている」又は「どちらかといえば男性が優遇されている」が54.5%と、『男性』と比べ多く、「平等になっている」(23.1%)よりも多くなっています。

年代別でみると、『60代以上』では、「平等になっている」が16.3%と、他の年代に比べ少なくなっています。

【⑦地域社会で/男女別/年代別】

		調査数	る男性が優遇されてい	性どがち優ら遇かされいてえいばる男	平等になつていてえいばる男	性どがち優ら遇かされいてえいばる女	る女性が優遇されてい	わからな	無回答
全 体		297 100.0	35 11.8	107 36.0	85 28.6	3 1.0	2 0.7	59 19.9	6 2.0
男女別	男性	137 100.0	9 6.6	47 34.3	48 35.0	3 2.2	2 1.5	25 18.2	3 2.2
	女性	156 100.0	25 16.0	60 38.5	36 23.1	0 0.0	0 0.0	34 21.8	1 0.6
年代別	20代以下	59 100.0	5 8.5	15 25.4	25 42.4	0 0.0	0 0.0	13 22.0	1 1.7
	30~50代	149 100.0	17 11.4	54 36.2	45 30.2	2 1.3	2 1.3	29 19.5	0 0.0
	60代以上	86 100.0	13 15.1	38 44.2	14 16.3	1 1.2	0 0.0	17 19.8	3 3.5

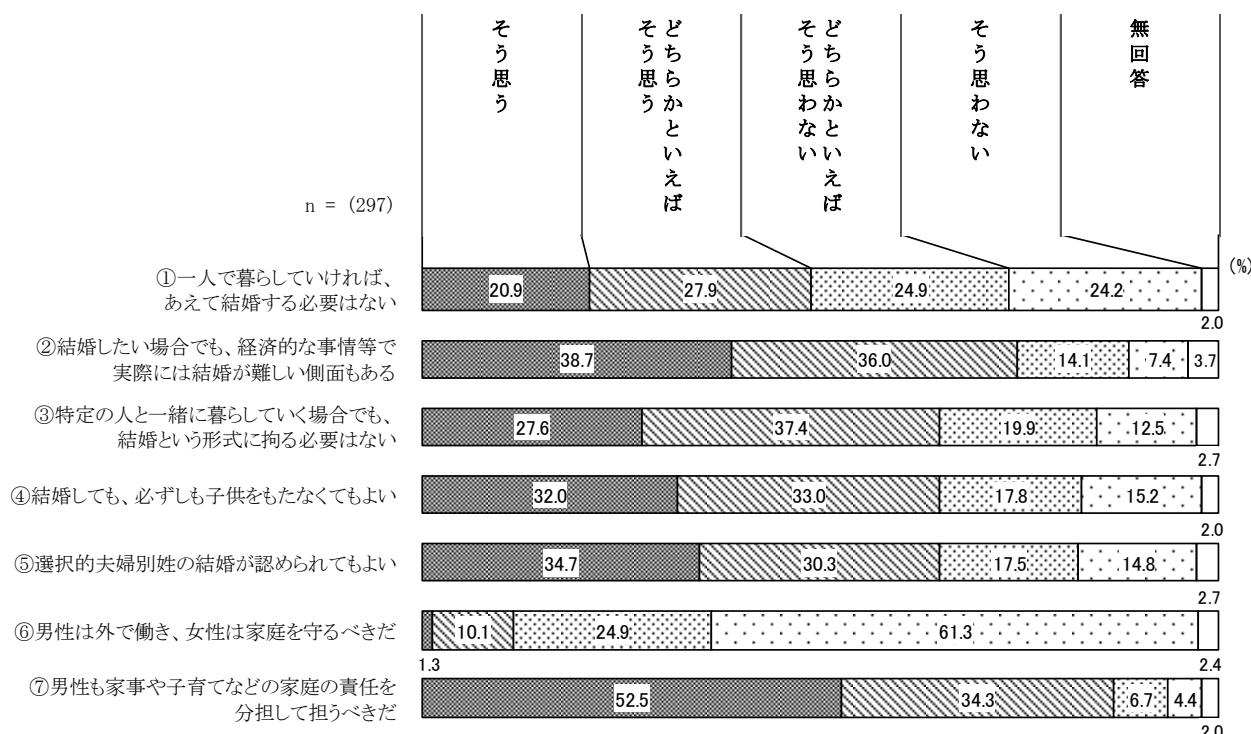
上段：件数、下段：%

3. 結婚と家庭生活について

(1) 結婚と家庭生活について

問3 次の項目について、あなたはどう思いますか。

それぞれ1~4の中から1つだけ選んで○をしてください。



〈①一人で暮らしていければ、あえて結婚する必要はない〉という考え方では、49.1%が「どちらかといえばそうは思わない」又は「そう思わない」と回答しています。

〈②結婚したい場合でも、経済的な事情等で実際には結婚が難しい側面もある〉という考え方では、74.7%が「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

〈③特定の人と一緒に暮らしていく場合でも、結婚という形式に拘る必要はない〉という考え方では、65.0%が「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

〈④結婚しても、必ずしも子供をもたなくともよい〉という考え方では、65.0%が「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

〈⑤選択的夫婦別姓の結婚が認められてもよい〉という考え方では、65.0%が「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

〈⑥男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ〉という考え方では、86.2%が「どちらかといえばそうは思わない」又は「そう思わない」と回答しています。

〈⑦男性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担して担うべきだ〉という考え方では、86.8%が「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

《問3 ①一人で暮らしていければ、あえて結婚する必要はない》

〈①一人で暮らしていければ、あえて結婚する必要はない〉について男女別でみると、『女性』では、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」が54.5%となっています。

年代別でみると、『30～50代』では、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」が54.4%と、他の年代に比べ多くなっています。

【①一人で暮らしていければ、あえて結婚する必要はない/男女別/年代別】

		調査数	そう思う	どちらかと思ふ	どちらかと思ふ	そう思わない	無回答
全 体		297	62	83	74	72	6
男女別	男性	137	22	37	38	38	2
	女性	156	39	46	36	33	2
年代別	20代以下	59	15	15	21	7	1
	30～50代	149	36	45	32	36	0
	60代以上	86	11	23	21	28	3
		100.0	12.8	26.7	24.4	32.6	3.5

上段：件数、下段：%

《問3 ②結婚したい場合でも、経済的な事情等で実際には結婚が難しい側面もある》

〈②結婚したい場合でも、経済的な事情等で実際には結婚が難しい側面もある〉について男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別でみると、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」は、年代が下がるにつれ少なくなっています。

【②結婚したい場合でも、経済的な事情等で実際には結婚が難しい側面もある/男女別/年代別】

		調査数	そう思う	どちらかと思ふ	どちらかと思ふ	そう思わない	無回答
全 体		297	115	107	42	22	11
男女別	男性	137	58	48	18	9	4
	女性	156	57	58	24	12	5
年代別	20代以下	59	27	21	9	1	1
	30～50代	149	59	55	19	14	2
	60代以上	86	29	31	14	6	6
		100.0	33.7	36.0	16.3	7.0	7.0

上段：件数、下段：%

《問3 ③特定の人と一緒に暮らしていく場合でも、結婚という形式に拘る必要はない》

〈③特定の人と一緒に暮らしていく場合でも、結婚という形式に拘る必要はない〉について男女別でみると、『女性』では「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」が 72.4%となっています。

年代別でみると、『60代以上』では「そう思わない」又は「どちらかといえばそう思わない」が 47.7%と、他の年代に比べ多くなっています。

【③特定の人と一緒に暮らしていく場合でも、結婚という形式に拘る必要はない/男女別/年代別】

		調査数	そう思う	どちらかといえば	どちらかと思わぬ	そう思わない	無回答
全 体		297	82	111	59	37	8
		100.0	27.6	37.4	19.9	12.5	2.7
男女別	男性	137	35	44	33	22	3
	女性	156	47	66	25	15	3
		100.0	30.1	42.3	16.0	9.6	1.9
年代別	20代以下	59	19	25	10	4	1
		100.0	32.2	42.4	16.9	6.8	1.7
	30～50代	149	53	56	26	14	0
		100.0	35.6	37.6	17.4	9.4	0.0
年代別	60代以上	86	10	30	22	19	5
		100.0	11.6	34.9	25.6	22.1	5.8

上段：件数、下段：%

《問3 ④結婚しても、必ずしも子供をもたなくてもよい》

〈④結婚しても、必ずしも子供をもたなくてもよい〉について男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別でみると、『60代以上』では「そう思わない」又は「どちらかといえばそう思わない」が 57.0%と、他の年代に比べ多くなっています。

【④結婚しても、必ずしも子供をもたなくてもよい/男女別/年代別】

		調査数	そう思う	どちらかといえば	どちらかと思わぬ	そう思わない	無回答
全 体		297	95	98	53	45	6
		100.0	32.0	33.0	17.8	15.2	2.0
男女別	男性	137	34	52	23	26	2
	女性	156	61	45	30	18	2
		100.0	39.1	28.8	19.2	11.5	1.3
年代別	20代以下	59	27	21	7	3	1
		100.0	45.8	35.6	11.9	5.1	1.7
	30～50代	149	59	52	18	20	0
		100.0	39.6	34.9	12.1	13.4	0.0
年代別	60代以上	86	9	25	28	21	3
		100.0	10.5	29.1	32.6	24.4	3.5

上段：件数、下段：%

《問3 ⑤選択的夫婦別姓の結婚が認められてもよい》

〈⑤選択的夫婦別姓の結婚が認められてもよい〉について男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別でみると、『60代以上』では、「そう思わない」又は「どちらかといえばそう思わない」が53.5%と、他の年代に比べ多くなっています。

【⑤選択的夫婦別姓の結婚が認められてもよい/男女別/年代別】

		調査数	そう思う	どうち思らうかといえれば	どうち思らわかなどいえば	そう思わない	無回答
全 体		297	103	90	52	44	8
		100.0	34.7	30.3	17.5	14.8	2.7
男女別	男性	137	47	38	28	20	4
	女性	156	56	52	24	22	2
		100.0	35.9	33.3	15.4	14.1	1.3
年代別	20代以下	59	24	21	9	4	1
	30～50代	149	65	48	22	14	0
	60代以上	86	14	21	21	25	5
		100.0	16.3	24.4	24.4	29.1	5.8

上段：件数、下段：%

《問3 ⑥男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ》

〈⑥ 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ〉について男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別でみると、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」は、年代が下がるにつれ少なくなっています。

【⑥男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ/男女別/年代別】

		調査数	そう思う	どうち思らうかといえれば	どうち思らわかなどいえば	そう思わない	無回答
全 体		297	4	30	74	182	7
		100.0	1.3	10.1	24.9	61.3	2.4
男女別	男性	137	1	14	35	84	3
	女性	156	3	15	38	98	2
		100.0	1.9	9.6	24.4	62.8	1.3
年代別	20代以下	59	1	3	20	34	1
	30～50代	149	1	15	31	102	0
	60代以上	86	2	12	22	46	4
		100.0	2.3	14.0	25.6	53.5	4.7

上段：件数、下段：%

《問3 ⑦男性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担して担うべきだ》

〈⑦男性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担して担うべきだ〉について男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別でみると、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」は、年代が下がるにつれ少なくなっています。

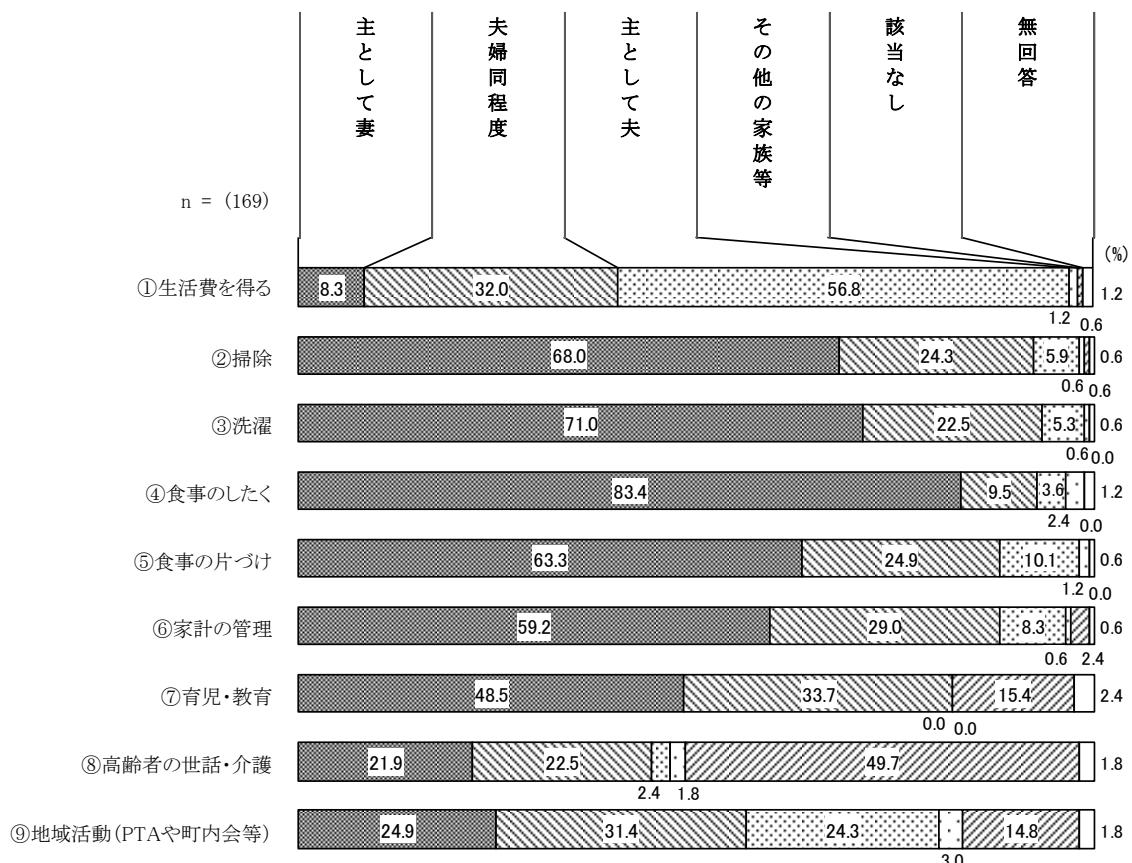
【⑦男性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担して担うべきだ/男女別/年代別】

		調査数	そう思う	どちらかと思ふ	どちらかと思ふ	そう思わない	無回答
全 体		297	156	102	20	13	6
男女別	男性	137	61	56	7	10	3
	女性	156	95	45	12	3	1
年代別	20代以下	59	35	21	2	1	0
	30~50代	149	88	45	9	7	0
	60代以上	86	33	36	8	5	4

上段：件数、下段：%

(2) 家庭での仕事の分担

問4 既婚の方にお尋ねします。あなたの家庭では、次の項目の仕事は夫婦のうち、どちらが主に担当されていますか。
それぞれ1~5の中から1つだけ選んで○をしてください。



家庭での仕事の分担について、「主として妻」が最も多くなっているのは、②掃除 ③洗濯 ④食事のしたく ⑤食事の片づけ ⑥家計の管理 ⑦育児・教育 となっており、いずれも4割を超えています。

一方、①生活費を得るでは、「主として夫」が56.8%と最も多く、⑨地域活動(PTAや町内会等)では「夫婦同程度」が31.4%と最も多くなっています。⑧高齢者の世話・介護では、「該当なし」を除くと、「夫婦同程度」が22.5%と最も多くなっています。

《問4 ①生活費を得る》

〈①生活費を得る〉について男女別にみると、『男性』では「主として夫」が 63.3%と、最も多くなっています。

年代別でみると、「主として夫」は、年代が下がるにつれ多くなっています。

【①生活費を得る/男女別/年代別】

		調査数	主として妻	夫婦同程度	主として夫	その他の家族等	該当なし	無回答
全 体		169	14	54	96	2	1	2
男女別	男性	90	6	23	57	1	1	2
	女性	78	8	31	39	0	0	0
年代別	20代以下	10	1	2	7	0	0	0
	30～50代	98	5	32	61	0	0	0
	60代以上	61	8	20	28	2	1	2

上段：件数、下段：%

《問4 ②掃除》

〈②掃除〉について男女別にみると、『女性』では「主として妻」が 76.9%と、最も多くなっています。

年代別でみると、「夫婦同程度」は、年代が下がるにつれ多くなっています。

【②掃除/男女別/年代別】

		調査数	主として妻	夫婦同程度	主として夫	その他の家族等	該当なし	無回答
全 体		169	115	41	10	1	1	1
男女別	男性	90	54	25	8	1	1	1
	女性	78	60	16	2	0	0	0
年代別	20代以下	10	7	3	0	0	0	0
	30～50代	98	62	27	7	1	1	0
	60代以上	61	46	11	3	0	0	1

上段：件数、下段：%

《問4 ③洗濯》

〈③洗濯〉について男女別にみると、『女性』では「主として妻」が80.8%と、最も多くなっています。年代別でみると、「夫婦同程度」は、年代が下がるにつれ多くなっています。

【③選択/男女別/年代別】

		調査数	主として妻	夫婦同程度	主として夫	その他の家族等	該当なし	無回答
全 体		169 100.0	120 71.0	38 22.5	9 5.3	1 0.6	0 0.0	1 0.6
男女別	男性	90 100.0	56 62.2	25 27.8	7 7.8	1 1.1	0 0.0	1 1.1
	女性	78 100.0	63 80.8	13 16.7	2 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年代別	20代以下	10 100.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30~50代	98 100.0	64 65.3	27 27.6	6 6.1	1 1.0	0 0.0	0 0.0
	60代以上	61 100.0	49 80.3	8 13.1	3 4.9	0 0.0	0 0.0	1 1.6

上段：件数、下段：%

《問4 ④食事のしたく》

〈④食事のしたく〉について男女別にみると、男女ともに「主として妻」が83.3%となっています。年代別でみると、どの年代も「主として妻」が最も多くなっています。

【④食事のしたく/男女別/年代別】

		調査数	主として妻	夫婦同程度	主として夫	その他の家族等	該当なし	無回答
全 体		169 100.0	141 83.4	16 9.5	6 3.6	4 2.4	0 0.0	2 1.2
男女別	男性	90 100.0	75 83.3	8 8.9	2 2.2	3 3.3	0 0.0	2 2.2
	女性	78 100.0	65 83.3	8 10.3	4 5.1	1 1.3	0 0.0	0 0.0
年代別	20代以下	10 100.0	8 80.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30~50代	98 100.0	80 81.6	10 10.2	4 4.1	3 3.1	0 0.0	1 1.0
	60代以上	61 100.0	53 86.9	5 8.2	1 1.6	1 1.6	0 0.0	1 1.6

上段：件数、下段：%

《問4 ⑤食事の片づけ》

〈⑤食事の片づけ〉について男女別にみると、『女性』では「主として妻」が70.5%と、最も多くなっています。

年代別でみると、「夫婦同程度」は、年代が下がるにつれ多くなっています。

【⑤食事の片づけ/男女別/年代別】

		調査数	主として妻	夫婦同程度	主として夫	その他の家族等	該当なし	無回答
全 体		169	107	42	17	2	0	1
		100.0	63.3	24.9	10.1	1.2	0.0	0.6
男女別	男性	90	51	25	12	1	0	1
	女性	78	55	17	5	1	0	0
		100.0	70.5	21.8	6.4	1.3	0.0	0.0
年代別	20代以下	10	5	5	0	0	0	0
	30～50代	98	60	27	11	0	0	0
	60代以上	61	42	10	6	2	0	1
		100.0	68.9	16.4	9.8	3.3	0.0	1.6

上段：件数、下段：%

《問4 ⑥家計の管理》

〈⑥家計の管理〉について男女別にみると、『女性』では「主として妻」が64.1%と、最も多くなっています。

年代別でみると、『60代以上』では「主として妻」が62.3%と、他の年代に比べ多くなっています。

【⑥家計の管理/男女別/年代別】

		調査数	主として妻	夫婦同程度	主として夫	その他の家族等	該当なし	無回答
全 体		169	100	49	14	1	4	1
		100.0	59.2	29.0	8.3	0.6	2.4	0.6
男女別	男性	90	49	31	5	1	3	1
	女性	78	50	18	9	0	1	0
		100.0	54.4	34.4	5.6	1.1	3.3	1.1
年代別	20代以下	10	5	3	2	0	0	0
	30～50代	98	57	30	8	1	2	0
	60代以上	61	38	16	4	0	2	1
		100.0	62.3	26.2	6.6	0.0	3.3	1.6

上段：件数、下段：%

《問4 ⑦育児・教育》

〈⑦育児・教育〉について男女別にみると、『女性』では「主として妻」が62.8%と、最も多くなっています。

年代別でみると、『30~50代』では「夫婦同程度」が41.8%と、他の年代に比べ多くなっています。

【⑦育児・教育/男女別/年代別】

		調査数	主として妻	夫婦同程度	主として夫	その他の家族等	該当なし	無回答
全 体		169	82	57	0	0	26	4
		100.0	48.5	33.7	0.0	0.0	15.4	2.4
男女別	男性	90	32	41	0	0	14	3
		100.0	35.6	45.6	0.0	0.0	15.6	3.3
男女別	女性	78	49	16	0	0	12	1
		100.0	62.8	20.5	0.0	0.0	15.4	1.3
年代別	20代以下	10	5	2	0	0	3	0
		100.0	50.0	20.0	0.0	0.0	30.0	0.0
	30~50代	98	49	41	0	0	7	1
		100.0	50.0	41.8	0.0	0.0	7.1	1.0
年代別	60代以上	61	28	14	0	0	16	3
		100.0	45.9	23.0	0.0	0.0	26.2	4.9

上段：件数、下段：%

《問4 ⑧高齢者の世話・介護》

〈⑧高齢者の世話・介護〉について男女別にみると、『女性』では「主として妻」が30.8%となっています。

年代別でみると、『60代以上』では「主として妻」が37.7%と、他の年代に比べ多くなっています。

【⑧高齢者の世話・介護/男女別/年代別】

		調査数	主として妻	夫婦同程度	主として夫	その他の家族等	該当なし	無回答
全 体		169	37	38	4	3	84	3
		100.0	21.9	22.5	2.4	1.8	49.7	1.8
男女別	男性	90	12	22	4	2	47	3
		100.0	13.3	24.4	4.4	2.2	52.2	3.3
男女別	女性	78	24	16	0	1	37	0
		100.0	30.8	20.5	0.0	1.3	47.4	0.0
年代別	20代以下	10	0	0	0	1	9	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0	0.0
	30~50代	98	14	24	4	1	54	1
		100.0	14.3	24.5	4.1	1.0	55.1	1.0
年代別	60代以上	61	23	14	0	1	21	2
		100.0	37.7	23.0	0.0	1.6	34.4	3.3

上段：件数、下段：%

《問4 ⑨地域活動 ((PTAや町内会等))》

〈⑨地域活動 ((PTAや町内会等))について男女別にみると、『男性』では「夫婦同程度」が37.8%となっています。

年代別でみると、『60代以上』では「主として夫」が37.7%と、他の年代と比べ多くなっています。

【⑨地域活動 ((PTAや町内会等) /男女別/年代別】

		調査数	主として妻	夫婦同程度	主として夫	その他の家族等	該当なし	無回答
全 体		169 100.0	42 24.9	53 31.4	41 24.3	5 3.0	25 14.8	3 1.8
男女別	男性	90 100.0	19 21.1	34 37.8	20 22.2	5 5.6	10 11.1	2 2.2
	女性	78 100.0	23 29.5	19 24.4	20 25.6	0 0.0	15 19.2	1 1.3
年代別	20代以下	10 100.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	6 60.0	0 0.0
	30～50代	98 100.0	31 31.6	33 33.7	17 17.3	3 3.1	14 14.3	0 0.0
	60代以上	61 100.0	11 18.0	18 29.5	23 37.7	1 1.6	5 8.2	3 4.9

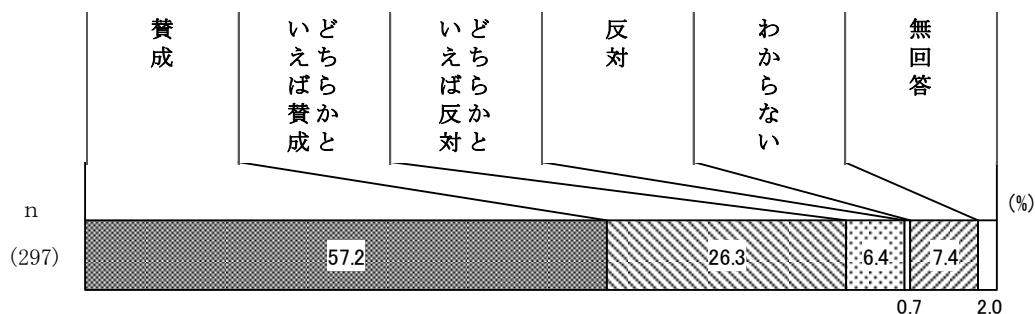
上段：件数、下段：%

4. 男性の家事・育児の参加について

(1) 男性の育児休業取得

問5 男性が育児休業を取得することについて、どう思いますか。

次の1~5の中から1つだけ選んで○をしてください。



男性が育児休業を取得することについては、「賛成」が57.2%と最も多く、以下、「どちらかといえば賛成」(26.3%)、「どちらかといえば反対」(6.4%)となっています。

男女別でみると、男女ともに「賛成」又は「どちらかといえば賛成」が「どちらかといえば反対」又は「反対」と比べ多く、8割を超えています。

年代別でみると、『60代以上』では「反対」又は「どちらかといえば反対」が11.7%と、他の年代に比べ多くなっています。

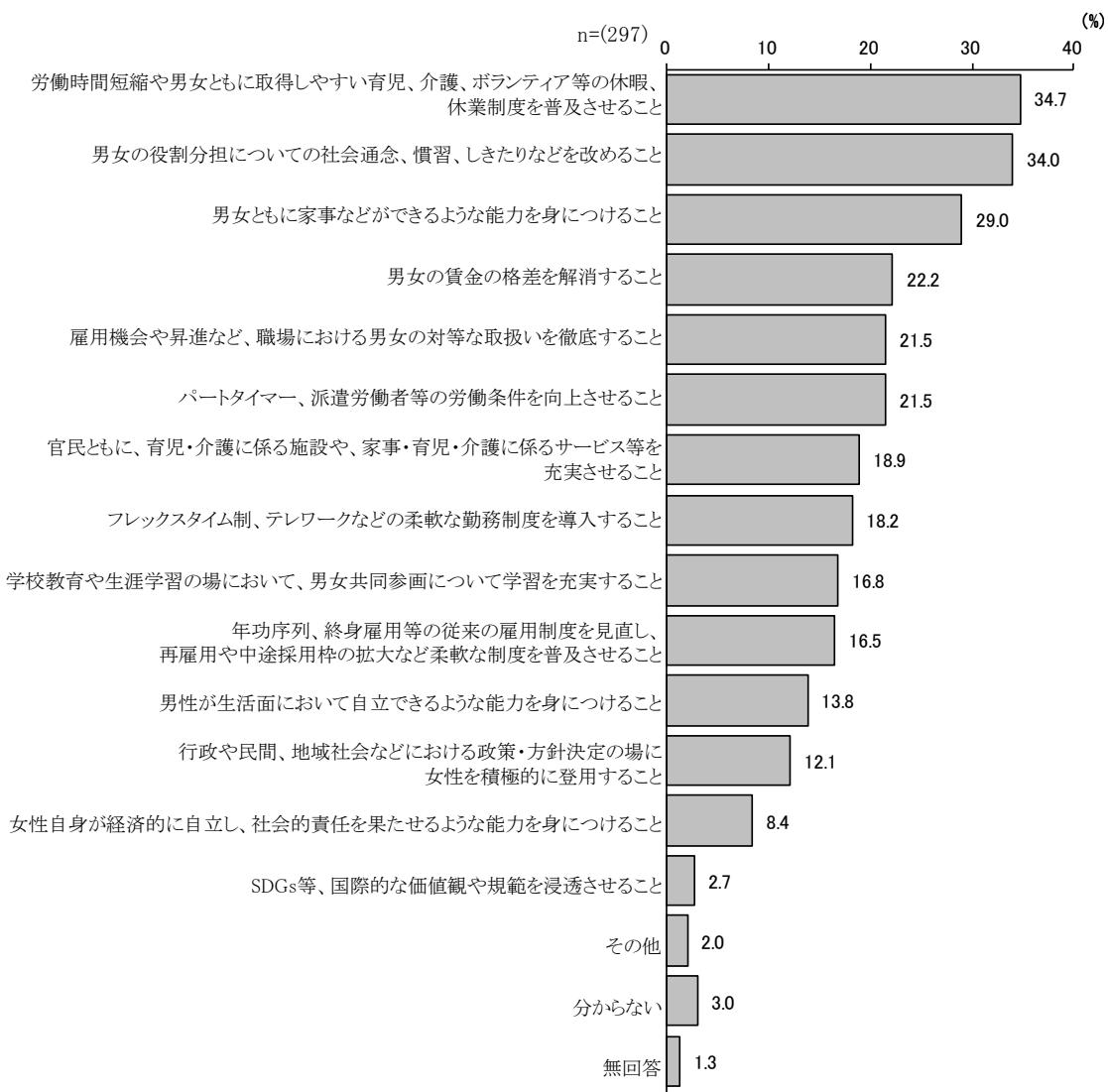
【男性の育児休業取得/男女別/年代別】

		調査数	賛成	賛成どちらかといえば	反対どちらかといえば	反対	わからない	無回答
全 体		297 100.0	170 57.2	78 26.3	19 6.4	2 0.7	22 7.4	6 2.0
男女別	男性	137 100.0	75 54.7	43 31.4	8 5.8	1 0.7	8 5.8	2 1.5
	女性	156 100.0	94 60.3	34 21.8	11 7.1	0 0.0	13 8.3	4 2.6
年代別	20代以下	59 100.0	51 86.4	6 10.2	0 0.0	0 0.0	1 1.7	1 1.7
	30~50代	149 100.0	90 60.4	35 23.5	10 6.7	0 0.0	11 7.4	3 2.0
	60代以上	86 100.0	28 32.6	36 41.9	9 10.5	1 1.2	10 11.6	2 2.3

上段：件数、下段：%

(2) 女性と男性がともに仕事、家庭、育児、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと

問6 今後、女性と男性がともに仕事、家庭、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
次の1~16の中から3つ以内で選んで○をしてください。



女性と男性がともに仕事、家庭、育児、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なことについては、「労働時間短縮や男女ともに取得しやすい育児、介護、ボランティア等の休暇、休業制度を普及させること」が34.7%と最も多く、以下、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどを改めること」(34.0%)、「男女ともに家事などができるような能力を身につけること」(29.0%)となっています。

男女別でみると、男女ともに「労働時間短縮や男女ともに取得しやすい育児、介護、ボランティア等の休暇、休業制度を普及させること」が最も多く、以下、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどを改めること」「男女ともに家事などができるような能力を身につけること」となっています。

年代別でみると、『20代以下』では「労働時間短縮や男女ともに取得しやすい育児、介護、ボランティア等の休暇、休業制度を普及させること」が47.5%と、他の年代に比べ10ポイント以上多くなっています。

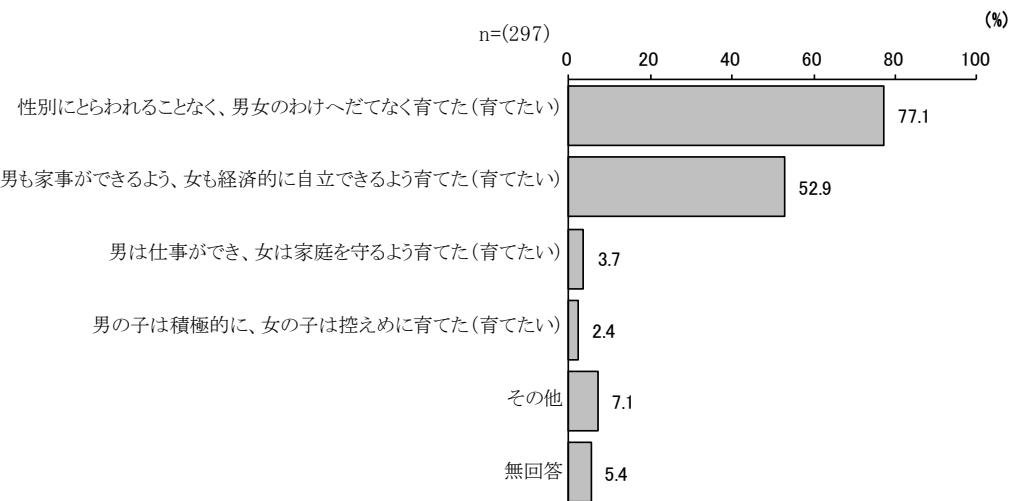
【男女ともに仕事、家庭、育児、介護、地域活動に積極的に参加するためには必要なこと/男女別/年代別】

上段：件数、下段：%

5. 子育てについて

(1) 教育方針

問7 お子さんをどのような教育方針で育てられましたか。また、どのように育てたいと思いますか。
次の1~5の中から2つ以内で選んで○をしてください。



お子さんの教育方針については、「性別にとらわれることなく、男女のわけへだてなく育てた(育てたい)」が 77.1%と最も多く、以下、「男も家事ができるよう、女も経済的に自立できるよう育てた (育てたい)」(52.9%)、「男は仕事ができ、女は家庭を守るよう育てた (育てたい)」(3.7%) となっています。

男女別でみると、男女ともに「性別にとらわれることなく、男女のわけへだてなく育てた (育てたい)」が最も多く、7割を超えています。以下、男女ともに「男も家事ができるよう、女も経済的に自立できるよう育てた (育てたい)」が4割を超えています。

年代別でみると、『20代以下』では「性別にとらわれることなく、男女のわけへだてなく育てた (育てたい)」が 91.5%、『60代以上』では「男は仕事ができ、女は家庭を守るよう育てた (育てたい)」が 8.1% と、他の年代に比べ多くなっています。

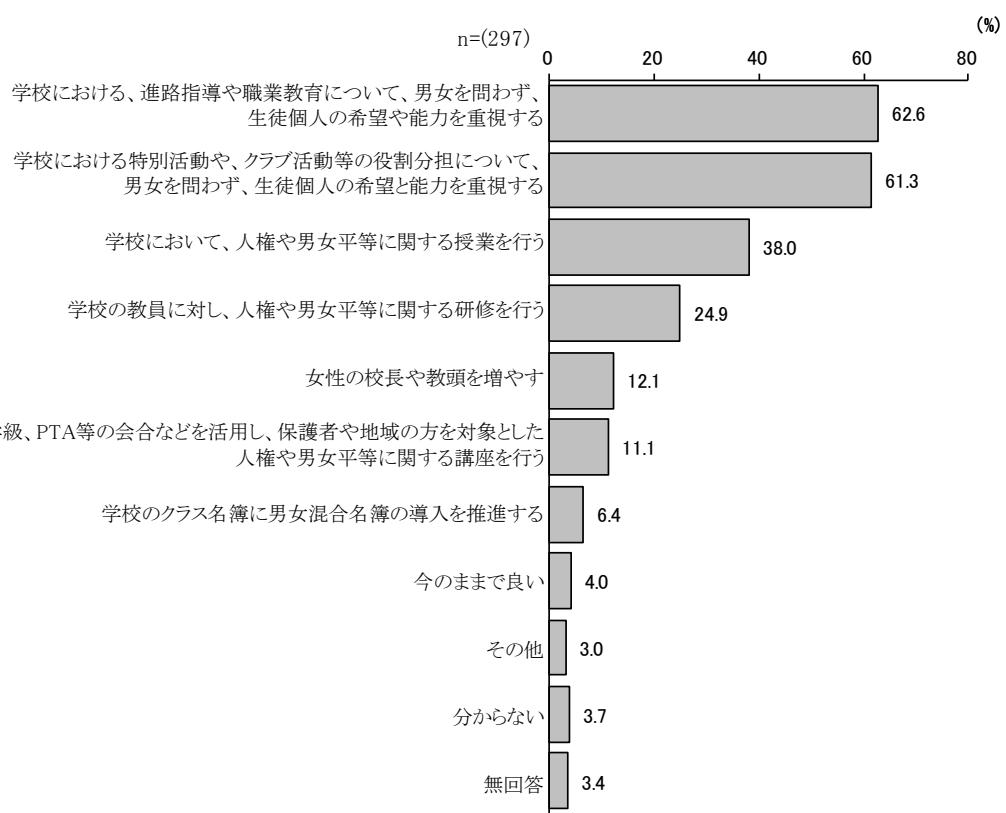
【教育方針/男女別/年代別】

		調査数	くく性 育、別 て男に た女と のら 育わわ てけれ たへる いだこ てと なな	くく性 育、別 て男に た女と のら 育わわ てけれ たへる いだこ てと なな	よ女 うもも て済事 的が 育自き て立る たでよ いきう る、	男 もも たは えは め積 に極 育的 てに た、 へ女 育の	男 もも たは い控 事 め積 に極 育的 てに た、 へ女 育の	男 たは い守 事 よが うで 育き て、 た女 は 育家	庭 男 たを い守 事 よが うで 育き て、 た女 は 育家	男 たは い守 事 よが うで 育き て、 た女 は 育家	その 他	無 回答
全 体		297	229	157	7	11	21	16				
男女別	男性	137	109	65	5	4	10	5				
	女性	156	118	90	2	6	10	11				
年代別	20代以下	59	54	38	1	1	3	0				
	30~50代	149	109	73	3	3	9	9				
	60代以上	86	64	44	3	7	8	7				

上段：件数、下段：%

(2) 人権や男女平等意識の育成を重視した教育に必要なこと

問8 次の世代を担う子どもたちに対して、家庭や学校で人権や男女平等意識の育成を重視した教育が重要であるという考え方がありますが、どのようなことが必要だと思いますか。
次の1~10の中から3つ以内で選んで○をしてください。



人権や男女平等意識の育成を重視した教育に必要なことについては、「学校における、進路指導や職業教育について、男女を問わず、生徒個人の希望や能力を重視する」が62.6%と最も多く、以下、「学校における特別活動や、クラブ活動等の役割分担について、男女を問わず、生徒個人の希望と能力を重視する」(61.3%)、「学校において、人権や男女平等に関する授業を行う」(38.0%)となっています。

男女別でみると、男女ともに「学校における特別活動や、クラブ活動等の役割分担について、男女を問わず、生徒個人の希望と能力を重視する」「学校における、進路指導や職業教育について、男女を問わず、生徒個人の希望や能力を重視する」が多く、ともに6割を超えています。以下、「学校において、人権や男女平等に関する授業を行う」が3割を超えています。

年代別でみると、『20代以下』では「学校における特別活動や、クラブ活動等の役割分担について、男女を問わず、生徒個人の希望と能力を重視する」が76.3%、『30~50代』では「女性の校長や教頭を増やす」が14.8%、『60代以上』では「今まで良い」が9.3%と、それぞれ他の年代に比べ多くなっています。

【人権や男女平等意識の育成を重視した教育に必要なこと/男女別/年代別】

		調査数	徒の学校個人割りの分お希に担ける希望に持つ特別能別力を活用して、動重男や視女、すをク、る問、わづ活、動生等	能い学校力を、に重男お視女、けすを、る問、わづ路、指生導徒や個職人業の教希、育望にやつ	授学校を行おいて、人権や男女平等に、関する	を学校推進のするクラス名簿に男女混合名簿の導入	人活用家庭教男、育女保学平護級等者等にやP関地Tす域Aの講方等の講座を対象行うとしなどたを	する学校研修を行なうとし、人権や男女平等に、対象行なうとしなどたを	女性の校長や教頭を増やす	今まで良い	その他	分からぬい	無回答
全 体		297 100.0	182 61.3	186 62.6	113 38.0	19 6.4	33 11.1	74 24.9	36 12.1	12 4.0	9 3.0	11 3.7	10 3.4
男女別	男性	137 100.0	85 62.0	90 65.7	49 35.8	11 8.0	12 8.8	39 28.5	20 14.6	5 3.6	5 3.6	3 2.2	3 2.2
	女性	156 100.0	95 60.9	96 61.5	61 39.1	8 5.1	20 12.8	33 21.2	16 10.3	6 3.8	4 2.6	7 4.5	7 4.5
年代別	20代以下	59 100.0	45 76.3	39 66.1	25 42.4	6 10.2	5 8.5	16 27.1	8 13.6	2 3.4	1 1.7	1 1.7	0 0.0
	30~50代	149 100.0	84 56.4	91 61.1	55 36.9	12 8.1	16 10.7	38 25.5	22 14.8	2 1.3	4 2.7	4 2.7	6 4.0
	60代以上	86 100.0	52 60.5	56 65.1	31 36.0	1 1.2	11 12.8	18 20.9	6 7.0	8 9.3	4 4.7	5 5.8	4 4.7

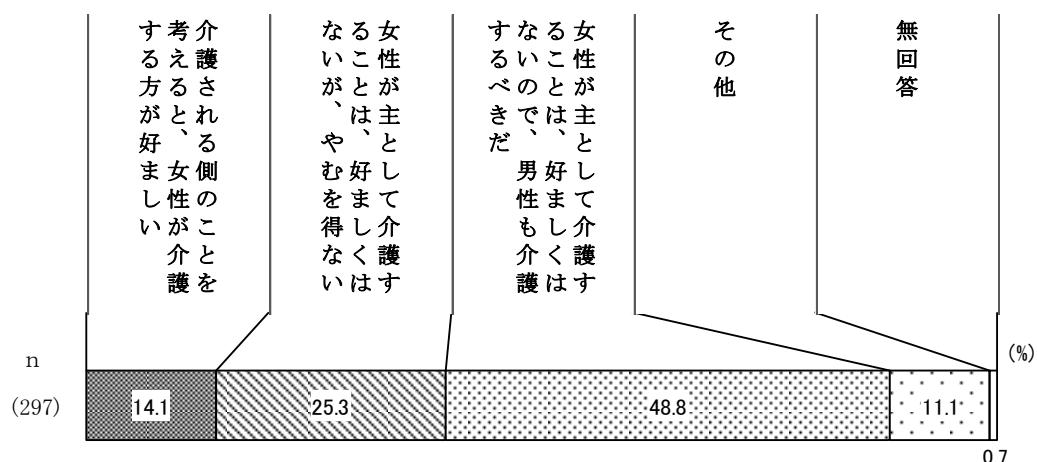
上段：件数、下段：%

6. 介護について

(1) 介護を主として女性が担うことについて

問9 家庭における高齢者等の介護を主として女性が担うことについてどう思いますか。

次の1~4の中からあなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで○をしてください。



介護を主として女性が担うことについては、「女性が主として介護することは、好ましくはないので、男性も介護するべきだ」が48.8%と最も多く、以下、「女性が主として介護することは、好ましくはないが、やむを得ない」(25.3%)、「介護される側のことを考えると、女性が介護する方が好ましい」(14.1%)となっています。

男女別でみると、男女ともに「女性が主として介護することは、好ましくはないので、男性も介護するべきだ」が最も多くなっています。

年代別でみると、『30~50代』では「女性が主として介護することは、好ましくはないので、男性も介護するべきだ」が53.0%、『60代以上』では「介護される側のことを考えると、女性が介護する方が好ましい」が22.1%と、それぞれ他の年代に比べ多くなっています。

【介護を主として女性が担うことについて/男女別/年代別】

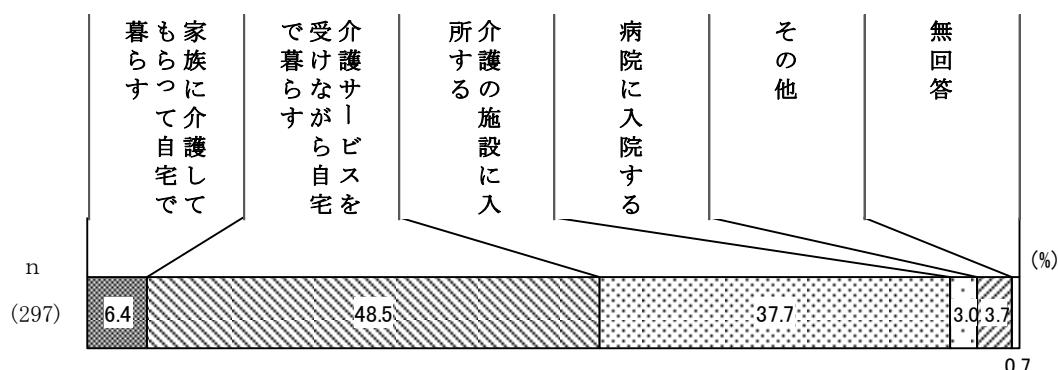
		調査数	好る介 まと護 し、さ い女れ 性る が側 介の 護こ すと るを 方考 がえ	やと女 むは性 を、が 得好主 なまと いしし くて護 は介 な護 いす がる 、こ	でと女 、は性 、が男 、が 性好主 もまと 介しし くて護 すは介 るな護 べいす きのる だこ	その 他	無 回 答
全 体		297	42	75	145	33	2
男女別	男性	137 100.0	25 18.2	38 27.7	63 46.0	10 7.3	1 0.7
	女性	156 100.0	17 10.9	36 23.1	79 50.6	23 14.7	1 0.6
年代別	20代以下	59 100.0	8 13.6	12 20.3	31 52.5	8 13.6	0 0.0
	30~50代	149 100.0	15 10.1	39 26.2	79 53.0	15 10.1	1 0.7
	60代以上	86 100.0	19 22.1	24 27.9	32 37.2	10 11.6	1 1.2

上段：件数、下段：%

(2) 援助や介護が必要になったら

問10 あなたが、もし、援助や介護が必要になったら、どうしたいと思いますか。

次の1~5の中から1つだけ選んで○をしてください。



援助や介護が必要になったら、どうしたいと思うかについては、「介護サービスを受けながら自宅で暮らす」が48.5%と最も多く、以下、「介護の施設に入所する」(37.7%)、「家族に介護してもらって自宅で暮らす」(6.4%)となっています。

男女別でみると、男女ともに「介護サービスを受けながら自宅で暮らす」が最も多くなっています。

年代別でみると、『30~50代』では「介護の施設に入所する」が43.0%、『60代以上』では「家族に介護してもらって自宅で暮らす」が12.8%と、他の年代に比べ多くなっています。

【援助や介護が必要になったら/男女別/年代別】

		調査数	て家族自宅にで介護暮らすすてもうつ	が介ら護自サ宅でビスらをす受けな	介護の施設に入所する	病院に入院する	その他	無回答
全 体		297	19	144	112	9	11	2
男女別	男性	137	11	61	50	7	6	2
	女性	156	6	82	61	2	5	0
年代別	20代以下	59	4	31	19	1	4	0
	30~50代	149	3	70	64	7	5	0
	60代以上	86	11	42	28	1	2	2

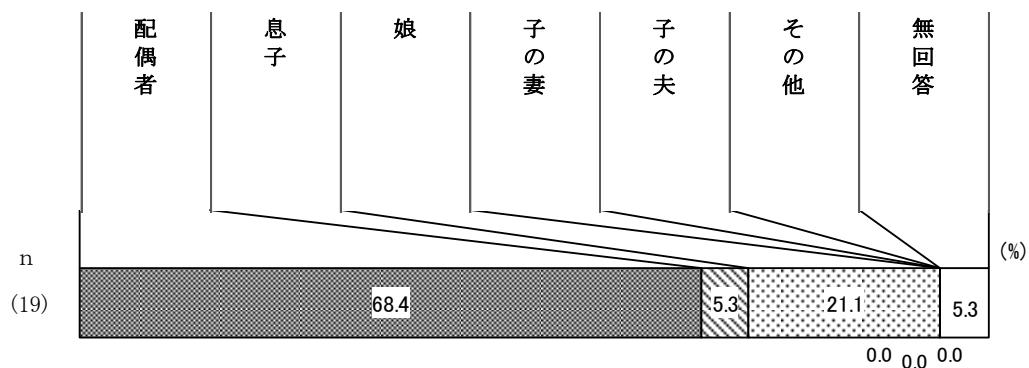
上段: 件数、下段: %

(3) 誰に介護してもらいたいか

*問10で1「家族に介護してもらって自宅で暮らす」と答えた方にお聞きします。

問11 あなたは、家族、親族のどなたに介護してもらいたいですか。

次の1~6の中から1つだけ選んで○をしてください。

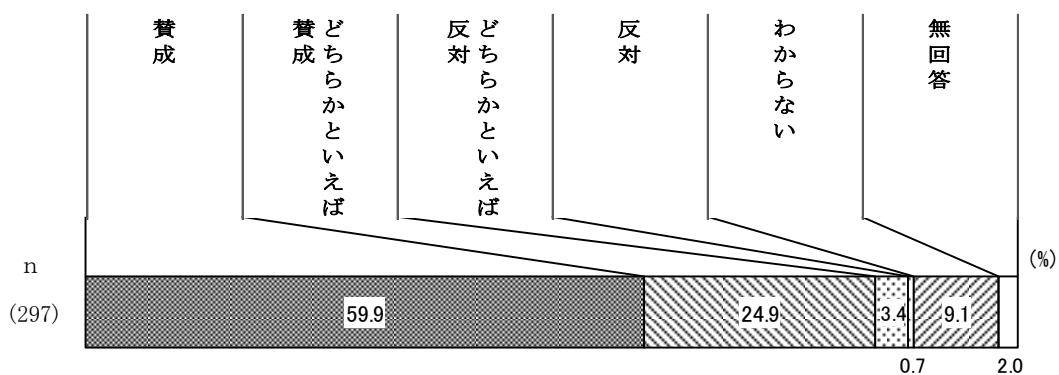


家族、親族のどなたに介護してもらいたいかについては、「配偶者」が 68.4%と最も多く、以下、「娘」(21.1%)、「息子」(5.3%) となっています。

(4) 男性の介護休業取得

問12 男性が介護休業を取得することについて、どう思いますか。

次の1~5の中から1つだけ選んで○をしてください。



男性が介護休業を取得することについては、「賛成」が59.9%と最も多く、以下、「どちらかといえば賛成」(24.9%)、「どちらかといえば反対」(3.4%)となっています。

男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別にみると、『20代以下』では「どちらかといえば反対」又は「反対」と回答した人はいません。

【男性の介護休業取得/男女別/年代別】

		調査数	賛成	賛成 どちらか とい えば	反対 どちらか とい えば	反対	わから ない	無回答
全 体		297	178	74	10	2	27	6
男女別	男性	137	82	36	4	0	12	3
	女性	156	95	37	6	1	14	3
年代別	20代以下	59	47	8	0	0	2	2
	30~50代	149	96	35	5	0	11	2
	60代以上	86	34	30	5	1	14	2

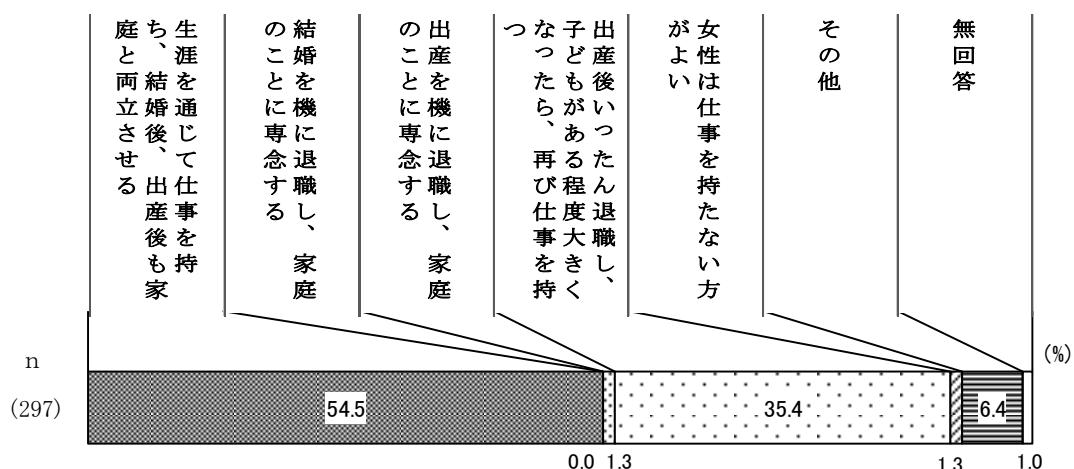
上段：件数、下段：%

7. 就労について

(1) 望ましい女性の就労

問13 女性の就労について、どれが望ましいと思いますか。

次の1~6の中からあなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで○をしてください。



望ましい女性の就労については、「生涯を通じて仕事を持ち、結婚後、出産後も家庭と両立させる」が54.5%と最も多く、以下、「出産後いったん退職し、子どももある程度大きくなったら、再び仕事を持つ」(35.4%)、「出産を機に退職し、家庭のことに専念する」「女性は仕事を持たない方がよい」(ともに1.3%)となっています。

男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別にみると、『60代以上』では「出産後いったん退職し、子どももある程度大きくなったら、再び仕事を持つ」が43.0%と、他の年代に比べ多くなっています。

【望ましい女性の就労/男女別/年代別】

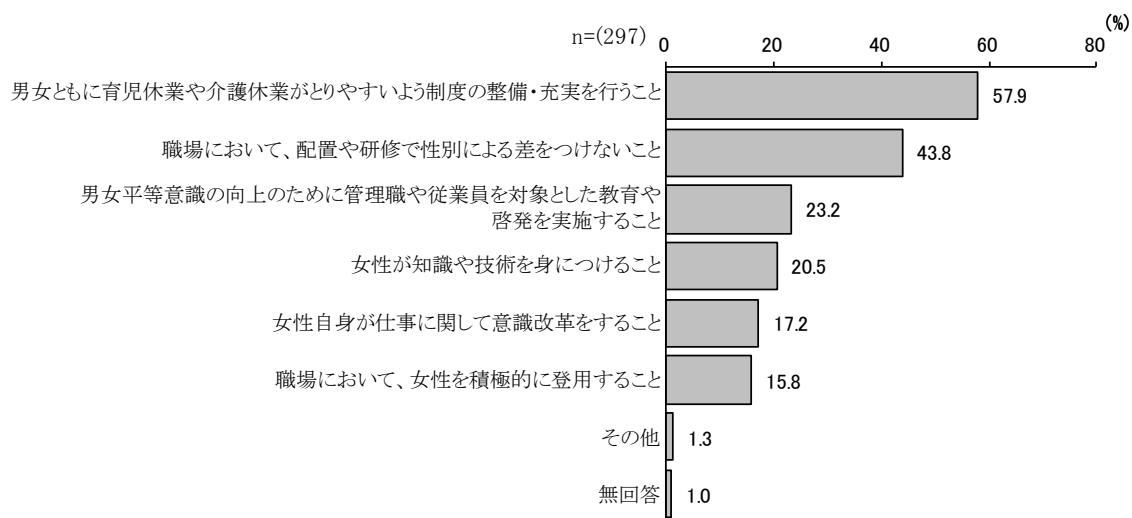
		調査数	立結生涯をせ後をる、通出じ産て後仕も家庭持とち両、	こ結婚を機に専念する、退職し、家庭の	こ出産を機に専念する、退職し、家庭の	たど出つどもがいっ再び仕事持たん程度退職し、持く	よい女性は仕事を持たない方が	その他	無回答
全 体		297	162	0	4	105	4	19	3
男女別	男性	137	72	0	2	51	2	8	2
	女性	156	89	0	2	53	1	10	1
年代別	20代以下	59	35	0	0	20	0	4	0
	30~50代	149	88	0	1	47	1	12	0
	60代以上	86	39	0	3	37	2	2	3

上段：件数、下段：%

(2) 職場での女性の地位向上に必要なこと

問14 職場での女性の地位向上のためには、どのようなことが必要だと思いますか。

次の1~7の中からあなたの考えに近いものを2つ以内で○をしてください。



職場での女性の地位向上のために必要なことについては、「男女ともに育児休業や介護休業がとりやすいよう制度の整備・充実を行うこと」が57.9%と最も多く、以下、「職場において、配置や研修で性別による差をつけないこと」(43.8%)、「男女平等意識の向上のために管理職や従業員を対象とした教育や啓発を実施すること」(23.2%)となっています。

男女別にみると、『女性』では「男女ともに育児休業や介護休業がとりやすいよう制度の整備・充実を行うこと」が51.8%と、『男性』に比べ10ポイント以上多くなっています。

年代別にみると、『30~50代』では「職場において、配置や研修で性別による差をつけないこと」が30.9%と、他の年代に比べ20ポイント以上少なくなっています。

【職場での女性の地位向上に必要なこと/男女別/年代別】

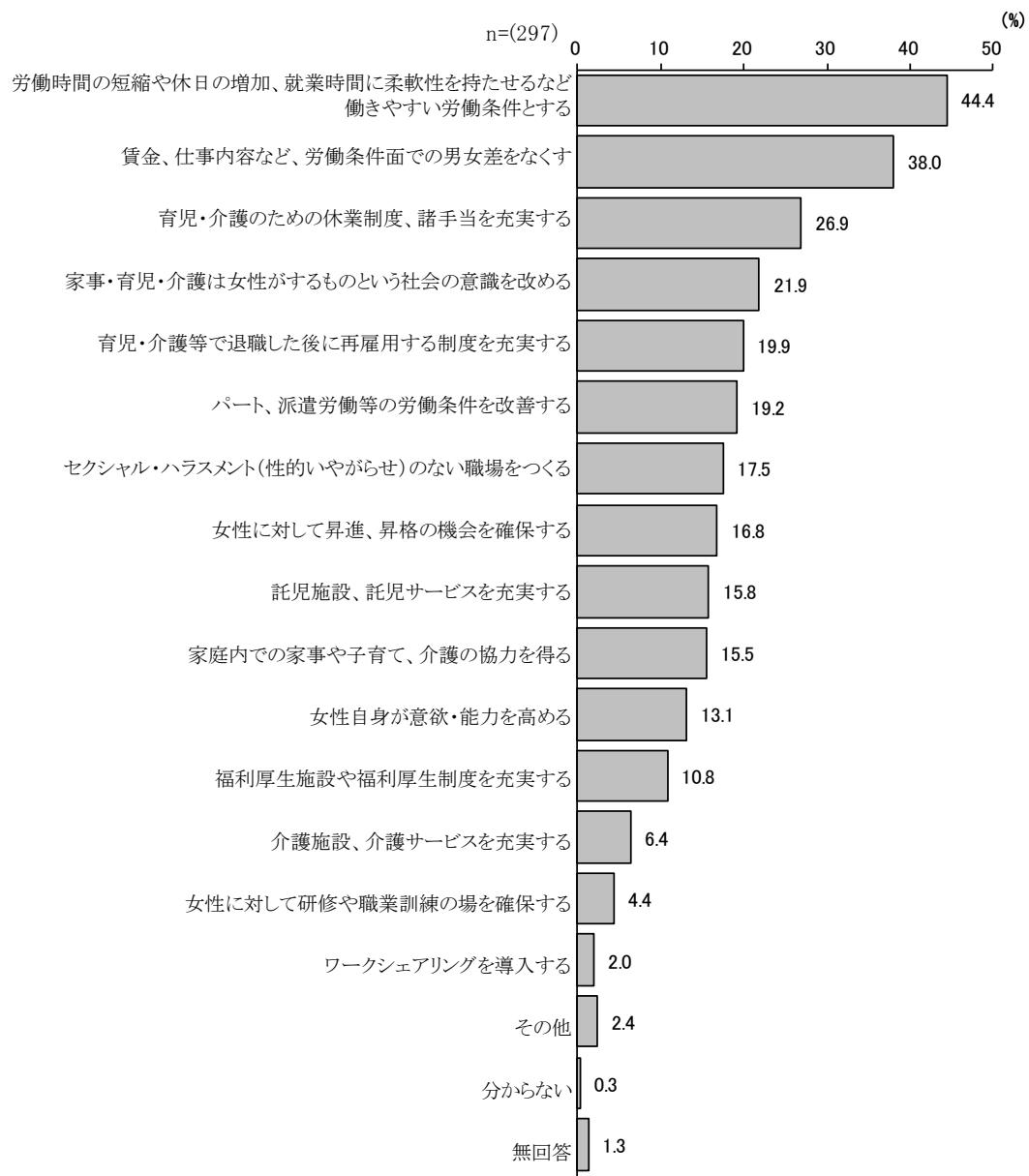
		調査数	に職登場用にすおるいこてと、女性を積極的	に職別場によるい差と、を、つ配け置なやい研修とで	る女性とが知識や技術を身につけ	改女性を自身が仕事と事に關して意識	教管女性や職務を自らが行うと、と事に關して意識	備業男・が女性と同様の待遇をもたらす対象のこととしめたに	男業男・が女性と同様の待遇をもたらす対象のこととしめたに	その他の	無回答
全 体		297	47	130	61	51	69	172	4	3	
男女別	男性	137	30	61	31	26	28	71	1	2	
	女性	156	17	68	29	24	40	100	3	0	
年代別	20代以下	59	9	36	7	5	15	37	0	1	
	30~50代	149	31	46	38	26	31	91	2	0	
	60代以上	86	7	47	16	20	22	43	2	1	

上段：件数、下段：%

(3) 女性が働きつづけるために必要なこと

問15 女性が働きつづけるために必要なことは何だと思いますか。

次の1~17の中からあなたの考えに近いものを3つ以内で○をしてください。



女性が働きつづけるために必要なことについては、「労働時間の短縮や休日の増加、就業時間に柔軟性を持たせるなど働きやすい労働条件とする」が44.4%と最も多く、以下、「賃金、仕事内容など、労働条件面での男女差をなくす」(38.0%)、「育児・介護のための休業制度、諸手当を充実する」(26.9%)となって います。

男女別にみると、『女性』では「育児・介護等で退職した後に再雇用する制度を充実する」が 26.3%と、『男性』に比べ 10 ポイント以上多くなっています。

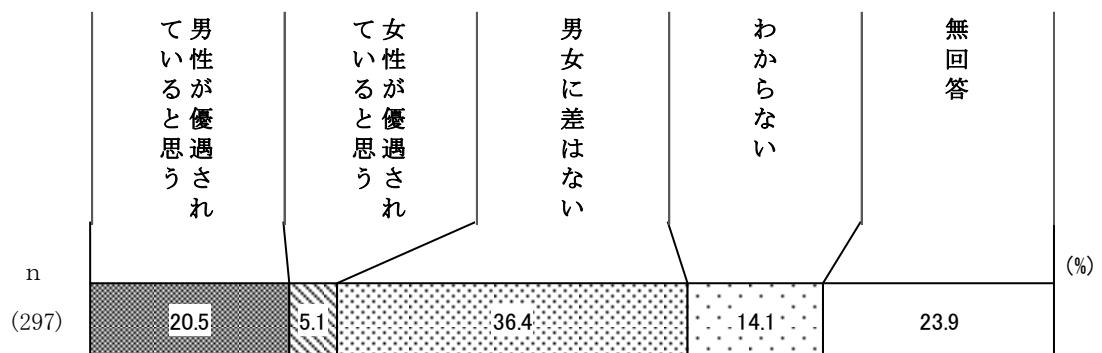
年代別にみると、『20代以下』では「セクシャル・ハラスメント（性的いやがらせ）のない職場をつくる」が27.1%と、他の年代に比べ多くなっています。

【女性が働きつつづけるために必要なこと/男女別/年代別】

上段：件数、下段：%

(4) 仕事の内容や接遇面においての男女差

問16 現在働いている方にお尋ねします。あなたの現在の職場で、仕事の内容や接遇面において、男女で差があると思いますか。
次の1~4の中から1つだけ選んで○をしてください。



仕事の内容や接遇面においての男女差については、「男女に差はない」が36.4%と最も多く、以下、「男性が優遇されていると思う」(20.5%)、「女性が優遇されていると思う」(5.1%)となっています。

男女別にみると、『女性』では「男女に差はない」が40.4%と、『男性』に比べ5ポイント以上多くなっています。

年代別にみると、『30~50代』では「男性が優遇されていると思う」が30.2%と、他の年代に比べ多くなっています。

【仕事の内容や接遇面においての男女差/男女別/年代別】

		調査数	る男 と性 思が う優 遇さ れ て い	る女 と性 思が う優 遇さ れ て い	男女 に差 は な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		297 100.0	61 20.5	15 5.1	108 36.4	42 14.1	71 23.9
男女別	男性	137 100.0	30 21.9	10 7.3	45 32.8	23 16.8	29 21.2
	女性	156 100.0	31 19.9	5 3.2	63 40.4	17 10.9	40 25.6
年代別	20代以下	59 100.0	10 16.9	3 5.1	21 35.6	11 18.6	14 23.7
	30~50代	149 100.0	45 30.2	12 8.1	65 43.6	20 13.4	7 4.7
	60代以上	86 100.0	6 7.0	0 0.0	22 25.6	10 11.6	48 55.8

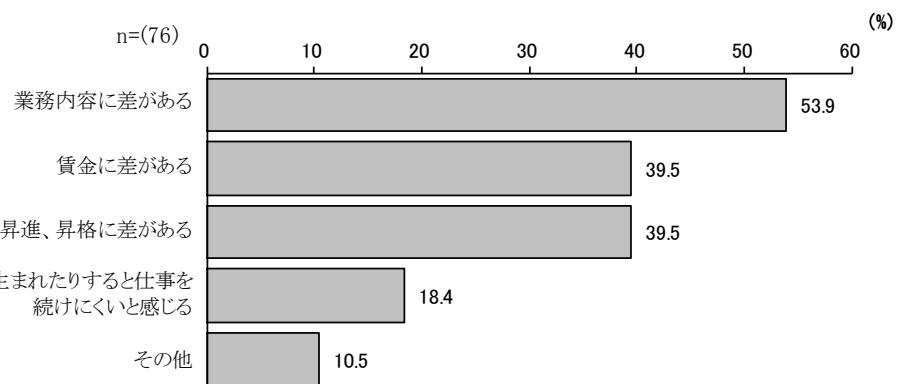
上段：件数、下段：%

(5) 具体的な事例

*問16で1または2「(男性・女性が) 優遇されていると思う」と答えた方にお聞きします

問17 それは具体的にどのようなことですか。

次の1~5の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。

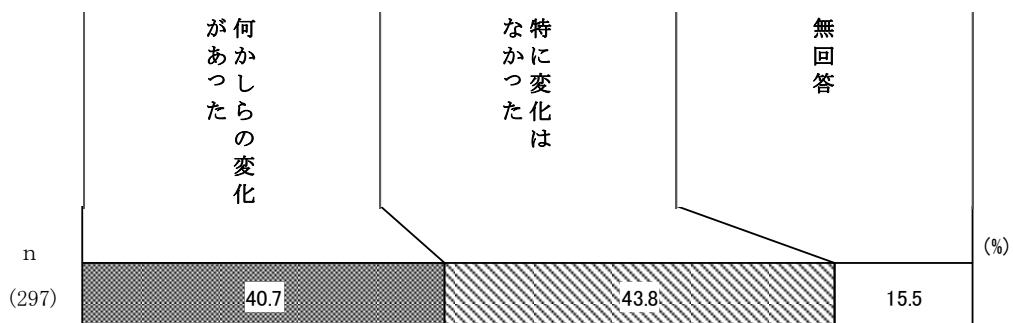


仕事の内容や接遇面においての具体的な事例については、「業務内容に差がある」が 53.9%と最も多く、以下、「賃金に差がある」「昇進、昇格に差がある」(ともに 39.5%) となっています。

(6) 新型コロナウイルス感染症の拡大による、働き方や仕事内容の変化

問18 新型コロナウイルス感染症の拡大によって、あなたの働き方や仕事内容に変化はありましたか。

次の1~2の中から1つだけ選んで○をしてください。



新型コロナウイルス感染症の拡大による、働き方や仕事内容の変化については、「特に変化はなかった」が43.8%、「何かしらの変化があった」が40.7%となっています。

男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別にみると、『30~50代』では「何かしらの変化があった」が51.0%と、他の年代に比べ多くなっています。

【新型コロナウイルス感染症の拡大による、働き方や仕事内容の変化/男女別/年代別】

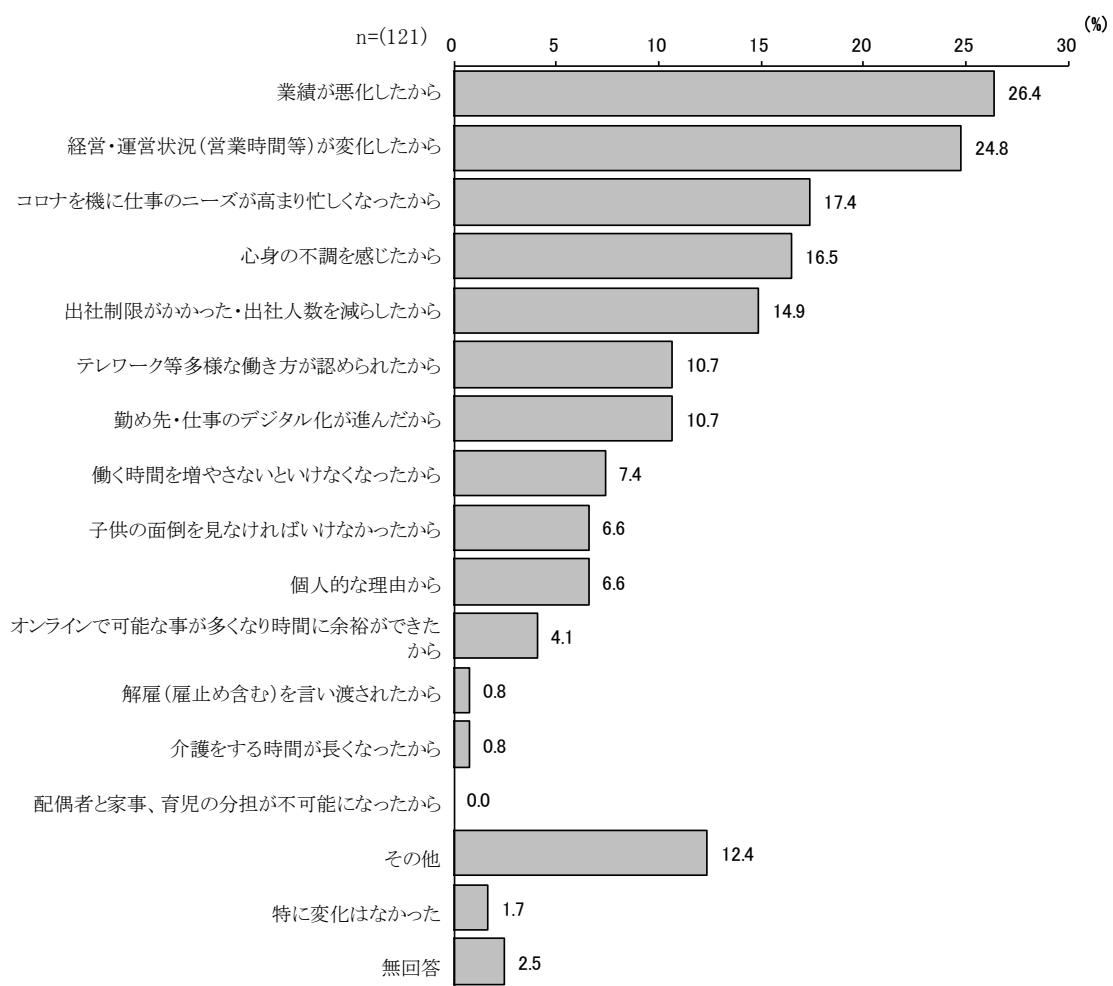
		調査数	あ何かしらの変化が	特に変化はなかった	無回答
全 体		297 100.0	121 40.7	130 43.8	46 15.5
男女別	男性	137 100.0	56 40.9	61 44.5	20 14.6
	女性	156 100.0	65 41.7	67 42.9	24 15.4
年代別	20代以下	59 100.0	23 39.0	27 45.8	9 15.3
	30~50代	149 100.0	76 51.0	72 48.3	1 0.7
	60代以上	86 100.0	22 25.6	30 34.9	34 39.5

上段：件数、下段：%

(7) 働き方や仕事内容に変化があった理由

*問18で1「何かしらの変化があった」と答えられた方にお聞きします。

問19 働き方や仕事内容に変化があった理由として、次の1~16の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。



働き方や仕事内容に変化があった理由については、「業績が悪化したから」が26.4%と最も多く、以下、「経営・運営状況（営業時間等）が変化したから」(24.8%)、「コロナを機に仕事のニーズが高まり忙しくなったから」(17.4%)となっています。

男女別にみると、『男性』では「テレワーク等多様な働き方が認められたから」「勤め先・仕事のデジタル化が進んだから」がともに『女性』に比べ10ポイント以上多くなっており、『女性』では「心身の不調を感じたから」が『男性』に比べ10ポイント以上多くなっています。

年代別にみると、『20代以下』では「コロナを機に仕事のニーズが高まり忙しくなったから」が26.1%、『30~50代』では「業績が悪化したから」が30.3%、『60代以上』では「心身の不調を感じたから」が31.8%と、それぞれ他の年代に比べ多くなっています。

【働き方や仕事内容に変化があった理由/男女別/年代別】

		調査数	業績が悪化したから	た業経時間・等運営が状況変化へ営	を解雇されめたがむら	した出稼いへ雇渡し止められた含むら	した・社から出制限社限	らば供の面倒を見たなか	られ子供の面倒を見たなか	く介護を始めたがむら	なの分担者が不家事能育児	なの分担者が不家事能育児	か配偶者とが不調を感じた	か心身の不調を感じた	かい働かれていたが・が不調を感じた	か働き方ワークが・が不調を感じた	か働き方ワークが・が不調を感じた	タ勤め化先進・のため	余事オガ・が・のため	くニコロナが・が・のため	個人的な理由から	その他の	特に変化はなかつた	無回答
全 体		121	32	30	1	18	8	1	0	20	9	13	13	5	21	8	15	2	3					
男女別	男性	56	19	16	0	9	3	1	0	6	3	10	10	5	8	4	4	0	2					
	女性	100.0	33.9	28.6	0.0	16.1	5.4	1.8	0.0	10.7	5.4	17.9	17.9	8.9	14.3	7.1	7.1	0.0	3.6					
年代別	20代以下	23	5	3	0	4	2	0	0	0	2	2	1	1	6	2	3	1	0					
	30~50代	100.0	21.7	13.0	0.0	17.4	8.7	0.0	0.0	0.0	8.7	8.7	4.3	4.3	26.1	8.7	13.0	4.3	0.0					
	60代以上	22	4	5	0	4	0	1	0	7	0	0	2	0	2	4	3	1	2					

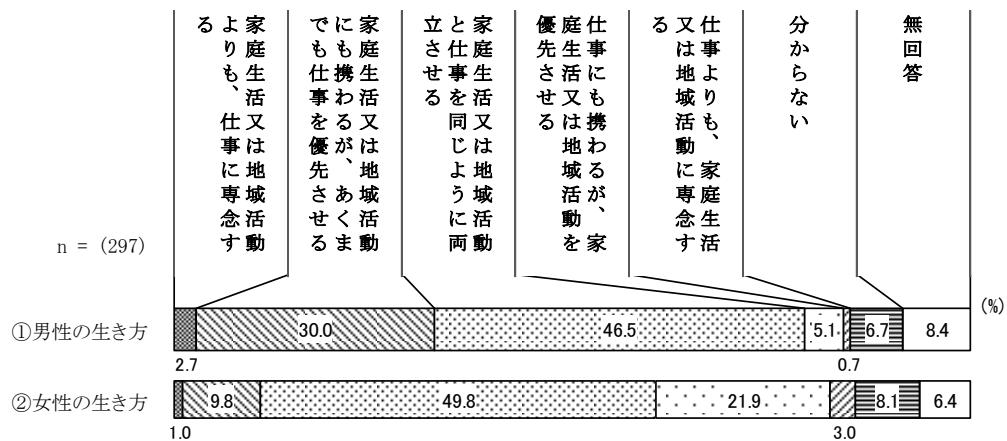
上段：件数、下段：%

8. ワーク・ライフ・バランスについて

(1) 男女の望ましい生き方

問20 女性及び男性の望ましいと思う生き方はどのような生き方だと思いますか。

それぞれの項目ごと、1~6の中から1つずつ選んで○をしてください。



女性及び男性の望ましいと思う生き方については、「家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる」が、①男性の生き方、②女性の生き方ともに最も多くなっていますが、2番目に多いものは、①男性の生き方では、「家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまでも仕事を優先させる」(30.0%)で、②女性の生き方では、「仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる」(21.9%)となってています。

《問20 ①男性の生き方》

【①男性の生き方/男女別/年代別】

〈①男性の生き方〉について男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別にみると、『60代以上』では「家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまでも仕事を優先させる」が36.0%と最も多くなっており、他の年代に比べ5ポイント以上多くなっています。

		調査数	るよ家 り庭 も生 、活 仕又 事は に地 専域 念活 す動	でに家 もも庭 仕携生 事わ活 る又 優がは に地先 、地 域さあ 域 せく活 す動	立と家 さ仕庭 せ事生 るを活 じは よ地 う域 に活 ま動	優庭 先生事 さ活に せ又も じは よ地 う域 に活 ま動	仕 事 に も は 域 る が 動 、 を 家	る又仕 は事 地よ 域り 活も 動、 に家 庭 が 動 、 を 家	分 か ら な い	無 回 答
全 体		297 100.0	8 2.7	89 30.0	138 46.5	15 5.1	2 0.7	20 6.7	25 8.4	
男女別	男性	137 100.0	4 2.9	41 29.9	66 48.2	9 6.6	1 0.7	7 5.1	9 6.6	
	女性	156 100.0	4 2.6	47 30.1	71 45.5	6 3.8	1 0.6	11 7.1	16 10.3	
年代別	20代以下	59 100.0	1 1.7	13 22.0	39 66.1	3 5.1	0 0.0	1 1.7	2 3.4	
	30～50代	149 100.0	7 4.7	44 29.5	68 45.6	9 6.0	2 1.3	12 8.1	7 4.7	
	60代以上	86 100.0	0 0.0	31 36.0	30 34.9	3 3.5	0 0.0	6 7.0	16 18.6	

上段：件数、下段：%

《問20 ②女性の生き方》

【②女性の生き方/男女別/年代別】

〈②女性の生き方〉について男女別にみると、『男性』では「仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる」が24.8%と、『女性』に比べ多くなっています。

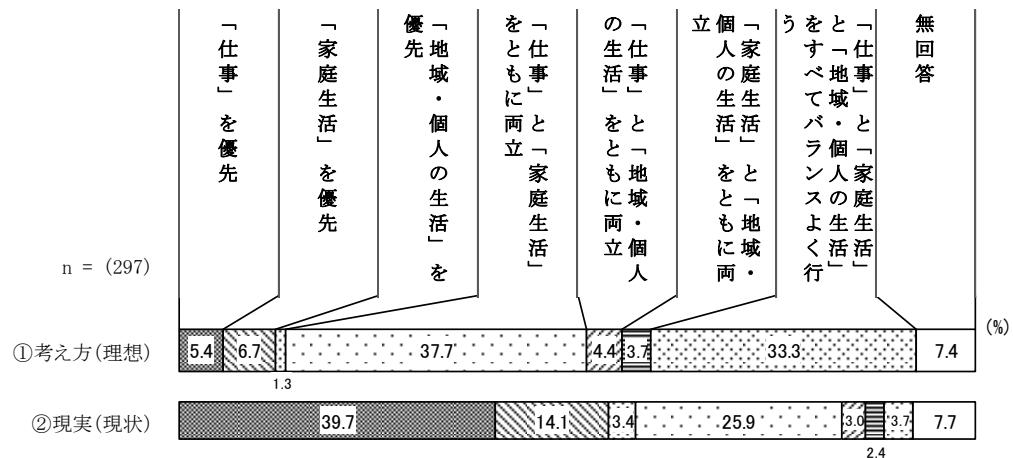
年代別にみると、『30～50代』では「仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる」が他の年代に比べ5ポイント以上多くなっています。

		調査数	るよ家 り庭 も生 、活 仕又 事は に地 専域 念活 す動	でに家 もも庭 仕携生 事わ活 る又 優がは に地先 、地 域さあ 域 せく活 す動	立と家 さ仕庭 せ事生 るを活 じは よ地 う域 に活 ま動	優庭 先生事 さ活に せ又も じは よ地 う域 に活 ま動	仕 事 に も は 域 る が 動 、 を 家	る又仕 は事 地よ 域り 活も 動、 に家 庭 が 動 、 を 家	分 か ら な い	無 回 答
全 体		297 100.0	3 1.0	29 9.8	148 49.8	65 21.9	9 3.0	24 8.1	19 6.4	
男女別	男性	137 100.0	2 1.5	11 8.0	67 48.9	34 24.8	5 3.6	7 5.1	11 8.0	
	女性	156 100.0	1 0.6	17 10.9	80 51.3	31 19.9	4 2.6	15 9.6	8 5.1	
年代別	20代以下	59 100.0	0 0.0	5 8.5	39 66.1	11 18.6	1 1.7	1 1.7	2 3.4	
	30～50代	149 100.0	3 2.0	14 9.4	67 45.0	40 26.8	5 3.4	15 10.1	5 3.4	
	60代以上	86 100.0	0 0.0	9 10.5	41 47.7	14 16.3	3 3.5	7 8.1	12 14.0	

上段：件数、下段：%

(2) 仕事と生活について

問21 仕事と生活について、あなた自身の考え方（理想）と現実（現状）に最も近いものはどれですか。
それぞれの項目ごと、1~7の中から1つずつ選んで○をしてください。



仕事と生活について、最も近い考え方については、〈①考え方（理想）〉では、「「仕事」と「家庭生活」をともに両立」が、37.7%と最も多く、以下、「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をすべてバランスよく行う」(33.3%)、「「家庭生活」を優先」(6.7%) となっています。

〈②現実（現状）〉では、「「仕事」を優先」が39.7%と最も多く、以下「「仕事」と「家庭生活」をともに両立」が25.9%、「「家庭生活」を優先」が14.1%となっています。

《問21 ①考え方（理想）》

【①考え方（理想）/男女別/年代別】

〈①考え方（理想）〉について男女別にみると、『女性』では、「「仕事」と「家庭生活」をともに両立」が41.0%と、『男性』に比べ5ポイント以上多くなっています。

年代別にみると、『30～50代』では「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をすべてバランスよく行う」が38.9%と最も多くなっており、他の年代に比べ5ポイント以上多くなっています。

		調査数	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	優先地域・個人の生活」を	ともに事立と「家庭生活」を	生「仕事」を「ともに地域立・個人の	人「家庭生活」を「ともに地域立・個人の	べ「地域事ラ・「ラン個とス人「よく生家庭行生活」活を「すと	無回答
全 体		297 100.0	16 5.4	20 6.7	4 1.3	112 37.7	13 4.4	11 3.7	99 33.3	22 7.4
男女別	男性	137 100.0	10 7.3	10 7.3	1 0.7	47 34.3	5 3.6	7 5.1	46 33.6	11 8.0
	女性	156 100.0	5 3.2	9 5.8	3 1.9	64 41.0	8 5.1	3 1.9	53 34.0	11 7.1
年代別	20代以下	59 100.0	3 5.1	4 6.8	1 1.7	30 50.8	0 0.0	0 0.0	19 32.2	2 3.4
	30～50代	149 100.0	9 6.0	15 10.1	3 2.0	49 32.9	5 3.4	5 3.4	58 38.9	5 3.4
	60代以上	86 100.0	4 4.7	0 0.0	0 0.0	32 37.2	8 9.3	5 5.8	22 25.6	15 17.4

上段：件数、下段：%

《問21 ②現実（現状）》

【②現実（現状）/男女別/年代別】

〈②現実（現状）〉について男女別にみると、『男性』では「「仕事」を優先」が、『女性』に比べ10ポイント以上多く、『女性』では「「家庭生活」を優先」が、『男性』に比べ10ポイント以上多くなっています。

年代別にみると、『30～50代』では「「仕事」を優先」が46.3%と、他の年代に比べ5ポイント以上多くなっています。

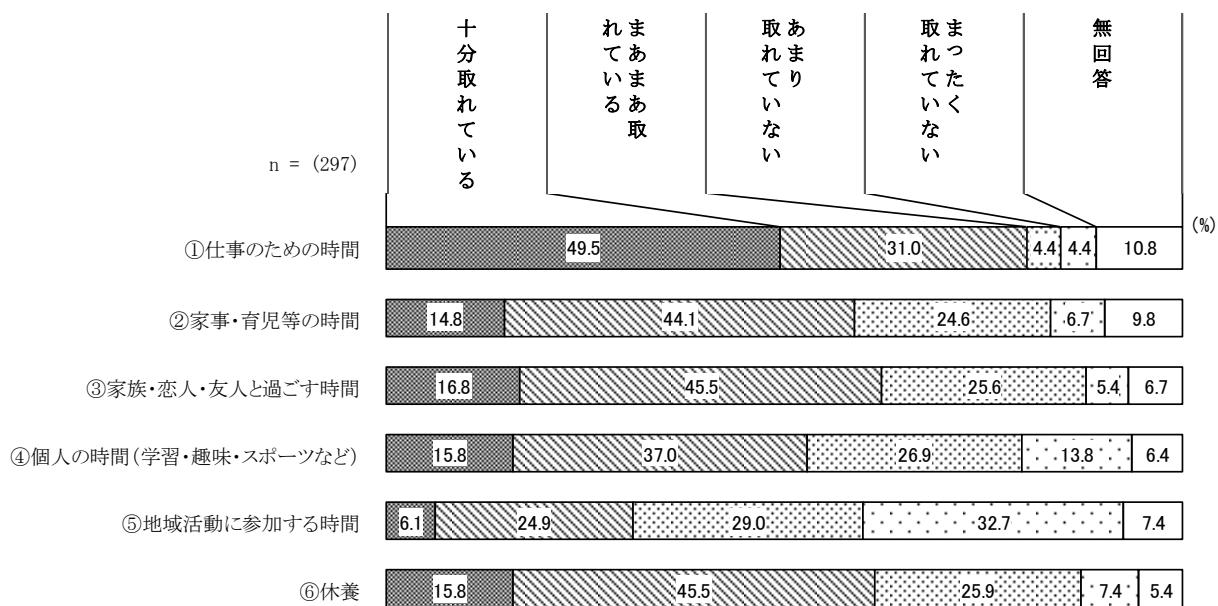
		調査数	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	優先地域・個人の生活」を	ともに事立と「家庭生活」を	生「仕事」を「ともに地域立・個人の	人「家庭生活」を「ともに地域立・個人の	べ「地域事ラ・「ラン個とス人「よく生家庭行生活」活を「すと	無回答
全 体		297 100.0	118 39.7	42 14.1	10 3.4	77 25.9	9 3.0	7 2.4	11 3.7	23 7.7
男女別	男性	137 100.0	67 48.9	10 7.3	5 3.6	31 22.6	5 3.6	4 2.9	4 2.9	11 8.0
	女性	156 100.0	50 32.1	31 19.9	5 3.2	45 28.8	4 2.6	3 1.9	6 3.8	12 7.7
年代別	20代以下	59 100.0	24 40.7	8 13.6	3 5.1	13 22.0	3 5.1	0 0.0	2 3.4	6 10.2
	30～50代	149 100.0	69 46.3	20 13.4	4 2.7	40 26.8	4 2.7	2 1.3	5 3.4	5 3.4
	60代以上	86 100.0	24 27.9	13 15.1	3 3.5	24 27.9	2 2.3	5 5.8	3 3.5	12 14.0

上段：件数、下段：%
55

(3) 日常生活の中で満足する時間がとれているか

問22 あなたは、日常生活の中で次の項目について満足する時間が取れていますか。

それぞれの項目ごと、1~4の中から1つずつ選んで○をしてください。



日常生活の中で満足する時間が取れているかについて、「十分取れている」又は「まあまあ取れている」と回答した割合は、〈①仕事のための時間〉が80.5%と最も多く、以下、〈③家族・恋人・友人と過ごす時間〉(62.3%)、〈⑥休養〉(61.3%)となっており、6割を超えてます。一方、「あまり取れていない」又は「まったく取れていない」と回答した割合は、〈⑤地域活動に参加する時間〉が61.7%と最も多く、以下、〈④個人の時間(学習・趣味・スポーツなど)〉(40.7%)、〈⑥休養〉が33.3%となっています。

《問22 ①仕事のための時間》

【①仕事のための時間/男女別/年代別】

〈①仕事のための時間〉が取れているかについて男女別にみると、『男性』では「十分取れている」が59.1%と、『女性』に比べ、5ポイント以上多くなっています。

年齢別にみると、50代以下では「十分取れている」又は「まあまあ取れている」が8割を超えています。

		調査数	十分取れている	まあまあ取れている	あまり取れていない	取まれつていたくない	無回答
全 体		297 100.0	147 49.5	92 31.0	13 4.4	13 4.4	32 10.8
男女別	男性	137 100.0	81 59.1	40 29.2	3 2.2	5 3.6	8 5.8
	女性	156 100.0	66 42.3	51 32.7	10 6.4	7 4.5	22 14.1
年代別	20代以下	59 100.0	33 55.9	16 27.1	0 0.0	5 8.5	5 8.5
	30~50代	149 100.0	89 59.7	45 30.2	8 5.4	4 2.7	3 2.0
	60代以上	86 100.0	25 29.1	30 34.9	5 5.8	4 4.7	22 25.6

上段：件数、下段：%

《問22 ②家事・育児等の時間》

【②家事・育児等の時間/男女別/年代別】

〈②家事・育児等の時間〉が取れているかについて男女別にみると、『男性』では「あまり取れていない」が33.6%と、『女性』に比べ10ポイント以上多くなっています。

年齢別にみると、『30~50代』では「あまり取れていない」が32.9%と、他の年代に比べ、10ポイント以上多くなっています。

		調査数	十分取れている	まあまあ取れている	あまり取れていない	取まれつていたくない	無回答
全 体		297 100.0	44 14.8	131 44.1	73 24.6	20 6.7	29 9.8
男女別	男性	137 100.0	17 12.4	54 39.4	46 33.6	12 8.8	8 5.8
	女性	156 100.0	27 17.3	76 48.7	27 17.3	8 5.1	18 11.5
年代別	20代以下	59 100.0	8 13.6	25 42.4	12 20.3	9 15.3	5 8.5
	30~50代	149 100.0	22 14.8	66 44.3	49 32.9	8 5.4	4 2.7
	60代以上	86 100.0	14 16.3	39 45.3	12 14.0	3 3.5	18 20.9

上段：件数、下段：%

《問 22 ③家族・恋人・友人と過ごす時間》

【③家族・恋人・友人と過ごす時間/男女別/年代別】

〈③家族・恋人・友人と過ごす時間〉が取れているかについて男女別にみると、『男性』では「あまり取れていない」が 29.9%と、『女性』に比べ 5 ポイント以上多くなっています。

年齢別にみると、『30~50 代』では「あまり取れていない」又は「まったく取れていない」が 38.2%と、他の年代に比べ 10 ポイント以上多くなっています。

		調査数	十分取れている	まあまあ取れている	あまり取れていない	取まれつたいくない	無回答
全 体		297 100.0	50 16.8	135 45.5	76 25.6	16 5.4	20 6.7
男女別	男性	137 100.0	20 14.6	61 44.5	41 29.9	7 5.1	8 5.8
	女性	156 100.0	30 19.2	73 46.8	35 22.4	9 5.8	9 5.8
年代別	20代以下	59 100.0	14 23.7	31 52.5	7 11.9	5 8.5	2 3.4
	30~50代	149 100.0	22 14.8	69 46.3	48 32.2	9 6.0	1 0.7
	60代以上	86 100.0	14 16.3	34 39.5	21 24.4	2 2.3	15 17.4

上段：件数、下段：%

《問 22 ④個人の時間（学習・趣味・スポーツなど）》

【④個人の時間（学習・趣味・スポーツなど）/男女別/年代別】

〈④個人の時間（学習・趣味・スポーツなど）〉が取れているかについて男女別にみると、『男性』では「十分取れている」が 19.7%と、『女性』に比べ 5 ポイント以上多くなっています。

年齢別にみると、『30~50 代』では「あまり取れていない」又は「まったく取れていない」が 51.6%と、他の年代に比べ 10 ポイント以上多くなっています。

		調査数	十分取れている	まあまあ取れている	あまり取れていない	取まれつたいくない	無回答
全 体		297 100.0	47 15.8	110 37.0	80 26.9	41 13.8	19 6.4
男女別	男性	137 100.0	27 19.7	48 35.0	38 27.7	16 11.7	8 5.8
	女性	156 100.0	19 12.2	60 38.5	42 26.9	25 16.0	10 6.4
年代別	20代以下	59 100.0	13 22.0	25 42.4	14 23.7	5 8.5	2 3.4
	30~50代	149 100.0	19 12.8	52 34.9	51 34.2	26 17.4	1 0.7
	60代以上	86 100.0	14 16.3	31 36.0	15 17.4	10 11.6	16 18.6

上段：件数、下段：%

《問22 ⑤地域活動に参加する時間》

【⑤地域活動に参加する時間/男女別/年代別】

〈⑤地域活動に参加する時間〉が取れているかについて男女別にみると、『女性』では「まったく取れていない」が37.8%と、最も多くなっています。

年齢別にみると、『60代以上』では「十分取れている」又は「まあまあ取れている」が45.3%と、他の年代に比べ10ポイント以上多くなっています。

		調査数	十分取れている	まあまあ取れている	あまり取れていない	取まれつたいくない	無回答
全 体		297 100.0	18 6.1	74 24.9	86 29.0	97 32.7	22 7.4
男女別	男性	137 100.0	10 7.3	33 24.1	48 35.0	37 27.0	9 6.6
	女性	156 100.0	8 5.1	40 25.6	38 24.4	59 37.8	11 7.1
年代別	20代以下	59 100.0	3 5.1	10 16.9	19 32.2	25 42.4	2 3.4
	30～50代	149 100.0	7 4.7	32 21.5	50 33.6	56 37.6	4 2.7
	60代以上	86 100.0	8 9.3	31 36.0	17 19.8	16 18.6	14 16.3

上段：件数、下段：%

《問22 ⑥休養》

【⑥休養/男女別/年代別】

〈⑥休養〉について男女別による、特徴的な差はみられません。

年齢別にみると、『30～50代』では「あまり取れていない」又は「まったく取れていない」が41.7%と、他の年代に比べ10ポイント以上多くなっています。

		調査数	十分取れている	まあまあ取れている	あまり取れていない	取まれつたいくない	無回答
全 体		297 100.0	47 15.8	135 45.5	77 25.9	22 7.4	16 5.4
男女別	男性	137 100.0	24 17.5	58 42.3	40 29.2	7 5.1	8 5.8
	女性	156 100.0	23 14.7	74 47.4	37 23.7	14 9.0	8 5.1
年代別	20代以下	59 100.0	13 22.0	27 45.8	12 20.3	5 8.5	2 3.4
	30～50代	149 100.0	17 11.4	69 46.3	50 33.6	12 8.1	1 0.7
	60代以上	86 100.0	17 19.8	36 41.9	15 17.4	5 5.8	13 15.1

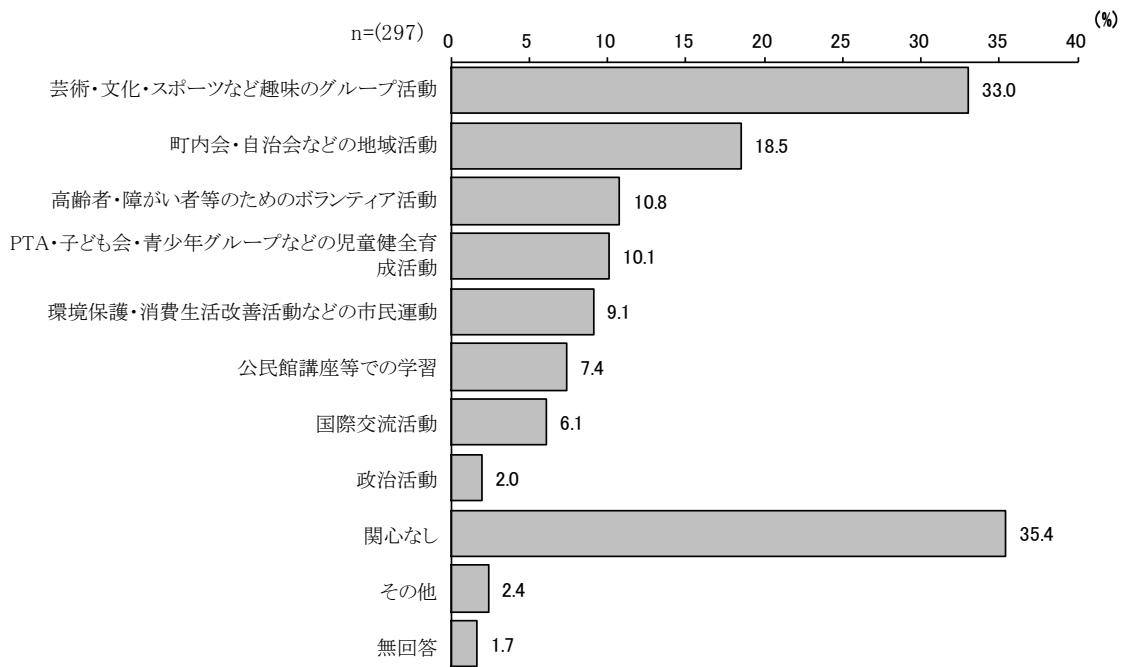
上段：件数、下段：%

9. 社会参加について

(1) 現在、関心のある活動

問23 あなたが現在、関心のある活動は何ですか。

次の1~10の中から2つ以内で選んで○をしてください。



現在、関心のある活動については、「芸術・文化・スポーツなど趣味のグループ活動」が33.0%と最も多く、以下、「町内会・自治会などの地域活動」(18.5%)、「高齢者・障がい者等のためのボランティア活動」(10.8%) となっています。なお、「関心なし」は35.4%と、3割を超えていました。

男女別にみると、『女性』では「高齢者・障がい者等のためのボランティア活動」が『男性』よりも多くなっています。

年代別にみると、『60代以上』では、「町内会・自治会などの地域活動」が30.2%と、最も多くなっています。

【現在、関心のある活動/男女別/年代別】

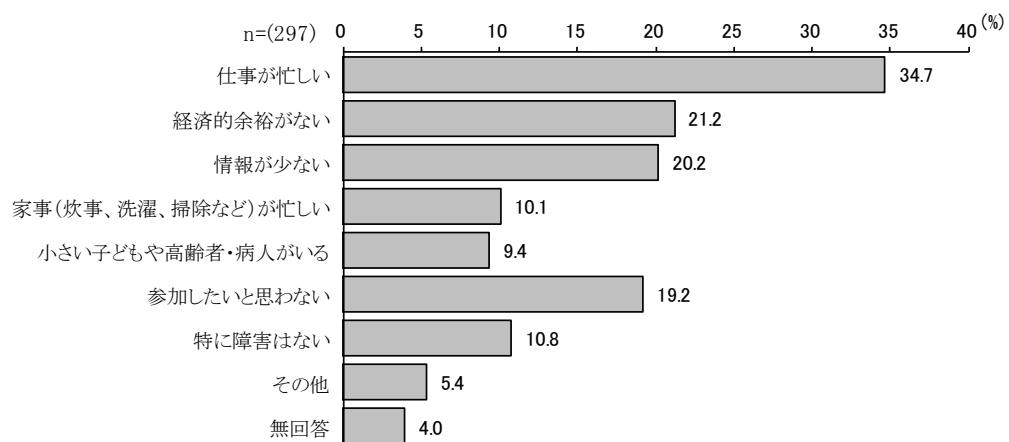
		調査数	域町内活動会・自治会などの地	健少P全年T育G会など	め高A年G成ル・成会など	のP者G・障がい者等	ど芸術文化・の文	活動保護・市消	公民館講座等での学習	政治活動	国際交流活動	関心なし	その他	無回答
全 体		297	55	30	32	98	27	22	6	18	105	7	5	
男女別	男性	137	37	16	12	46	14	5	5	8	46	2	4	
	女性	156	17	14	19	51	12	17	1	10	58	4	1	
年代別	20代以下	59	11	8	3	24	6	2	0	2	25	0	0	
	30~50代	149	17	22	12	48	13	9	4	14	57	1	0	
	60代以上	86	26	0	16	25	7	11	2	2	23	5	5	

上段：件数 下段：%

(2) 活動に参加しようとするときの障害

問24 あなたが、問23の活動に参加しようとするとき、障害となるものがありますか。

次の1~8の中から2つ以内で選んで○をしてください。



活動に参加しようとするときの障害については、「仕事が忙しい」が34.7%と最も多く、以下、「経済的余裕がない」(21.2%)、「情報が少ない」(20.2%)となっています。

男女別にみると、『女性』では「情報が少ない」が21.8%と、『男性』に比べ多くなっています。

年代別にみると、『60代以上』では「情報が少ない」が25.6%と、最も多くなっています。

【活動に参加しようとするときの障害/男女別/年代別】

		調査数	仕事が忙しい	掃除事など炊事が忙い、洗濯い、	者小・さ病い人子がどいもるや高齢	経済的余裕がない	情報が少ない	特に障害はない	思参わなしたいと	その他	無回答
全 体		297	103	30	28	63	60	32	57	16	12
男女別	男性	100.0	34.7	10.1	9.4	21.2	20.2	10.8	19.2	5.4	4.0
	女性	100.0	25.6	13.5	12.2	18.6	21.8	12.2	23.7	4.5	2.6
年代別	20代以下	100.0	35.6	6.8	3.4	23.7	23.7	8.5	25.4	6.8	3.4
	30~50代	100.0	47.0	13.4	12.1	22.1	15.4	9.4	16.8	3.4	2.0
	60代以上	100.0	14.0	7.0	9.3	16.3	25.6	15.1	19.8	7.0	8.1

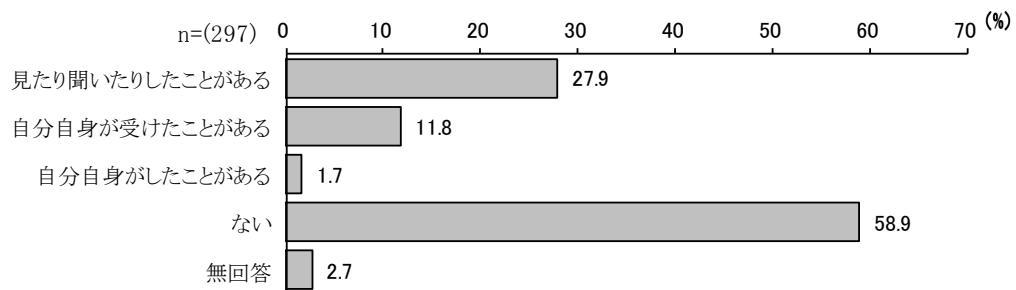
上段：件数、下段：%

10. セクシャル・ハラスメント、DVについて

(1) 身近なところのセクシャル・ハラスメント

問25 あなたの身近なところ（職場・地域・学校）にセクシャル・ハラスメントがありますか。

次の1~4の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。



身近なところ（職場・地域・学校）のセクシャル・ハラスメントについては、「見たり聞いたりしたことがある」が27.9%と最も多く、以下、「自分自身が受けたことがある」(11.8%)、「自分自身がしたことがある」(1.7%)となっています。なお、「ない」は58.9%と、過半数を占めています。

男女別にみると、『女性』では「自分自身が受けたことがある」が17.3%と、『男性』に比べ10ポイント以上多くなっています。

年代別にみると、『30~50代』では「見たり聞いたりしたことがある」が、他の年代に比べ多くなっています。

【身近なところのセクシャル・ハラスメント/男女別/年代別】

		調査数	と自分が分ある自身が受けたこと	が自分がある自身がしたこと	こ見たりがりあるいがたりした	ない	無回答
全 体		297 100.0	35 11.8	5 1.7	83 27.9	175 58.9	8 2.7
男女別	男性	137 100.0	8 5.8	4 2.9	44 32.1	77 56.2	5 3.6
	女性	156 100.0	27 17.3	1 0.6	39 25.0	94 60.3	3 1.9
年代別	20代以下	59 100.0	9 15.3	0 0.0	13 22.0	39 66.1	0 0.0
	30~50代	149 100.0	19 12.8	2 1.3	47 31.5	85 57.0	0 0.0
	60代以上	86 100.0	7 8.1	3 3.5	23 26.7	48 55.8	8 9.3

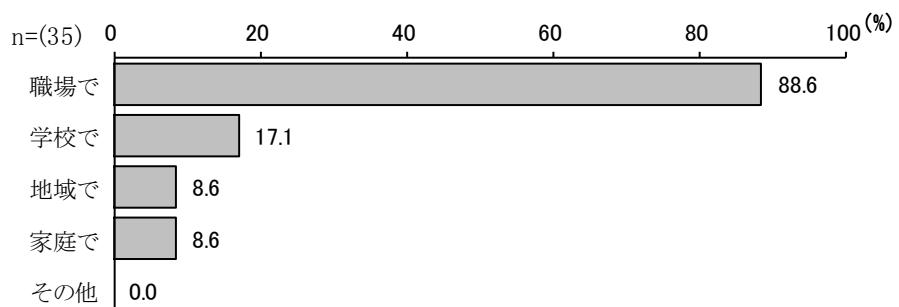
上段：件数、下段：%

(2) セクシャル・ハラスメントを受けた場

*問25で1「自分自身が受けたことがある」と答えられた方にお聞きします。

問26 そのハラスメントは、どこで受けたものでしょうか。

次の1~5の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。



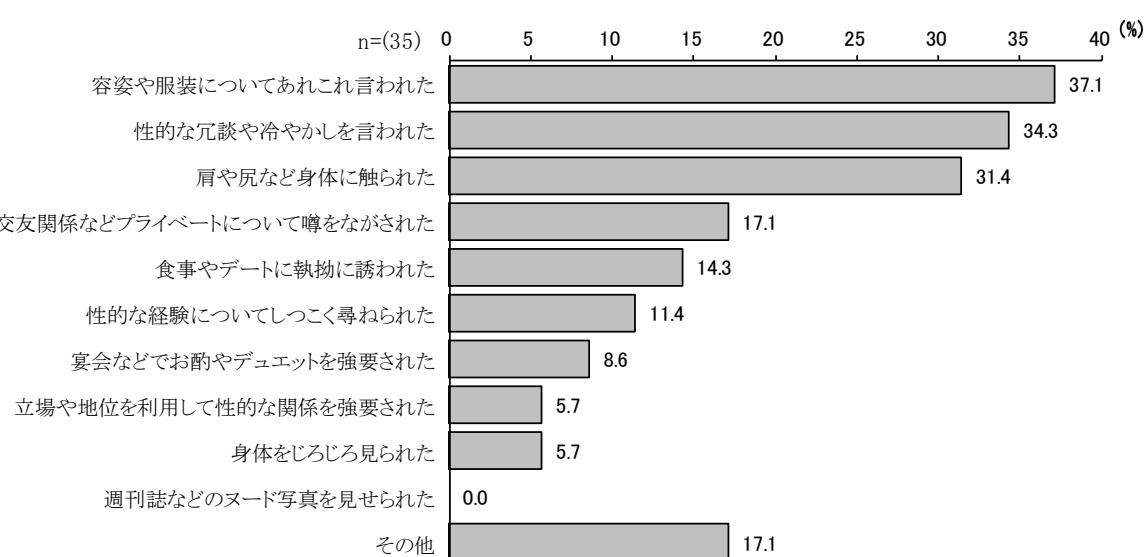
セクシャル・ハラスメントを受けた場については、「職場で」が 88.6%と最も多く、以下、「学校で」(17.1%)、「地域で」「家庭で」(ともに 8.6%) となっています。

(3) セクシャル・ハラスメントの内容

*問25で1「自分自身が受けたことがある」と答えられた方にお聞きします。

問27 その内容はどんなものだったのでしょうか。

次の1~11の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。

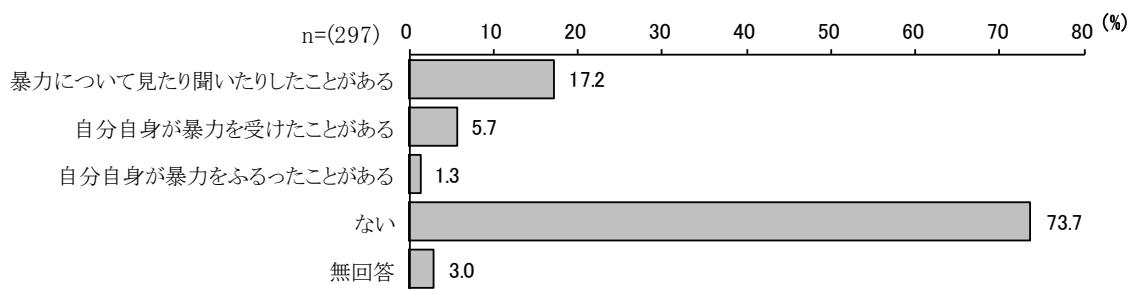


受けたことがあるセクシャル・ハラスメントの内容については、「容姿や服装についてあれこれ言われた」が 37.1%と最も多く、以下、「性的な冗談や冷やかしを言われた」(34.3%)、「肩や尻など身体に触られた」(31.4%) となっています。

(4) 身近なところのDV

問28 DVが社会問題になっていますが、あなたの身近にこのような暴力がありますか。

次の1~4の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。



身近なところのDVについては、「暴力について見たり聞いたことがある」が17.2%と最も多く、以下、「自分自身が暴力を受けたことがある」(5.7%)、「自分自身が暴力をふるったことがある」(1.3%)となっています。なお、「ない」は73.7%と、7割を超えています。

男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別にみると、『30~50代』では「暴力について見たり聞いたことがある」が21.5%と、他の年代に比べ多くなっています。

【身近なところのDV/男女別/年代別】

		調査数	け自分	る自分	あ聞暴力	ない	無回答
全 体		297	17	4	51	219	9
男女別	男性	100.0	5.7	1.3	17.2	73.7	3.0
	女性	100.0	2.9	1.5	19.0	74.5	2.9
年代別	20代以下	100.0	5.1	0.0	11.9	83.1	0.0
	30~50代	100.0	8.7	1.3	21.5	69.1	0.7
	60代以上	100.0	1.2	2.3	14.0	76.7	7.0

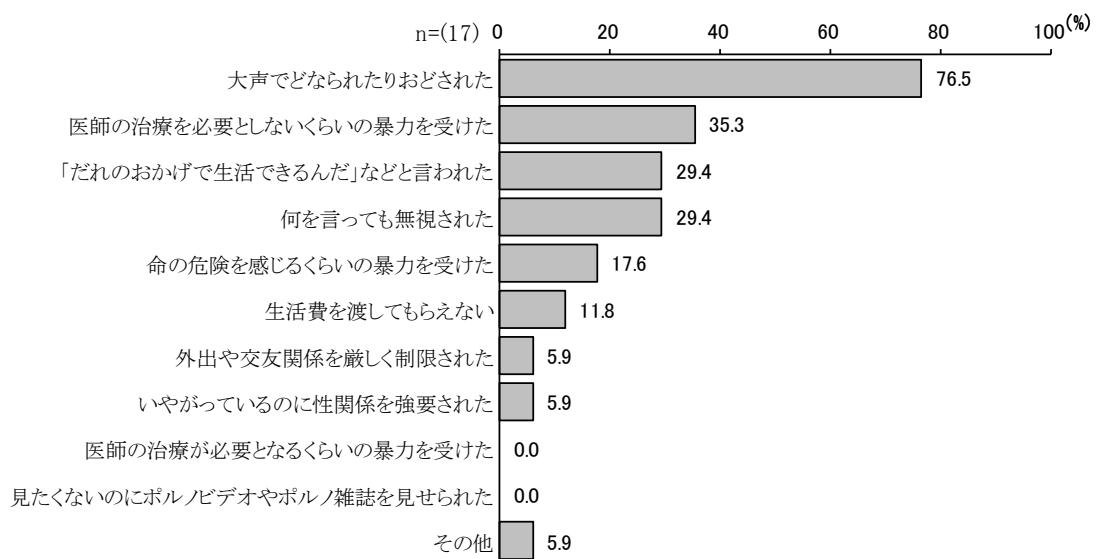
上段：件数、下段：%

(5) DVの内容

*問28で1「自分自身が暴力を受けたことがある」と答えられた方にお聞きします。

問29 その内容はどんなものだったのでしょうか。

次の1~11の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。



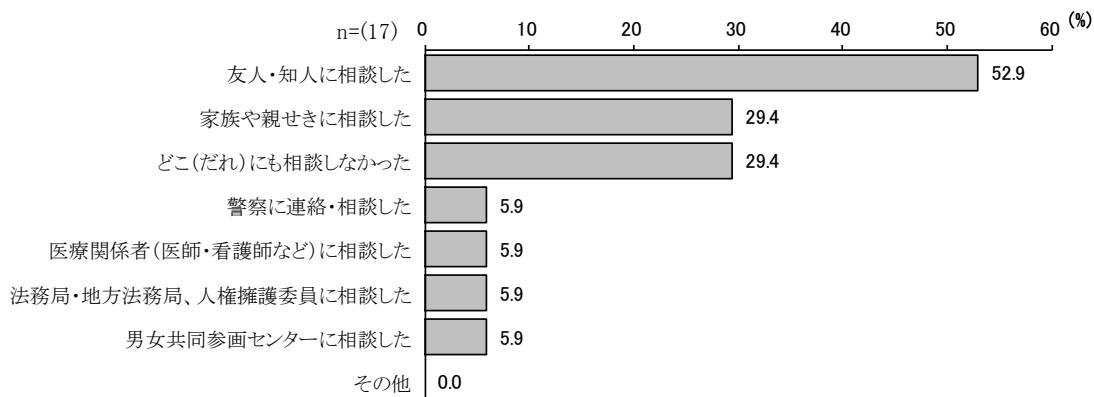
DVの内容については、「大声でどなられたりおどされた」が76.5%と最も多く、以下、「医師の治療を必要としないくらいの暴力を受けた」(35.3%)、「だれのおかげで生活できるんだ」などと言われた」「何を言っても無視された」(ともに29.4%)となっています。

(6) DVを受けたことについての相談先

*問28で1「自分自身が暴力を受けたことがある」と答えられた方にお聞きします。

問30 暴力を受けたことについて、誰かに相談しましたか。相談先はどこでしたか。

次の1~8の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。



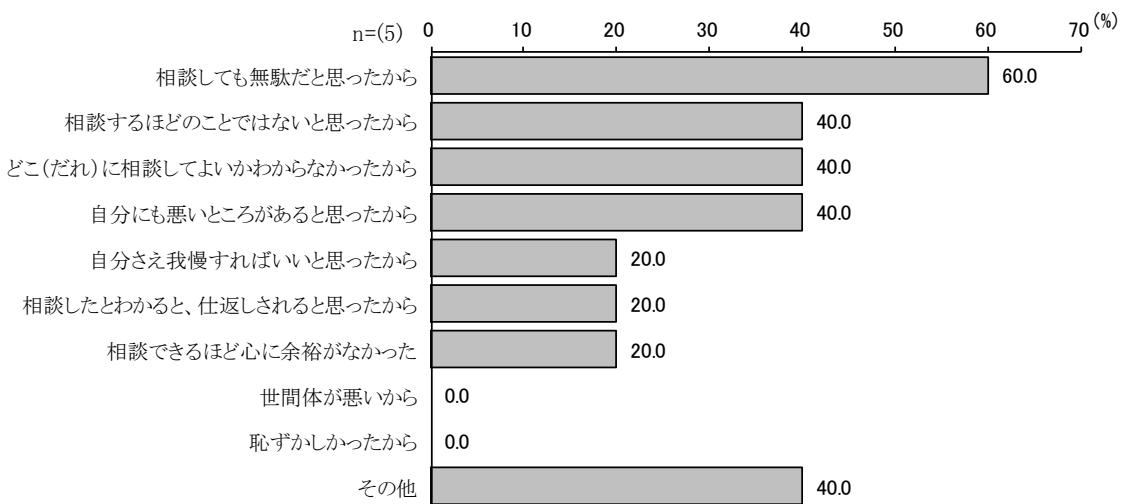
DVを受けたことについての相談先については、「友人・知人に相談した」が52.9%と最も多く、以下、「家族や親せきに相談した」「どこ(だれ)にも相談しなかった」(ともに29.4%)となっています。

(7) 相談しなかった、出来なかった理由

*問30で7「どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えられた方にお聞きします。

問31 どこ(だれ)にも相談しなかった、出来なかった理由は何ですか。

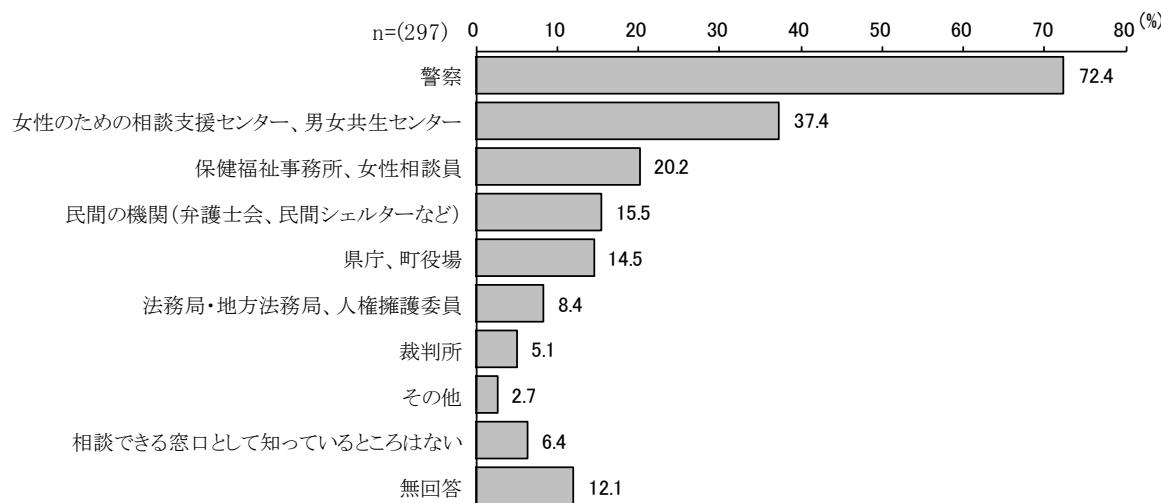
次の1~10の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。



相談しなかった、出来なかった理由については、「相談しても無駄だと思ったから」が60.0%と最も多く、以下、「相談するほどのことではないと思ったから」「どこ(だれ)に相談してよいかわからなかつたから」「自分にも悪いところがあると思ったから」(ともに40.0%)となっています。

(8) DVについて相談できる窓口の認知度

問32 あなたは、配偶者等からの暴力について相談できる窓口として、どのようなもの知っていますか。
次の1~9の中からあなたが知っているものすべて選んで○をしてください。



DVについて相談できる窓口の認知度については、「警察」が72.4%と最も多く、以下、「女性のための相談支援センター、男女共生センター」(37.4%)、「保健福祉事務所、女性相談員」(20.2%)となっています。

男女別にみると、『女性』では「女性のための相談支援センター、男女共生センター」が46.8%と、『男性』に比べ10ポイント以上多くなっています。

年代別にみると、「警察」については、年代が上がるにつれ少なくなっています。

【DVについて相談できる窓口の認知度/男女別/年代別】

		調査数	警察	生援女セセ性ンのタタた	性保相健談福員事務所	な会民ど(民の間機シ関エ(ル弁タ護士)	県庁、町役場	局法務人局権・擁地護方委法員務	裁判所	その他	はて相な知談いつできいるる窓とことろし	無回答
全 体		297	215	111	60	46	43	25	15	8	19	36
男女別	男性	100.0	72.4	37.4	20.2	15.5	14.5	8.4	5.1	2.7	6.4	12.1
	女性	100.0	75.6	46.8	22.4	16.7	14.1	5.8	6.4	2.6	3.8	12.2
年代別	20代以下	100.0	84.7	42.4	18.6	18.6	10.2	10.2	10.2	5.1	3.4	6.8
	30~50代	100.0	73.2	40.3	19.5	16.8	15.4	6.0	4.7	3.4	5.4	8.1
	60代以上	100.0	64.0	30.2	23.3	11.6	16.3	11.6	2.3	0.0	10.5	20.9

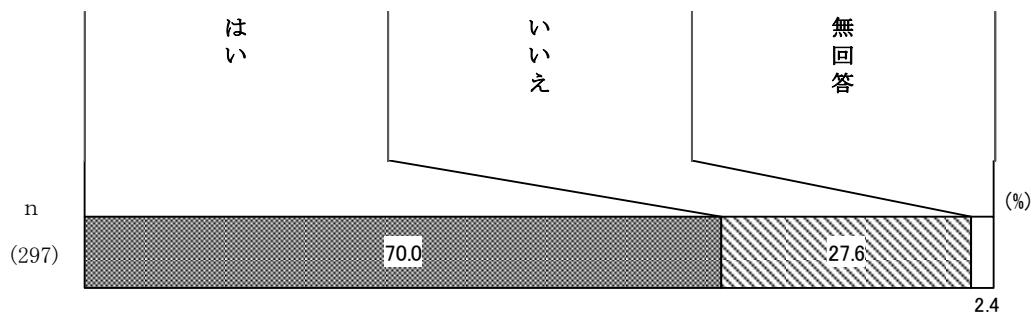
上段：件数、下段：%

11. 性的マイノリティについて

(1) 性的マイノリティ（または LGBT 等）という言葉の認知度

問33 あなたは、性的マイノリティ（または LGBT 等）という言葉を知っていますか。

次の1~2の中から1つだけ選んで○をしてください。



性的マイノリティ（または LGBT 等）という言葉を知っているかについては、「はい」が 70.0%、「いいえ」が 27.6% となっています。

男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別にみると、「はい」が、年代が上がるにつれ少なくなっています。

【性的マイノリティ（または LGBT 等）という言葉の認知度/男女別/年代別】

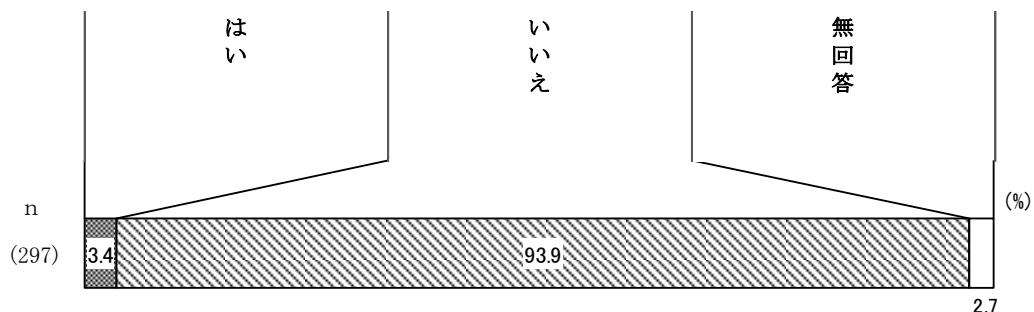
		調査数	はい	いいえ	無回答
全 体		297 100.0	208 70.0	82 27.6	7 2.4
男女別	男性	137 100.0	97 70.8	37 27.0	3 2.2
	女性	156 100.0	110 70.5	43 27.6	3 1.9
年代別	20代以下	59 100.0	46 78.0	13 22.0	0 0.0
	30~50代	149 100.0	111 74.5	38 25.5	0 0.0
	60代以上	86 100.0	50 58.1	29 33.7	7 8.1

上段：件数、下段：%

(2) 自分の体の性、心の性または性的指向に悩んだことがあるか

問34 あなたは、今までに自分の体の性、心の性または性的指向に悩んだことがありますか。

次の1~2の中から1つだけ選んで○をしてください。



自分の体の性、心の性または性的指向に悩んだことがあるかについては、「はい」が3.4%、「いいえ」が93.9%となっています。

男女別、年代別による特徴的な差はみられません。

【自分の体の性、心の性または性的指向に悩んだことがあるか/男女別/年代別】

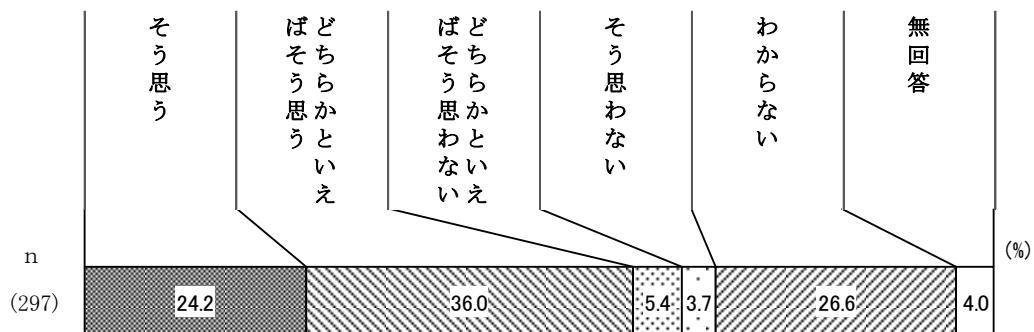
		調査数	はい	いいえ	無回答
全 体		297 100.0	10 3.4	279 93.9	8 2.7
男女別	男性	137 100.0	3 2.2	131 95.6	3 2.2
	女性	156 100.0	6 3.8	146 93.6	4 2.6
年代別	20代以下	59 100.0	6 10.2	53 89.8	0 0.0
	30~50代	149 100.0	3 2.0	145 97.3	1 0.7
	60代以上	86 100.0	0 0.0	79 91.9	7 8.1

上段：件数、下段：%

(3) 性的マイノリティ（またはLGBT等）にとって生活しづらい社会か

問35 現在、性的マイノリティ（またはLGBT等）の方々にとって、偏見や差別などにより、生活しづらい社会だと思いますか。

次の1~5の中から1つだけ選んで○をしてください。



性的マイノリティ（またはLGBT等）にとって生活しづらい社会かについては、「どちらかといえばそう思う」が36.0%と最も多く、以下、「そう思う」(24.2%)、「どちらかといえばそう思わない」(5.4%)となっています。なお、「わからない」は26.6%となっています。

男女別にみると、『女性』では「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」が64.1%と、『男性』に比べ5ポイント以上多くなっています。

年代別にみると、『60代以上』では「わからない」が36.0%と、他の年代に比べ10ポイント以上多くなっています。

【性的マイノリティ（またはLGBT等）にとって生活しづらい社会か/男女別/年代別】

		調査数	そう思う	うど思ちらかといえばそ	うど思ちらかといえばそ	そう思わない	わからぬ	無回答
全 体		297	72	107	16	11	79	12
男女別	男性	137	39	38	6	7	42	5
	女性	156	32	68	10	4	36	6
年代別	20代以下	59	18	19	5	2	14	1
	30~50代	149	37	66	6	6	33	1
	60代以上	86	16	21	5	3	31	10

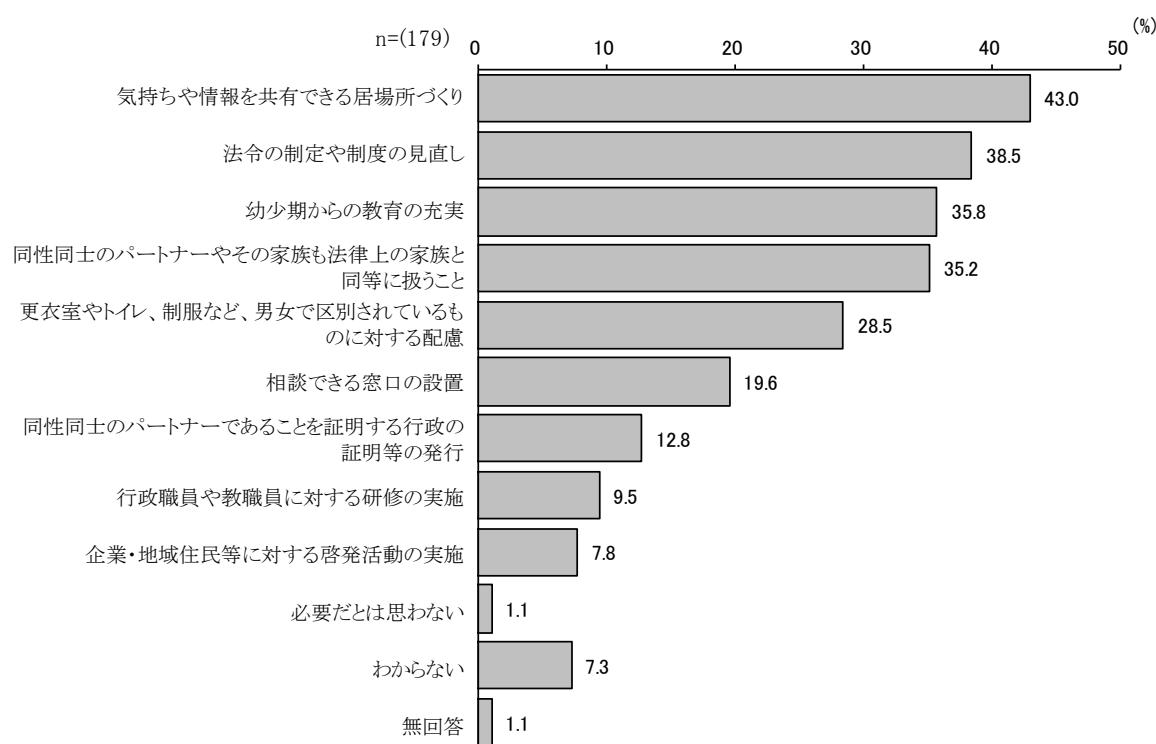
上段：件数、下段：%

(4) 性的マイノリティ（またはLGBT等）が生活しやすくなるための対策

*問35で1「そう思う」または2「どちらかといえばそう思う」と答えられた方にお聞きします

問36 性的マイノリティ（またはLGBT等）の方々に対する偏見や差別をなくし、性的マイノリティの方々が生活しやすくなるためにどのような対策が必要だと思いますか。

次の1~11の中から3つ以内で選んで○をしてください。



性的マイノリティ（またはLGBT等）が生活しやすくなるための対策については、「気持ちや情報を共有できる居場所づくり」が43.0%と最も多く、以下、「法令の制定や制度の見直し」(38.5%)、「幼少期からの教育の充実」(35.8%)となっています。

男女別にみると、『女性』では「法令の制定や制度の見直し」が43.0%と、最も多くなっています。

年代別にみると、『30～50代』では「気持ちや情報を共有できる居場所づくり」「法令の制定や制度の見直し」「幼少期からの教育の充実」がともに38.8%と、最も多くなっています。

【性的マイノリティ（またはLGBT等）が生活しやすくなるための対策/男女別/年代別】

		調査数	る気居持場所やづ情報りを共有でき	し法令の制定や制度の見直	幼少期から	とそ同の性等家庭に族士扱ものう法バ	相談できる窓口の設置	るど更も、衣の男室に女や等と士の区イ	のあ証明の男室等と士の別レ配され制	る行研修職員の実施	る企啓業修・活動の住実民施等に	必要だとと思わない	わからぬ	無回答
全 体		179	77	69	64	63	35	51	23	17	14	2	13	2
男女別	男性	77	35	25	23	21	19	13	12	6	9	2	8	1
	女性	100	42	43	40	41	15	38	11	11	4	0	5	1
年代別	20代以下	37	19	15	11	15	8	11	10	3	2	1	1	0
	30～50代	103	40	40	40	36	18	30	10	9	8	0	9	1
	60代以上	37	18	13	12	11	8	10	3	5	3	1	3	1

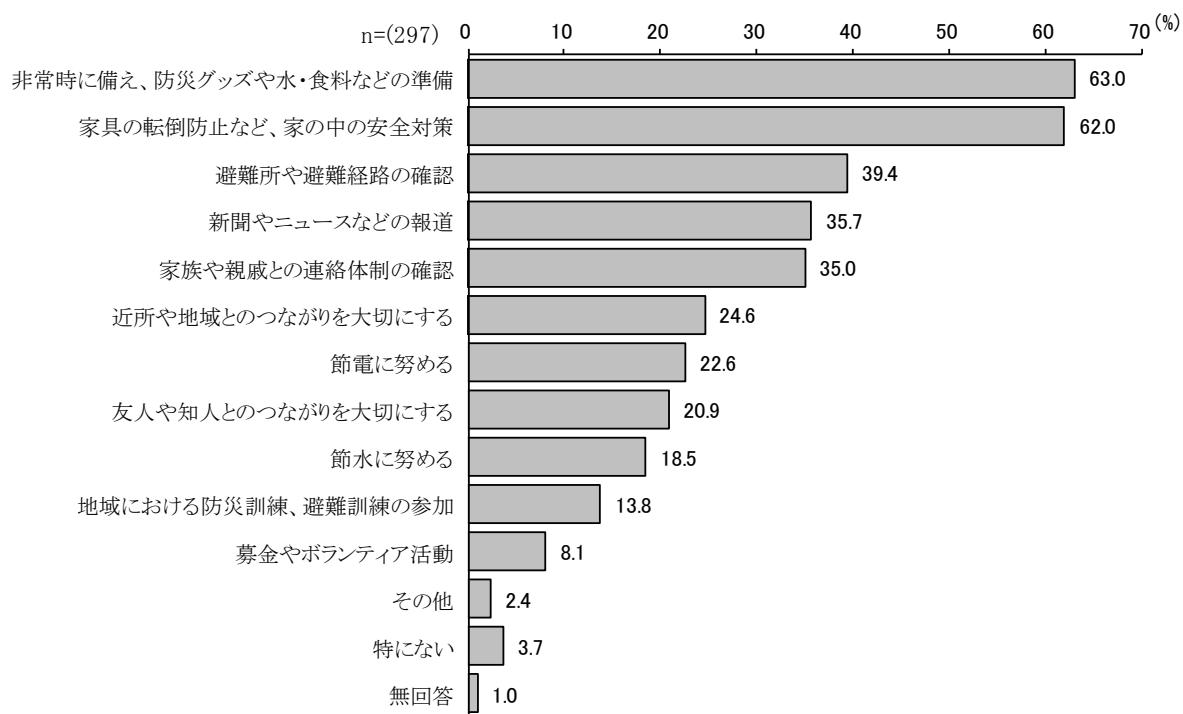
上段：件数、下段：%

12. 防災・災害復興について

(1) 震災後、生活において強く意識していること

問37 東日本大震災後、生活において強く意識するようになったことは何ですか。

次の1~13の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。



震災後、生活において強く意識していることについては、「非常に備え、防災グッズや水・食料などの準備」が63.0%と最も多く、以下、「家具の転倒防止など、家の中の安全対策」(62.0%)、「避難所や避難経路の確認」(39.4%)となっています。

男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別にみると、『60代以上』では「新聞やニュースなどの報道」が50.0%と、他の年代に比べ10ポイント以上多くなっています。

【震災後、生活において強く意識していること/男女別/年代別】

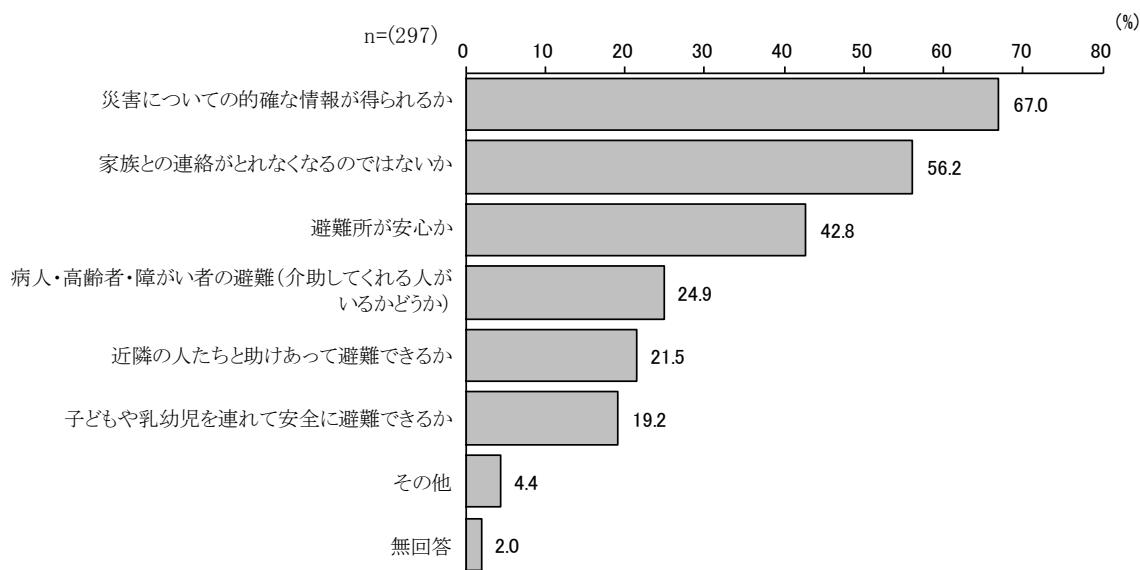
		調査数	節電に努める	節水に努める	どぐ非の常準時	避認難所や親認	体制族のや	策ど家、具のや	が近り所をや	が友り所をや	の報道やニ	活動募金やボ	練地、域避難訓練の防	その他	特になし	無回答
全 体		297	67	55	187	117	104	184	73	62	106	24	41	7	11	3
男女別	男性	137	34	30	87	55	46	84	33	25	46	16	26	3	5	3
	女性	156	31	24	99	60	56	99	39	36	57	8	15	4	6	0
年代別	20代以下	59	8	8	37	16	19	32	8	16	18	2	5	2	3	0
	30~50代	149	31	24	97	57	48	97	30	22	42	12	17	2	6	0
	60代以上	86	27	23	52	42	35	54	34	23	43	10	19	3	2	3

上段：件数、下段：%

(2) 災害が発生して避難が必要になった時に心配なこと

問38 今後、災害が発生して避難が必要になった時に心配なことは何ですか。

次の1~7の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。



災害が発生して避難が必要になった時に心配なことについては、「災害についての的確な情報が得られるか」が 67.0% と最も多く、以下、「家族との連絡がとれなくなるのではないか」(56.2%)、「避難所が安心か」(42.8%) となっています。

男女別にみると、『女性』では、「避難所が安心か」が 46.8% と、『男性』に比べ 5 ポイント以上多くなっています。

年代別にみると、『60 代以上』では「避難所が安心か」が 50.0% と、他の年代に比べ 10 ポイント以上多くなっています。

【災害が発生して避難が必要になった時に心配なこと/男女別/年代別】

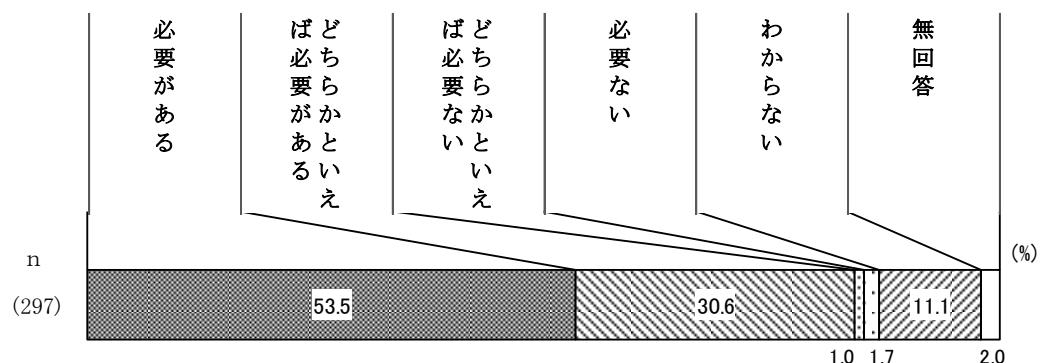
		調査数	報災が得に	るつれい	るてかの的確な情	な家	人の病	安子全	て近隣	避難所	その他	無回答
			が害得に	れいれい	れいれい	る族のと	が避人い難・	どにも避や	難の人	が安心か		
男女別	男性	297	199	167	74	57	64	127	13	6		
	女性	100.0	67.0	56.2	24.9	19.2	21.5	42.8	4.4	2.0		
年代別	20代以下	137	94	77	34	29	35	51	6	4		
	30~50代	100.0	68.6	56.2	24.8	21.2	25.5	37.2	4.4	2.9		
	60代以上	156	102	88	39	27	28	73	7	2		
		100.0	65.4	56.4	25.0	17.3	17.9	46.8	4.5	1.3		
		100.0	62.7	59.3	16.9	18.6	13.6	39.0	10.2	0.0		
		100.0	64.4	61.7	22.1	26.2	18.8	38.9	3.4	1.3		
		100.0	74.4	45.3	34.9	7.0	31.4	50.0	2.3	4.7		

上段：件数、下段：%

(3) 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要か

問39 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか。

次の1~5の中から1つだけ選んで○をしてください。



防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要かについては、「必要がある」が53.5%と最も多く、以下、「どちらかといえば必要がある」(30.6%)、「必要ない」(1.7%) となっています。

男女別にみると、『女性』では「必要がある」が60.3%と、『男性』に比べ10ポイント以上多くなっています。

年代別にみると、「必要がある」が、年代が下がるにつれ多くなっています。

【防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要か/男女別/年代別】

		調査数	必要がある	どちらかといえば必要がある	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない	無回答
全 体		297	159	91	3	5	33	6
男女別	男性	137	63	49	1	3	17	4
	女性	156	94	41	2	2	15	2
年代別	20代以下	59	36	12	2	0	9	0
	30~50代	149	81	50	0	3	15	0
	60代以上	86	40	28	1	2	9	6

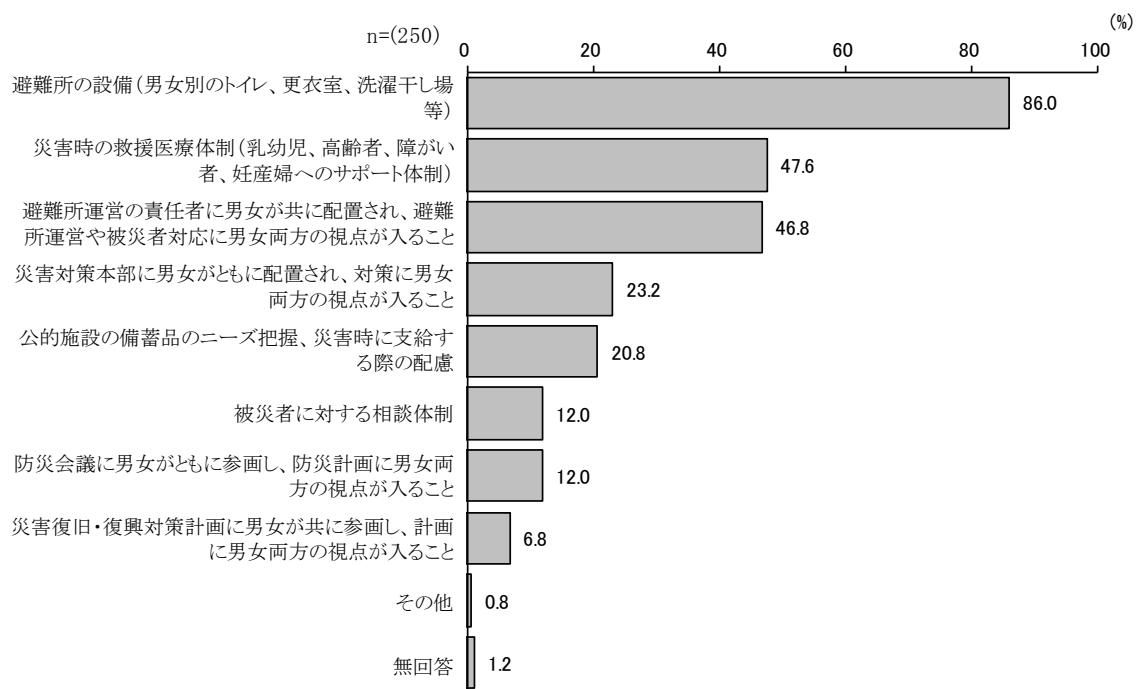
上段：件数、下段：%

(4) 性別に配慮した対応が必要なこと

*問39で1「必要がある」または2「どちらかといえば必要がある」と答えられた方にお聞きします

問40 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なことは何ですか。

次の1~9の中から3つ以内で選んで○をしてください。



防災・災害復興対策で、性別に配慮した対応が必要だと思うことについては、「避難所の設備（男女別のトイレ、更衣室、洗濯干し場等）」が86.0%と最も多く、以下、「災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦へのサポート体制）」（47.6%）、「避難所運営の責任者に男女が共に配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」（46.8%）となっています。

男女別にみると、『男性』では「防災会議に男女がともに参画し、防災計画に男女両方の視点が入ること」が17.0%と、『女性』に比べ多くなっています。

年代別にみると、『20代以下』では「災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦へのサポート体制）」が54.2%と、他の年代に比べ多くなっています。

【性別に配慮した対応が必要なこと/男女別/年代別】

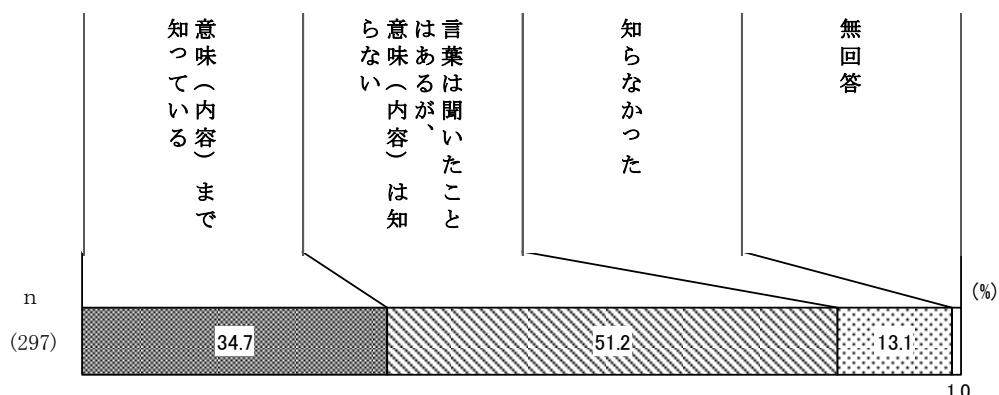
		調査数	更衣室所の洗濯設備干し男女等別	避難所に置き難い男女の運搬、営業避難責任者点運者が営入や男の災害がと者共対に	ボート者時に運転者の難責任者が運入や被女がと者共対に	高齢者時に運転者の難責任者が運入や被女がと者共対に	災害時に施設の支給する医療品の体妊産婦乳幼児の児サ、	災害時に施設の支給する医療品の体妊産婦乳幼児の児サ、	被災者に対する相談体制	防災計画に男女両方がとる視点に点が画入しる、	防災計画に男女両方がとる視点に点が画入しる、	さ災害対策本部に男女両方がとる視点に点が画入しる、	さ災害対策本部に男女両方がとる視点に点が画入しる、	点が災害復旧に参画し、復興計画に策男計女画両に方男の女視が	その他	無回答
全 体		250 100.0	215 86.0	117 46.8	119 47.6	52 20.8	30 12.0	30 12.0	58 23.2	17 6.8	2 6.8	3 0.8	1 1.2			
男女別	男性	112 100.0	96 85.7	52 46.4	52 46.4	22 19.6	15 13.4	19 17.0	26 23.2	9 8.0	2 8.0	2 1.8	2 1.8			
	女性	135 100.0	116 85.9	65 48.1	65 48.1	30 22.2	12 8.9	11 8.1	32 23.7	7 5.2	0 0.0	1 0.0	1 0.7			
年代別	20代以下	48 100.0	44 91.7	21 43.8	26 54.2	15 31.3	2 4.2	5 10.4	10 20.8	2 4.2	0 0.0	0 2.1	1 2.1			
	30～50代	131 100.0	106 80.9	64 48.9	61 46.6	26 19.8	12 9.2	15 11.5	27 20.6	8 6.1	2 1.5	1 0.8				
	60代以上	68 100.0	62 91.2	32 47.1	30 44.1	11 16.2	13 19.1	10 14.7	21 30.9	6 8.8	0 0.0	1 1.5				

上段：件数、下段：%

13. SDGs(エス・ディー・ジーズ)について

(1) SDGs(持続可能な開発目標)の認知度

問41 2015年9月の国連サミットで採択された、SDGs(持続可能な開発目標)を知っていますか。
次の1~3の中から1つだけ選んで○をしてください。



SDGs(持続可能な開発目標)の認知度については、「言葉は聞いたことはあるが、意味(内容)は知らない」が51.2%と最も多く、以下、「意味(内容)まで知っている」(34.7%)、「知らなかつた」(13.1%)となっています。

男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別にみると、「意味(内容)まで知っている」が、年代が下がるにつれ多くなっています。

【SDGs(持続可能な開発目標)の認知度/男女別/年代別】

		調査数	知り意味まで (い内容)	ら意は言葉があるは内が聞いいたこと	知らなかつた	無回答
全 体		297 100.0	103 34.7	152 51.2	39 13.1	3 1.0
男女別	男性	137 100.0	48 35.0	71 51.8	16 11.7	2 1.5
	女性	156 100.0	55 35.3	79 50.6	21 13.5	1 0.6
年代別	20代以下	59 100.0	28 47.5	25 42.4	6 10.2	0 0.0
	30~50代	149 100.0	58 38.9	79 53.0	12 8.1	0 0.0
	60代以上	86 100.0	17 19.8	47 54.7	19 22.1	3 3.5

上段：件数、下段：%

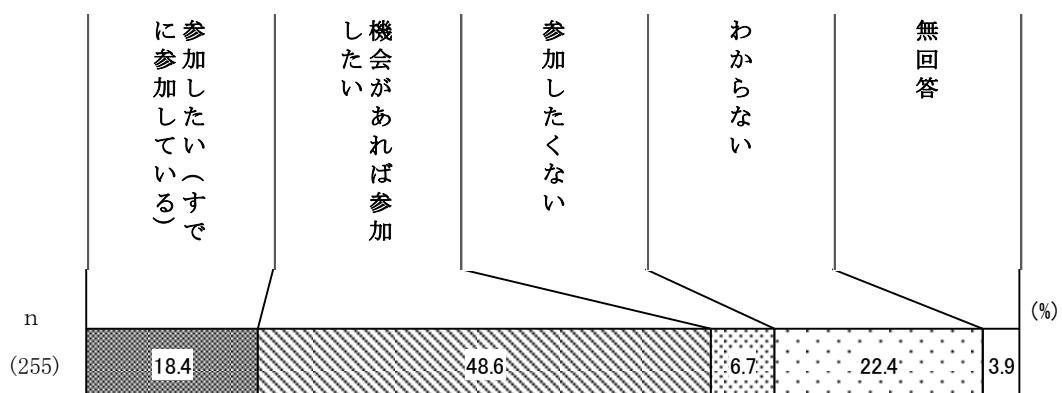
(2) SDGs の取り組みに参加したいか

*問41で1「意味（内容）まで知っている」または2「言葉は聞いたことはあるが、

意味（内容）は知らない」と答えられた方にお聞きします。

問42 あなたは、SDGs の取り組みに参加したいと思いますか。

次の1~4の中から1つだけ選んで○をしてください。



SDGs の取り組みに参加したいかについては、「機会があれば参加したい」が 48.6% と最も多く、以下、「参加したい（すでに参加している）」(18.4%)、「参加したくない」(6.7%) となっています。

男女別にみると、『女性』では「機会があれば参加したい」が 58.2% と、『男性』に比べ 20 ポイント以上多くなっています。

年代別にみると、『60 代以上』では「わからない」が 39.1% と、他の年代に比べ 10 ポイント以上多くなっています。

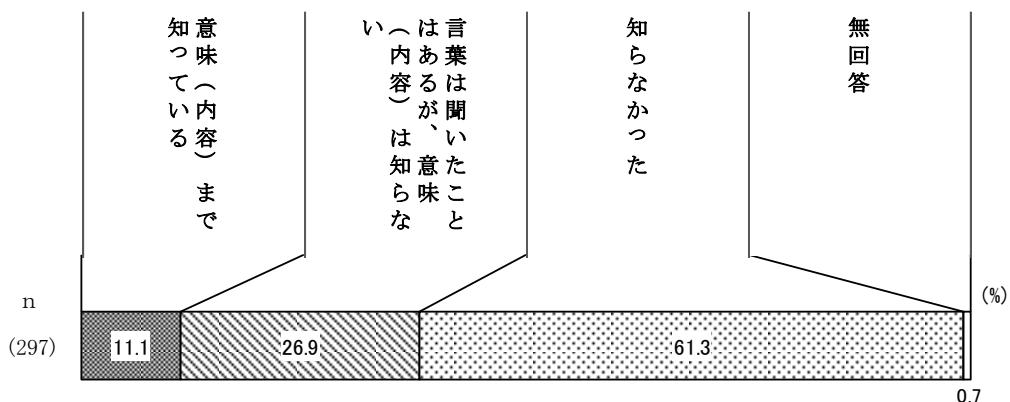
【SDGs の取り組みに参加したいか/男女別/年代別】

		調査数	参 加 し た い い る (す で に)	た 機 会 が あ れ ば 参 加 し	参 加 し た く な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		255	47	124	17	57	10
男女別	男性	100.0	18.4	48.6	6.7	22.4	3.9
	女性	100.0	21.8	37.8	11.8	25.2	3.4
年代別	20代以下	100.0	53	22.6	12	27	4
	30~50代	100.0	137	23.4	32	63	5
	60代以上	100.0	64	4.7	3	51.6	1.6

上段：件数、下段：%

(3) 「桑折町 SDGs 推進町民会議」の認知度

問43 桑折町では2022年5月に「桑折町 SDGs 推進町民会議」を発足し、全町挙げてSDGsに取り組もうとしていますが、こうした取り組みについて知っていますか。
次の1~3の中から1つだけ選んで○をしてください。



「桑折町 SDGs 推進町民会議」の認知度については、「知らなかった」が61.3%と最も多く、以下、「言葉は聞いたことはあるが、意味（内容）は知らない」（26.9%）、「意味（内容）まで知っている」（11.1%）となっています。

男女別にみると、『女性』では「言葉は聞いたことはあるが、意味（内容）は知らない」が33.3%と、『男性』に比べ多くなっています。

年代別にみると、『20代以下』では「知らなかった」が72.9%と、他の年代に比べ10ポイント以上多くなっています。

【「桑折町 SDGs 推進町民会議」の認知度/男女別/年代別】

		調査数	知意味まで	容あ言葉はがは	知らなかつた	無回答
全 体		297	33	80	182	2
男女別	男性	137	21	28	86	2
	女性	156	12	52	92	0
年代別	20代以下	59	6	10	43	0
	30~50代	149	23	39	87	0
	60代以上	86	4	31	49	2

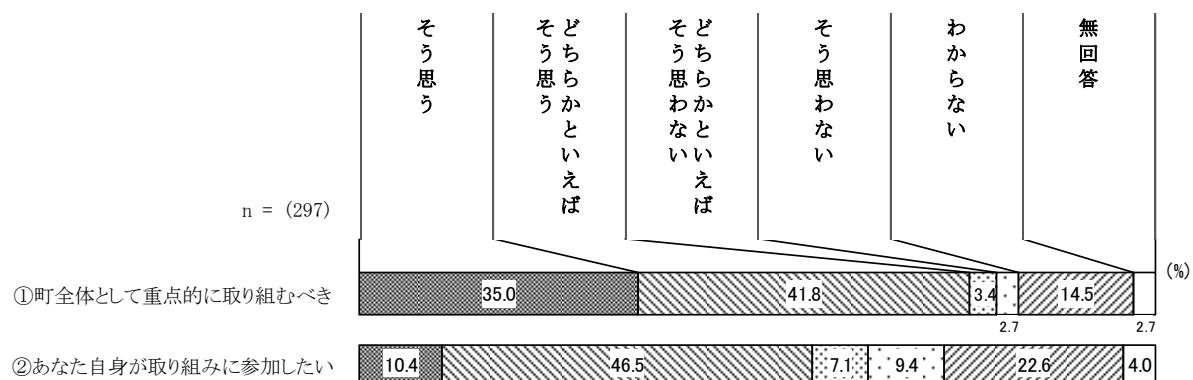
上段：件数、下段：%

(4) 桑折町 SDGs 推進町民会議の取り組みについて

問44 SDGsへの理解を高め、町内への浸透を図っていく「桑折町 SDGs 推進町民会議」の

取り組みについて、どう思いますか。

それぞれの項目ごと、1~5の中から1つずつ選んで○をしてください。



桑折町 SDGs 推進町民会議の取り組みについて、〈①町全体として重点的に取り組むべき〉については、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」が 76.8%となっています。一方、「どちらかといえばそう思わない」又は「そう思わない」は 6.1%となっています。

また、〈②あなた自身が取り組みに参加したい〉については、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」が 56.9%となっています。一方、「どちらかといえばそう思わない」又は「そう思わない」は 16.5%となっています。

《問44 ①町全体として重点的に取り組むべき》

〈①町全体として重点的に取り組むべき〉を男女別にみると、『女性』では「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」が79.5%と、『男性』に比べ多くなっています。

年代別にみると、50代以下では「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」が、8割を超えていま

す。

【①町全体として重点的に取り組むべき/男女別/年代別】

		調査数	そう思う	そどうち思らうかといえば	そどうち思らわかなといいえば	そう思わない	わからない	無回答
全 体		297	104	124	10	8	43	8
男女別	男性	137	48	53	3	7	20	6
	女性	156	55	69	7	0	23	2
年代別	20代以下	59	25	24	1	1	8	0
	30～50代	149	56	66	5	4	17	1
	60代以上	86	23	32	4	2	18	7

上段：件数、下段：%

《問44 ②あなた自身が取り組みに参加したい》

〈②あなた自身が取り組みに参加したい〉について男女別にみると、『女性』では「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」が60.3%と、『男性』に比べ多くなっています。

年代別にみると、『20代以下』では「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」が64.4%と、他の年代に比べ多くなっています。

【②あなた自身が取り組みに参加したい/男女別/年代別】

		調査数	そう思う	そどうち思らうかといえば	そどうち思らわかなといいえば	そう思わない	わからない	無回答
全 体		297	31	138	21	28	67	12
男女別	男性	137	14	59	10	21	24	9
	女性	156	16	78	11	6	42	3
年代別	20代以下	59	10	28	1	4	15	1
	30～50代	149	15	74	16	17	26	1
	60代以上	86	6	35	4	6	25	10

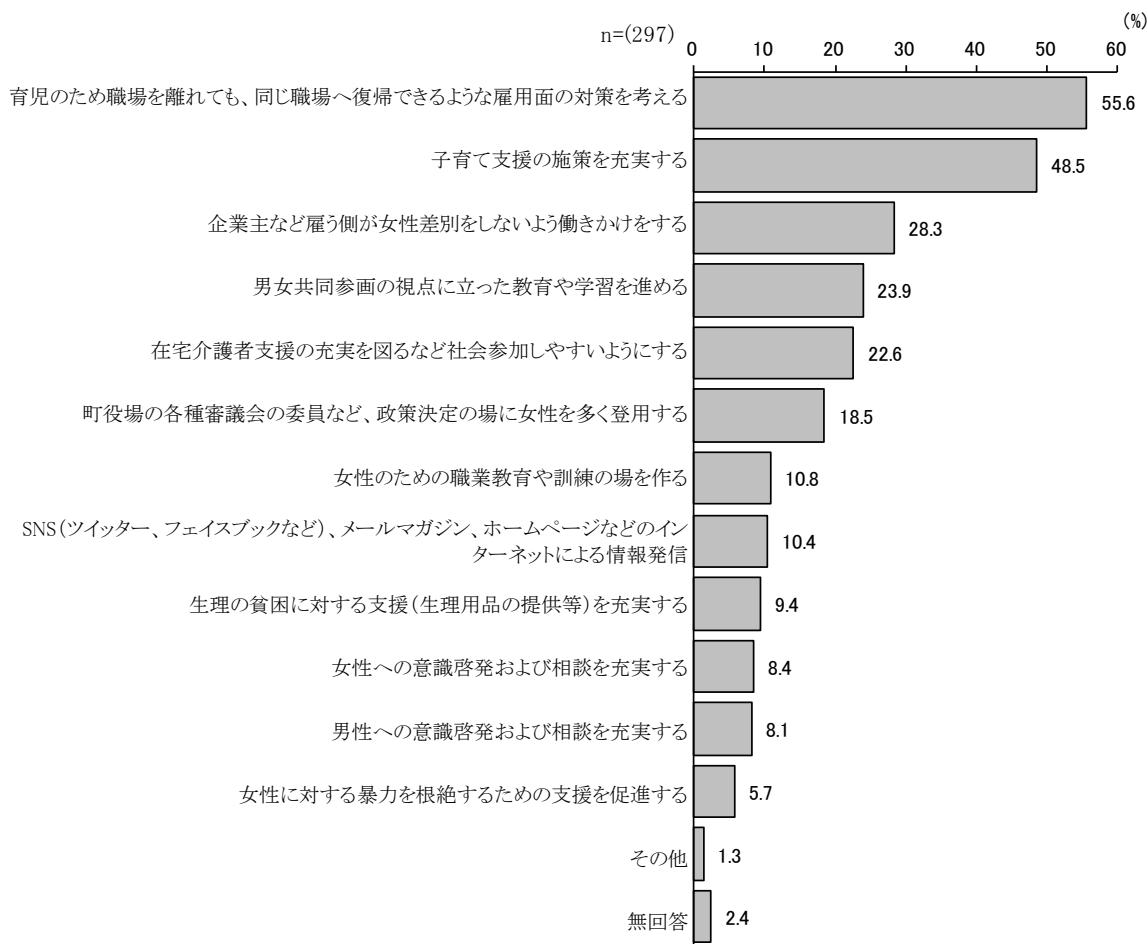
上段：件数、下段：%

14. 行政の役割について

(1) 男女共同参画社会実現のため行政に望むこと

問45 男女共同参画社会の実現のため、行政に対してどのようなことを要望しますか。

次の1~13の中から3つ以内で選んで○をしてください。



男女共同参画社会実現のため行政に望むことについては、「育児のため職場を離れても、同じ職場へ復帰できるような雇用面の対策を考える」が 55.6% と最も多く、以下、「子育て支援の施策を充実する」(48.5%)、「企業主など雇う側が女性差別をしないよう働きかけをする」(28.3%) となっています。

男女別による、特徴的な差はみられません。

年代別にみると、『20代以下』では「子育て支援の施策を充実する」が59.3%と最も多く、他の年代に比べ10ポイント以上多くなっています。

【男女共同参画社会実現のため行政に望むこと/男女別/年代別】

		調査数	定町役場の女性に各種を審議する多くの登用するする員など、政策決	働く企業をかなかを雇う側が女性差別をしないよ	う企業主が女性差別をしないよ	復帰できるよ	育児のため職場を離用面でも、対策同じ考え方するへ	女性のための職業教育や訓練の場を作る	子育て支援の施策を充実する	加在宅介護者の支援の充実に立	男女共同参画の視点に立つた教育や学習	女性への意識啓発および相談を充実する	男女への意識啓発および相談を充実する	男性への意識啓発および相談を充実する	女性に対する暴力を根絶するための支援	生理の貧困に対する支援（生理用品の提	など～、インターネットによる情報発信	SNSのメルマッジン、ホエムスブック	その他	無回答
全 体		297	55	84	165	32	144	67	71	25	24	17	28	31	4	7				
男女別	男性	137	29	38	74	10	69	29	29	17	15	9	9	19	2	2				
	女性	100.0	21.2	27.7	54.0	7.3	50.4	21.2	21.2	12.4	10.9	6.6	6.6	13.9	1.5	1.5				
年代別	20代以下	59	12	19	34	2	35	6	13	2	2	5	11	11	1	1				
	30～50代	100.0	20.3	32.2	57.6	3.4	59.3	10.2	22.0	3.4	3.4	8.5	18.6	18.6	1.7	1.7				
	60代以上	100.0	16.1	26.2	55.7	14.1	48.3	22.1	20.1	11.4	10.7	4.7	8.1	8.7	1.3	0.7				

上段：件数、下段：%

III. 自由記述

問46. 男女共同参画社会づくりに向けて、ご自由にご意見をお書きください。

順位	内容	件数
1	仕事について	14
2	男女の地位に関する意識について	12
3	男女共同参画社会の形成に関する意識について	11
4	行政への要望	7
5	人権の尊重について	6
6	教育について	6
7	日常生活や子育てについて	2
8	健康や地域活動、老後の暮らしについて	1
-	その他	10
合 計		72

※複数回答を含むため、件数は回答者数より多くなっています。

本町の男女共同参画社会づくりについて、45人の方からご意見を頂戴しました。

記載内容をテーマごとに分類したところ、最も多かったのは「仕事について」が14件と最も多く、以下、「男女の地位に関する意識について」(12件)、「男女共同参画社会の形成に関する意識について」(11件)、「行政への要望」(7件)となっています。

以下にテーマごとの主な意見を抜粋しました。

◆ 仕事について

- ・男性も育児休暇をとりやすくするようにする。賃金を上げる。セクハラをなくす。(男性・20代)
- ・子育ては、社会の中で、1番重大で、重要な仕事だと思います。その為、家庭の中での母親の役割りは、とても大きいと思います。しかしながら、この不況の中で共働きでなければ、家庭生活がまかなえず、仕事の責任を果たしながら、家庭の重役を果たすのは容易ではないと痛感しています。社会が思う以上に企業・職場は、男女平等化していると思います。福利厚生も、スキルアップ制度も、男女の差は少ないと感じています。だからこそ、女性だけが心身ともにひつ迫しているように思います。環境を整えると同時に収入・経済の安定をはかることが、優先されるべきなのではと思います。(女性・40代)
- ・特に若くして育児を始めた人(社会経験が少ない人)が子育てをしながら研修・職業訓練が出来るよう預かり保育等の拡充と告知を充実させてほしい。※これは若くして父親になった男性にも当てはまります。(男性・40代)
- ・子供の急な(対応、熱やケガ)事態に備えて男女共に仕事を抜け出せる用な職場を作ってほしい。(男性・10代)

- ・男女平等は良い取組だと思うけど選択させてほしい。子どもを産んでまで働きたくない。育児と仕事の重要度を平等にしてほしい。働きたい女性は男性と同等に働き、家にいたい女性は家にいる。それで良いと思う。でも金がないので働くけど（女性・20代）

◆ 男女の地位に関する意識について

- ・男女平等、男性の家事・育児の参加、介護への介入と言えど、行政や地域での取り組みは充分であると考えます。しかし、家事や育児をされる側や介護を受ける側が女性を求めているという事実から目を背けては解決出来ないと思う。子供が育つ環境において女性や母親の存在は圧倒的に必要で父親では子の心の成長に充分とは言えないという調査結果もある事を理解し、女性が就業しながら子育てや介護が出来るよう社会的な面からの男性の参加と介入でいいのではないかと思います。（女性・40代）
- ・女性は家庭、男性は仕事優先という考え方は捨てるべきだ。子育ても母と父が平等にするべきだ。長いようで短い子供と両親で過ごせる時間を大切にしてほしい。（女性・10代）
- ・男女共同と一言で言っても、女性側が意識をかえていかないといけない部分もあると思う。役職なども男性におまかせしていることが多いが、今後は女性もやっていかなければいけないと思う。“いいとこどり”的な男女共同では本来の共同ではないように感じる。（女性・40代）
- ・「男性だから」「女性だから」というステレオタイプを取り除くことが、必要だと感じる。男女共同参画社会づくりというと、女性の社会進出というイメージがあるが、男性ならではの苦しさ、生きづらさもあると思う。例えば、自殺や社会的孤立のリスクは圧倒的に男性の方が高い。男女双方があゆみよれるような社会づくりの方針になればと感じている。（女性・20代）

◆ 男女共同参画社会の形成に関する意識について

- ・現実問題として男女が同じ立場で同じ行動をするのは難しいと思います。人にはそれぞれの能力と価値感と資質や個性があり、「自分に出来る事をする」だけで良いのではないかでしょうか。無理をしたり必要以上のプレッシャーを与える事は心の負担を大きくして、逆効果ではないかとも思えます。（男性・60代）
- ・男女共同参画が叫ばれて幾久しいが、まだまだ完遂には至っていない現状と認識している。こうした参画社会構築の裏腹で、女性自身のおごり、権利主張ばかりが飛び交う社会に至ってしまうのではと懸念している。本来の男女共同参画の目的から逸脱しないよう、女性の方々にも、権利主張とともに大きな社会的責任があることを自覚していただき、よりよい男女共同参画社会が構築されていくことを願っている。（男性・60代）
- ・強制すると反発することもあるし、権利を主張する人も少なからずいるので少しづつ時間をかけて環境を変えていけば男女共に選択肢が増えて共同参画出来る社会もくるかなと思います。（男性・40代）

◆ 行政への要望

- ・子育てについて、周りの人が桑折町は支援が手厚いとよく言われているので、続けて頂きたいです。授業で習ったことですが、職場でセクハラがあった時、相談窓口が上司で加害者である場合があり相談できない人が多いと知りました。行政の窓口や他団体への相談のできる場所を強く示してほしいです。また、セクハラの告発で職を失った場合、精神的にも社会復帰が難しくなりやすいです。そのような被害者への支援をして頂けると嬉しいです。（女性・20代）

- ・桑折町のような小さな自治体でこのような取り組みが成功すれば、おのずと近隣の自治体にも影響していくと思う。一気に推し進めていくのではなく、住民と町長および役場職員との理解を深めながら徐々に進めていってほしい。(男性・40代)

◆ 人権の尊重について

- ・年配の男性には、まだまだ「女のくせに」という発言や考え方が多くごくごく身近にある。その考えを孫世代に世間話の中ですり込む。その中には、L G B Tの方々に配慮のない考え方もあり注意をしたいが、「女のくせに」と思っている年上の男性に対して意見をしづらい。年配男性にはしっかりと言える立場の人がきちんと新しい世の中の考え方を教えていただきたいと強く思います。孫世代にまで考え方がすり込まれてしまわない様に。(女性・30代)
- ・現在、男・女という性別だけでなく性的マイノリティといった多様な考えをもつ人がいる。何が性差別となるのか、自分自身も気づかなかつたり、知識が足りなかつたりしている。まずは、家庭・教育の場で幼い頃から性別を越えた人権教育が必要だと思う。また、子どもだけでなく大人も共に学ぶ・知ることが必要で、そのための情報を行政が発信していくことが必要である。行政や教育ほどなかなか考え方や体質が変わらない。男だから、女だからではなく、誰にとってもよりよい社会、一人一人が充実した生活を送れるように改革できるところから行っていってほしい。(女性・40代)

◆ 教育について

- ・特別支援を必要とする児童が増えていると思います。特に小学校では、男性の先生の手も必要かと思うですが、実際は女性が多いと思います。もっと小学校に男性の先生がいてほしいと思います。(特別支援に限らず)(女性・60代)
- ・学校でもこの分野について学習し、考え、討論する機会があると良いと思う。(男性・10代)
- ・男女平等とはいえ役割(もともと?)のちがいもあるので個人個人に合わせた社会づくりが必要だと思います。男だから女だからという固定概念をとり除くための教育が重要だと感じます。(女性・60代)

◆ 日常生活や子育てについて

- ・桑折町は出産祝い金等が充実していないと思います。(3人目の祝い金)過疎化、少子高齢化を止めるため若い世代に引越して長く住み続けてもらうためにも必要な制度の1つなのではないかと思います。(女性・20代)
- ・家庭では出来ることをお互いに協力し助け合うようにして生活を送りたいです。(女性・60代)

◆ 健康や地域活動、老後の暮らしについて

- ・各町内においても、若者の生活が少なく子供達も少なく、高齢者社会が現実に有ります。これからの先行きが心配になります。(男性・70代以上)

◆ その他

- ・今までの取組みで十分だと私はいますが、どの場所でも「話し合い」が重要だと思います。(女性・70代)
- ・ハラスメントで、問27の内容は、セクハラの内容になっていた。意識調査と言ってるが、男性目線の調査に感じた。(女性・40代)

第3章 資料（調査票）

第3章 資料（調査票）

桑折町 男女共同参画に関する町民意識調査

～アンケート調査へのご協力のお願い～

日頃より、町政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
このたび、当町にお住まいの15歳以上の方800名を無作為に抽出させていただき、男女共同参画に関する意識や問題点、考え方等についてお伺いし、皆様のご意見を参考にして、今後の男女共同参画計画につなげていきたいと考えております。日々お忙しいことと思いますが、少しだけお時間をつくっていただき、あなたの思いを町政に届けていただければ幸いです。

なお、ご回答の内容は、すべて統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございませんので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

令和4年7月 桑折町 総合政策課

ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートは、宛名のご本人がお答えください。なお、病気等やむを得ない事情がある場合など、ご家族の方が代筆していただいても結構です。
2. 回答は、あてはまる回答の番号に○をつけてください。質問によって「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」のように○をつける数を指定している場合があります。質問文の案内に沿って回答してください。
3. 「その他（　）」とお答えの場合は、（　）の中に具体的にお書きください。
4. 回答は無記名でお願いします（住所や氏名のご記入は必要ありません）。

●ご記入済みのアンケートは、同封の返信用封筒（切手は不要です）を用いて、

7月29日（金）までに郵便ポストにご投函ください。

※町役場へ直接お持ち込みいただくことも可能です。

●本アンケートはパソコンやスマートフォンなどからもご回答いただけます。

以下のQRコードを読み取りいただくか、URLから回答フォームにアクセスできます。

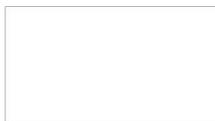
下記に記載されている整理番号をご入力のうえ、画面の指示にしたがって回答ください。

※インターネットでご回答いただいた場合、本調査票の返送は不要です。

QRコード



インターネット回答用整理番号（数字5桁）



※重複回答を防ぐため、
ランダムに生成された番
号です。個人を特定する
番号ではありません。

URL : https://www15.webcas.net/form/pub/s-tohoku/koori_gender

このアンケート調査についてのお問い合わせ先

〒969-1692 福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下22番地7 総合政策課

TEL : 024-582-2111（代） FAX : 024-582-2479

【はじめに、あなた自身についておたずねします】

問1 次の項目について、あなたにあてはまるものに○をしてください。

性別（自認する性）（○は1つ）

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

年齢（○は1つ）

1 10代	4 40代	7 70代以上
2 20代	5 50代	
3 30代	6 60代	

職業（○は1つ）

1 会社員（正社員）	5 自営業・農業	9 家事専念
2 会社員（非正規）	6 会社役員	10 学生
3 公務員（正職員）	7 自由業	11 無職
4 公務員（非正規）	8 パート・アルバイト	12 その他（ ）

婚姻の状況（○は1つ）

1 既婚（配偶者あり）	2 離婚・死別	3 未婚
-------------	---------	------

→ * 婚姻の状況で1「既婚（配偶者あり）」と答えた方にお聞きします
共働きの状況（○は1つ）

1 共働き	2 一方が家事専念	3 共に無職
-------	-----------	--------

同居の状況（○は1つ）

1 あなただけの単身世帯	3 親と子の世帯	5 その他（ ）
2 夫婦だけの世帯	4 親と子と孫の世帯	

世帯の収入（○は1つ）

1 100万円未満	4 500～700万円未満	7 1,100万円以上
2 100～300万円未満	5 700～900万円未満	
3 300～500万円未満	6 900～1,100万円未満	

現在の居住地（○は1つ）

1 桑折地域	3 伊達崎地域
2 睦合地域	4 半田地域

【男女平等についておたずねします】

問2 次の各分野で男女が平等になっていると思いますか。

それぞれの項目で1~6の中から1つだけ選んで○をしてください。

	1 男性が優遇 されている	2 どちらかとい えば男性 が優遇され ている	3 平等になっ ている	4 どちらかとい えば女性 が優遇され ている	5 女性が優遇 されている	6 わからない
① 家庭の中で	1	2	3	4	5	6
② 職場の中で	1	2	3	4	5	6
③ 政治の場で	1	2	3	4	5	6
④ 学校の中で	1	2	3	4	5	6
⑤ 社会通念・しきたり上で	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度上で	1	2	3	4	5	6
⑦ 地域社会で	1	2	3	4	5	6

【結婚と家庭生活についておたずねします】

問3 次の項目について、あなたはどう思いますか。

それぞれ1~4の中から1つだけ選んで○をしてください。

	1 そう思う	2 どちらかとい えばそう思う	3 どちらかとい えばそう思わ ない	4 そう思わない
① 一人で暮らしていければ、あえて結婚 する必要はない	1	2	3	4
② 結婚したい場合でも、経済的な事情等 で実際には結婚が難しい側面もある	1	2	3	4
③ 特定の人と一緒に暮らしていく場合で も、結婚という形式に拘る必要はない	1	2	3	4
④ 結婚しても、必ずしも子供をもたなく てもよい	1	2	3	4
⑤ 選択的夫婦別姓の結婚が認められても よい	1	2	3	4
⑥ 男性は外で働き、女性は家庭を守るべ きだ	1	2	3	4
⑦ 男性も家事や子育てなどの家庭の責任 を分担して担うべきだ	1	2	3	4

問4 既婚の方にお尋ねします。あなたの家庭では、次の項目の仕事は夫婦のうち、どちらが主に担当されていますか。

それぞれ1~5の中から1つだけ選んで○をしてください。

	1 主として妻	2 夫婦同程度	3 主として夫	4 その他の 家族等	5 該当なし
① 生活費を得る	1	2	3	4	5
② 掃除	1	2	3	4	5
③ 洗濯	1	2	3	4	5
④ 食事のしたく	1	2	3	4	5
⑤ 食事の片づけ	1	2	3	4	5
⑥ 家計の管理	1	2	3	4	5
⑦ 育児・教育	1	2	3	4	5
⑧ 高齢者の世話・介護	1	2	3	4	5
⑨ 地域活動(PTAや町内会等)	1	2	3	4	5

【男性の家事・育児の参加についておたずねします】

問5 男性が育児休業を取得することについて、どう思いますか。

次の1~5の中から1つだけ選んで○をしてください。

- | | |
|--------------|---------|
| 1 賛成 | 4 反対 |
| 2 どちらかといえば賛成 | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば反対 | |

問6 今後、女性と男性がともに仕事、家庭、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
次の1~16の中から3つ以内で選んで○をしてください。

- 1 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどを改めること
- 2 学校教育や生涯学習の場において、男女共同参画について学習を充実すること
- 3 男女ともに家事などができるような能力を身につけること
- 4 男性が生活面において自立できるような能力を身につけること
- 5 女性自身が経済的に自立し、社会的責任を果たせるような能力を身につけること
- 6 行政や民間、地域社会などにおける政策・方針決定の場に女性を積極的に登用すること
- 7 雇用機会や昇進など、職場における男女の対等な取扱いを徹底すること
労働時間短縮や男女ともに取得しやすい育児、介護、ボランティア等の休暇、休業制度を普及させること
- 8 年功序列、終身雇用等の従来の雇用制度を見直し、再雇用や中途採用枠の拡大など柔軟な制度を普及させること
- 9 パートタイマー、派遣労働者等の労働条件を向上させること
- 10 官民ともに、育児・介護に係る施設や、家事・育児・介護に係るサービス等を充実させること
- 11 男女の賃金の格差を解消すること
- 12 フレックスタイム制、テレワークなどの柔軟な勤務制度を導入すること
- 13 SDGs等、国際的な価値観や規範を浸透させること
- 14 その他（
16 分からない）

【子育てについて（お子さんのいらっしゃらない方は考え方をお聞かせください）】

問7 お子さんをどのような教育方針で育てられましたか。また、どのように育てたいと思いませんか。

次の1~5の中から2つ以内で選んで○をしてください。

- 1 性別にとらわれることなく、男女のわけへだてなく育てた（育てたい）
- 2 男も家事ができるよう、女も経済的に自立できるよう育てた（育てたい）
- 3 男の子は積極的に、女の子は控えめに育てた（育てたい）
- 4 男は仕事ができ、女は家庭を守るよう育てた（育てたい）
- 5 その他（ ）

問8 次の世代を担う子どもたちに対して、家庭や学校で人権や男女平等意識の育成を重視した教育が重要であるという考え方がありますが、どのようなことが必要だと思いますか。

次の1~10の中から3つ以内で選んで○をしてください。

- 1 学校における特別活動や、クラブ活動等の役割分担について、男女を問わず、生徒個人の希望と能力を重視する
- 2 学校における、進路指導や職業教育について、男女を問わず、生徒個人の希望や能力を重視する
- 3 学校において、人権や男女平等に関する授業を行う
- 4 学校のクラス名簿に男女混合名簿の導入を推進する
- 5 家庭教育学級、PTA等の会合などを活用し、保護者や地域の方を対象とした人権や男女平等に関する講座を行う
- 6 学校の教員に対し、人権や男女平等に関する研修を行う
- 7 女性の校長や教頭を増やす
- 8 今まで良い
- 9 その他（ ）
- 10 分からない

【介護についておたずねします】

問9 家庭における高齢者等の介護を主として女性が担うことについてどう思いますか。

次の1~4の中からあなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで○をしてください。

- 1 介護される側のことを考えると、女性が介護する方が好ましい
- 2 女性が主として介護することは、好ましくはないが、やむを得ない
- 3 女性が主として介護することは、好ましくはないので、男性も介護するべきだ
- 4 その他（ ）

問10 あなたが、もし、援助や介護が必要になったら、どうしたいと思いますか。

次の1~5の中から1つだけ選んで○をしてください。

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1 家族に介護してもらって自宅で暮らす | 4 病院に入院する |
| 2 介護サービスを受けながら自宅で暮らす | 5 その他() |
| 3 介護の施設に入所する | |

***問10**で1「家族に介護してもらって自宅で暮らす」と答えた方にお聞きします

問11 あなたは、家族、親族のどなたに介護してもらいたいですか。

次の1~6の中から1つだけ選んで○をしてください。

- | | |
|-------|----------|
| 1 配偶者 | 4 子の妻 |
| 2 息子 | 5 子の夫 |
| 3 娘 | 6 その他() |

問12 男性が介護休業を取得することについて、どう思いますか。

次の1~5の中から1つだけ選んで○をしてください。

- | | |
|-------------|---------|
| 1賛成 | 4 反対 |
| 2どちらかといえば賛成 | 5 わからない |
| 3どちらかといえば反対 | |

【就労についておたずねします】

問13 女性の就労について、どれが望ましいと思いますか。

次の1~6の中からあなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで○をしてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1 生涯を通じて仕事を持ち、結婚後、出産後も家庭と両立させる |
| 2 結婚を機に退職し、家庭のことに専念する |
| 3 出産を機に退職し、家庭のことに専念する |
| 4 出産後いったん退職し、子どもがある程度大きくなったら、再び仕事を持つ |
| 5 女性は仕事を持たない方がよい |
| 6 その他() |

問14 職場での女性の地位向上のためには、どのようなことが必要だと思いますか。
次の1~7の中からあなたの考えに近いものを2つ以内で選んで○をしてください。

- 1** 職場において、女性を積極的に登用すること
- 2** 職場において、配置や研修で性別による差をつけないこと
- 3** 女性が知識や技術を身につけること
- 4** 女性自身が仕事に関して意識改革すること
- 5** 男女平等意識の向上のために管理職や従業員を対象とした教育や啓発を実施すること
- 6** 男女ともに育児休業や介護休業がとりやすいよう制度の整備・充実を行うこと
- 7** その他()

問15 女性が働きつづけるために必要なことは何だと思いますか。
次の1~17の中からあなたの考えに近いものを3つ以内で選んで○をしてください。

- 1** 賃金、仕事内容など、労働条件面での男女差をなくす
- 2** パート、派遣労働等の労働条件を改善する
- 3** 労働時間の短縮や休日の増加、就業時間に柔軟性を持たせるなど働きやすい労働条件とする
- 4** ワークシェアリングを導入する
- 5** セクシャル・ハラスメント（性的いやがらせ）のない職場をつくる
- 6** 女性に対して研修や職業訓練の場を確保する
- 7** 女性に対して昇進、昇格の機会を確保する
- 8** 女性自身が意欲・能力を高める
- 9** 育児・介護のための休業制度、諸手当を充実する
- 10** 福利厚生施設や福利厚生制度を充実する
- 11** 託児施設、託児サービスを充実する
- 12** 介護施設、介護サービスを充実する
- 13** 育児・介護等で退職した後に再雇用する制度を充実する
- 14** 家庭内での家事や子育て、介護の協力を得る
- 15** 家事・育児・介護は女性がするものという社会の意識を改める
- 16** その他()
- 17** 分からない()

問 16 現在働いている方にお尋ねします。あなたの現在の職場で、仕事の内容や接遇面において、男女で差があると思いますか。
次の1~4の中から1つだけ選んで○をしてください。

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 男性が優遇されていると思う | 3 男女に差はない |
| 2 女性が優遇されていると思う | 4 わからない |

* **問 16**で1または2「(男性・女性が) 優遇されていると思う」と答えた方にお聞きします

問 17 それは具体的にどのようなことですか。
次の1~5の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 賃金に差がある |
| 2 昇進、昇格に差がある |
| 3 業務内容に差がある |
| 4 結婚したり、子供が生まれたりすると仕事を続けにくく感じる |
| 5 その他() |

問 18 新型コロナウイルス感染症の拡大によって、あなたの働き方や仕事内容に変化はありましたか。

次の1~2の中から1つだけ選んで○をしてください。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 何かしらの変化があった | 2 特に変化はなかった |
|---------------|-------------|

* **問18** で1「何かしらの変化があった」と答えられた方にお聞きします

問19 働き方や仕事内容に変化があった理由として、次の1~16の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。

- 1 業績が悪化したから
- 2 経営・運営状況（営業時間等）が変化したから
- 3 解雇（雇止め含む）を言い渡されたから
- 4 出社制限がかかった・出社人数を減らしたから
- 5 子供の面倒を見なければいけなかつたから
- 6 介護をする時間が長くなつたから
- 7 配偶者と家事、育児の分担が不可能になつたから
- 8 心身の不調を感じたから
- 9 働く時間を増やさないといけなくなつたから
- 10 テレワーク等多様な働き方が認められたから
- 11 勤め先・仕事のデジタル化が進んだから
- 12 オンラインで可能な事が多くなり時間に余裕ができたから
- 13 コロナを機に仕事のニーズが高まり忙しくなつたから
- 14 個人的な理由から
- 15 その他（
）
- 16 特に変化はなかつた

【ワーク・ライフ・バランスについておたずねします】

問20 女性及び男性の望ましいと思う生き方はどのような生き方だと思いますか。

それぞれの項目ごと、1~6の中から1つずつ選んで○をしてください。

	1 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念する	2 携わるが、あくまでも仕事を優先させる	3 仕事を同じように両立させる	4 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる	5 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する	6 分からぬ
① 男性の生き方	1	2	3	4	5	6
② 女性の生き方	1	2	3	4	5	6

問21 仕事と生活について、あなた自身の考え方（理想）と現実（現状）に最も近いものはどれですか。

それぞれの項目ごと、1~7の中から1つずつ選んで○をしてください。

	1 「仕事」 を優先	2 「家庭生活」 を優先	3 「地域・個人の生活」 を優先	4 ともに両立	5 「仕事」と「家庭生活」 をともに両立	6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」 をともに両立	7 「仕事」と「家庭生活」をすべてバ ランスよく行う
① 考え方（理想）	1	2	3	4	5	6	7
② 現実（現状）	1	2	3	4	5	6	7

問22 あなたは、日常生活の中で次の項目について満足する時間が取れていますか。

それぞれの項目ごと1~4の中から1つずつ選んで○をしてください。

	1 十分取れている	2 まあまあ取れて いる	3 あまり取れて いない	4 まったく取れて いない
① 仕事のための時間	1	2	3	4
② 家事・育児等の時間	1	2	3	4
③ 家族・恋人・友人と過ごす時間	1	2	3	4
④ 個人の時間 (学習・趣味・スポーツなど)	1	2	3	4
⑤ 地域活動に参加する時間	1	2	3	4
⑥ 休養	1	2	3	4

【社会参加についておたずねします】

問23 あなたが現在、関心のある活動は何ですか。
次の1~10の中から2つ以内で選んで○をしてください。

- 1** 町内会・自治会などの地域活動
- 2** PTA・子ども会・青少年グループなどの児童健全育成活動
- 3** 高齢者・障がい者等のためのボランティア活動
- 4** 芸術・文化・スポーツなど趣味のグループ活動
- 5** 環境保護・消費生活改善活動などの市民運動
- 6** 公民館講座等での学習
- 7** 政治活動
- 8** 国際交流活動
- 9** 関心なし
- 10** その他()

問24 あなたが、問23の活動に参加しようとするとき、障害となるものがありますか。
次の1~8の中から2つ以内で選んで○をしてください。

- 1** 仕事が忙しい
- 2** 家事（炊事、洗濯、掃除など）が忙しい
- 3** 小さい子どもや高齢者・病人がいる
- 4** 経済的余裕がない
- 5** 情報が少ない
- 6** 特に障害はない
- 7** 参加したいと思わない
- 8** その他()

【セクシャル・ハラスメント、DVについておたずねします】

ハラスメントやDVを受けた嫌な体験を思い出させてしまい申し訳ありませんが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただければ幸いです。

問25 あなたの身近なところ（職場・地域・学校）にセクシャル・ハラスメントがありますか。
次の1~4の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 自分自身が受けたことがある | 3 見たり聞いたりしたことがある |
| 2 自分自身がしたことがある | 4 ない |

* **問25**で1「自分自身が受けたことがある」と答えられた方にお聞きします

問26 そのハラスメントは、どこで受けたものでしょうか。
次の1~5の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。

- | | |
|-------|----------|
| 1 職場で | 4 家庭で |
| 2 地域で | 5 その他（ ） |
| 3 学校で | |

* **問25**で1「自分自身が受けたことがある」と答えられた方にお聞きします

問27 その内容はどんなものだったのでしょうか。
次の1~11の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。

- | | |
|----------------------------|--|
| 1 性的な経験についてしつこく尋ねられた | |
| 2 容姿や服装についてあれこれ言われた | |
| 3 立場や地位を利用して性的な関係を強要された | |
| 4 肩や尻など身体に触られた | |
| 5 身体をじろじろ見られた | |
| 6 食事やデートに執拗に誘われた | |
| 7 宴会などでお酌やデュエットを強要された | |
| 8 週刊誌などのヌード写真を見せられた | |
| 9 性的な冗談や冷やかしを言われた | |
| 10 交友関係などプライベートについて噂をながされた | |
| 11 その他（ ） | |

問28 DVが社会問題になっていますが、あなたの身近にこのような暴力がありますか。

次の1~4の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 自分自身が暴力を受けたことがある | 3 暴力について見たり聞いたりしたことがある |
| 2 自分自身が暴力をふるったことがある | 4 ない |

* **問28**で1「自分自身が暴力を受けたことがある」と答えられた方にお聞きします

問29 その内容はどんなものだったのでしょうか。

次の1~11の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 命の危険を感じるくらいの暴力を受けた |
| 2 医師の治療が必要となるくらいの暴力を受けた |
| 3 医師の治療を必要としないくらいの暴力を受けた |
| 4 外出や交友関係を厳しく制限された |
| 5 「だれのおかげで生活できるんだ」などと言われた |
| 6 大声でどなられたりおどされた |
| 7 いやがっているのに性関係を強要された |
| 8 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた |
| 9 何を言っても無視された |
| 10 生活費を渡してもらえない |
| 11 その他() |

* **問28**で1「自分自身が暴力を受けたことがある」と答えられた方にお聞きします

問30 暴力を受けたことについて、誰かに相談しましたか。相談先はどこでしたか。

次の1~8の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。

- | |
|-------------------------|
| 1 友人・知人に相談した |
| 2 家族や親せきに相談した |
| 3 警察に連絡・相談した |
| 4 医療関係者（医師・看護師など）に相談した |
| 5 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した |
| 6 男女共同参画センターに相談した |
| 7 どこ（だれ）にも相談しなかった |
| 8 その他() |

* **問30** で7「どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えられた方にお聞きします

問31 どこ（だれ）にも相談しなかった、出来なかつた理由は何ですか。

次の1~10の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。

- 1 相談しても無駄だと思ったから
- 2 自分さえ我慢すればいいと思ったから
- 3 相談するほどのことではないと思ったから
- 4 相談したとわかると、仕返しされると思ったから
- 5 相談できるほど心に余裕がなかつた
- 6 どこ（だれ）に相談してよいかわからなかつたから
- 7 自分にも悪いところがあると思ったから
- 8 世間体が悪いから
- 9 恥ずかしかつたから
- 10 その他()

問32 あなたは、配偶者等からの暴力について相談できる窓口として、どのようなものを知っていますか。

次の1~9の中からあなたが知っているものすべて選んで○をしてください。

- 1 警察
- 2 女性のための相談支援センター、男女共生センター
- 3 保健福祉事務所、女性相談員
- 4 民間の機関（弁護士会、民間シェルターなど）
- 5 県庁、町役場
- 6 法務局・地方法務局、人権擁護委員
- 7 裁判所
- 8 その他()
- 9 相談できる窓口として知っているところはない

【性的マイノリティについておたずねします】

問33 あなたは、性的マイノリティ（またはLGBT等）という言葉を知っていますか。

次の1~2の中から1つだけ選んで○をしてください。

1 はい

2 いいえ

問34 あなたは、今までに自分の体の性、心の性または性的指向に悩んだことがありますか。

次の1~2の中から1つだけ選んで○をしてください。

1 はい

2 いいえ

問35 現在、性的マイノリティ（またはLGBT等）の方々にとって、偏見や差別などにより、生活しづらい社会だと思いますか。

次の1~5の中から1つだけ選んで○をしてください。

1 そう思う

4 そう思わない

2 どちらかといえばそう思う

5 わからない

3 どちらかといえばそう思わない

*問35で1「そう思う」または2「どちらかといえばそう思う」と答えられた方にお聞きします

問36 性的マイノリティ（またはLGBT等）の方々に対する偏見や差別をなくし、性的マイノリティの方々が生活しやすくなるためにどのような対策が必要だと思いますか。

次の1~11の中から3つ以内で選んで○をしてください。

1 気持ちや情報を共有できる居場所づくり

2 法令の制定や制度の見直し

3 幼少期からの教育の充実

4 同性同士のパートナーやその家族も法律上の家族と同等に扱うこと

5 相談できる窓口の設置

6 更衣室やトイレ、制服など、男女で区別されているものに対する配慮

7 同性同士のパートナーであることを証明する行政の証明等の発行

8 行政職員や教職員に対する研修の実施

9 企業・地域住民等に対する啓発活動の実施

10 必要だとは思わない

11 わからない

【防災・災害復興についておたずねします】

問37 東日本大震災後、生活において強く意識するようになったことは何ですか。

次の1~13の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。

- 1 節電に努める
- 2 節水に努める
- 3 非常に備え、防災グッズや水・食料などの準備
- 4 避難所や避難経路の確認
- 5 家族や親戚との連絡体制の確認
- 6 家具の転倒防止など、家の中の安全対策
- 7 近所や地域とのつながりを大切にする
- 8 友人や知人とのつながりを大切にする
- 9 新聞やニュースなどの報道
- 10 募金やボランティア活動
- 11 地域における防災訓練、避難訓練の参加
- 12 その他 ()
- 13 特にない

問38 今後、災害が発生して避難が必要になった時に心配なことは何ですか。

次の1~7の中からあてはまるものすべて選んで○をしてください。

- 1 災害についての的確な情報が得られるか
- 2 家族との連絡がとれなくなるのではないか
- 3 病人・高齢者・障がい者の避難（介助してくれる人がいるかどうか）
- 4 子どもや乳幼児を連れて安全に避難できるか
- 5 近隣の人たちと助けあって避難できるか
- 6 避難所が安心か
- 7 その他 ()

問39 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか。

次の1~5の中から1つだけ選んで○をしてください。

- | | |
|-----------------|---------|
| 1 必要がある | 4 必要ない |
| 2 どちらかといえば必要がある | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば必要ない | |

* **問39** で1「必要がある」または2「どちらかといえば必要がある」と答えられた方に
お聞きします

問40 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なことは何ですか。

次の1~9の中から3つ以内で選んで○をしてください。

- 1 避難所の設備（男女別のトイレ、更衣室、洗濯干し場等）
- 2 避難所運営の責任者に男女が共に配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること
- 3 災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦へのサポート体制）
- 4 公的施設の備蓄品のニーズ把握、災害時に支給する際の配慮
- 5 被災者に対する相談体制
- 6 防災会議に男女がともに参画し、防災計画に男女両方の視点が入ること
- 7 災害対策本部に男女がともに配置され、対策に男女両方の視点が入ること
- 8 災害復旧・復興対策計画に男女が共に参画し、計画に男女両方の視点が入ること
- 9 その他（ ）

【SDGs（エス・ディー・ジーズ）についておたずねします】

SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、17のゴール（目標）を定めています。

これらの目標は、国による取組だけでは達成が困難であり、企業や地方自治体はもちろんのこと、個人一人一人に至るまで、すべてのひとの行動が求められる点が特徴です。

「5：ジェンダー平等」、「11：住み続けられるまちづくりを」、「16：平和と公正をすべてのひとに」など、男女共同参画に関する目標も掲げられています。



問41 2015年9月の国連サミットで採択された、SDGs（持続可能な開発目標）を知っていますか。

次の1~3の中から1つだけ選んで○をしてください。

- 1 意味（内容）まで知っている
- 2 言葉は聞いたことはあるが、意味（内容）は知らない
- 3 知らなかった

* **問41** で1「意味（内容）まで知っている」または2「言葉は聞いたことはあるが、意味（内容）は知らない」と答えられた方にお聞きします。

問42 あなたは、SDGsの取り組みに参加したいと思いますか。

次の1~4の中から1つだけ選んで○をしてください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1 参加したい（すでに参加している） | 3 参加したくない |
| 2 機会があれば参加したい | 4 わからない |

問43 桑折町では2022年5月に「桑折町SDGs推進町民会議」を発足し、全町挙げてSDGsに取り組もうとしていますが、こうした取り組みについて知っていますか。

次の1~3の中から1つだけ選んで○をしてください。

- | |
|----------------------------|
| 1 意味（内容）まで知っている |
| 2 言葉は聞いたことはあるが、意味（内容）は知らない |
| 3 知らなかった |

問44 SDGsへの理解を高め、町内への浸透を図っていく「桑折町SDGs推進町民会議」の取り組みについて、どう思いますか。

それぞれの項目ごと、1~5の中から1つずつ選んで○をしてください。

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 わからない
① 町全体として重点的に取り組むべき	1	2	3	4	5
② あなた自身が取り組みに参加したい	1	2	3	4	5

【行政の役割についておたずねします】

問45 男女共同参画社会の実現のため、行政に対してどのようなことを要望しますか。

次の1~13の中から3つ以内で選んで○をしてください。

- 1 町役場の各種審議会の委員など、政策決定の場に女性を多く登用する
- 2 企業主など雇う側が女性差別をしないよう働きかけをする
- 3 育児のため職場を離れても、同じ職場へ復帰できるような雇用面の対策を考える
- 4 女性のための職業教育や訓練の場を作る
- 5 子育て支援の施策を充実する
- 6 在宅介護者支援の充実を図るなど社会参加しやすいようにする
- 7 男女共同参画の視点に立った教育や学習を進める
- 8 女性への意識啓発および相談を充実する
- 9 男性への意識啓発および相談を充実する
- 10 女性に対する暴力を根絶するための支援を促進する
- 11 生理の貧困に対する支援（生理用品の提供等）を充実する
- 12 SNS（ツイッター、フェイスブックなど）、メールマガジン、ホームページなどのインターネットによる情報発信
- 13 その他（ ）

問46 男女共同参画社会づくりに向けて、ご自由にご意見をお書きください。

（家庭で、職場で、学校生活で、地域社会で、行政の対応についてなど）

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入済みのアンケートは、記入もれがないか確認の上、同封の返信用封筒（切手は不要です）を用いて、7月29日（金）までに郵便ポストに投函して頂きますよう、お願い申し上げます。

桑折町男女共同参画に関する町民意識調査

調査報告書

令和4年9月

調査実施主体：桑折町総合政策課

〒969-1692 福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下 22 番地 7

TEL : 024-582-2111 (代)

FAX : 024-582-2479

編集：株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

〒980-0811 仙台市青葉区一番町 2-4-1

TEL : 022-225-3871